

5. 国内外主要海域での通過実態比較

5.1 概要

4. では特定の領域での航行実態の比較分析を実施した。この比較では、域内に存在した同一船舶は、域内外の出入りがあったとしても、また24時間中航行していても、停泊していても常に1隻としか計上されない課題がある。

このために、ここでは設定した特定の断面を通過した隻数についての比較分析を実施した。分析対象の項目は、4. での分析項目と同様とした。

解析では4. での12の主要海域を対象とし、場合によっては一海域に複数の断面を設定した。この12の主要海域（港湾・湾域・海峡）での具体的な設定断面および個別の分析結果は5.2~14に示すとともに、分析結果の総括を表-5.1.1に示す。

なお、ここでの解析対象日時は4. と同じく2006年8月10日（木）の24時間であり、また対象船舶、解析データの取得先、対象時間の時差、「不明船」の定義についても4. と同一である。

この表-5.1.1 から24時間に観測された通過実態の全船種隻数が200隻を超えているのは、ロッテルダム港のみであり222隻となっている。次いで、浦賀水道航路、釜山港、ドーバー海峡、ジブラルタル海峡が190隻前後となっている。また、全長200m以上の大型船については、ドーバー海峡が最大の35隻であり、次いでジブラルタル海峡が32隻となっている。さらに、港湾としてロサンゼルス港・ロングビーチ港1が29隻となっている。また、船種別に比較してもそれぞれの特徴が明らかになる。

これらの主要海域での通過実態について、図-5.1.1、5.1.2では全船種の隻数および全隻数に対する比率を、図-5.1.3、5.1.4では大型船（Loa=200m以上）の隻数および比率を、図-5.1.5、5.1.6ではコンテナ船のみを対象として、タイプ別の隻数および比率について分析した結果を示す。

ここでの表-5.1.1と表-4.1.1との比較、図-5.1.1と図-4.1.1との比較等から、航行実態と通過実態から得られる結果の相異が明らかになる。

表-5.1.1 国内外主要海域での通過実態比較（2006.8.10 24時間での観測隻数）

	全船種	Loa=200m以上	Loa=200m未満	a.コンテナ船			b.一般貨物船	c.バルク船	d.PCC船+RORO船	小計 a+b+c+d	航路幅員(m)		
				合計	コンテナ船 Over Panamax	コンテナ船 Panamax						コンテナ船 Under Panamax	
浦賀水道航路	合計	186	25	161	38	5	8	25	46	6	13	103	1800
	南航	104	11	93	14		3	2	9	37	3	6	60
	北航	82	14	68	24		2	16	9	9	7	43	900
紀淡海峡	合計	115	23	92	32	8	6	18	27	7	10	78	2200
	南航	64	13	51	18		4	2	12	14	6	4	42
	北航	51	10	41	14		4	4	6	13	1	6	34
明石海峡航路	合計	101	4	97	13	0	0	13	33	7	5	58	1500
	東航	52	2	50	7	0	0	7	18	4	2	31	750
	西航	49	2	47	6	0	0	6	15	3	3	27	750
伊良湖水道航路	合計	107	21	86	38	4	5	29	19	3	17	77	1200
	南航	49	10	39	17		3	3	11	6	2	9	34
	北航	58	11	47	21		1	2	18	13	1	8	43
関門航路	合計	157	2	155	40	0	1	39	52	4	2	98	560
	東航	88	1	87	19	0	0	20	36	2	1	58	280
	西航	69	1	68	21	0	1	19	16	2	1	40	280
釜山港	合計	183	16	167	55	3	10	42	15	1	0	71	510
	東航	84	7	77	25		1	4	20	6	0	31	
	西航	99	9	90	30		2	6	22	9	1	40	
高雄港1	合計	26	0	26	1	0	0	1	14	1	0	16	170
	東航	13	0	13	0	0	0	0	8	0	0	8	
	西航	13	0	13	1	0	0	1	6	1	0	8	
高雄港2	合計	38	19	19	33	11	5	17	1	2	0	36	130
	東航	21	10	11	18		5	4	9	0	1	0	19
	西航	17	9	8	15		6	1	8	1	0	17	
香港港	合計	49	20	29	39	9	8	22	1	0	2	42	630
	東航	28	12	16	21		5	5	11	0	1	22	
	西航	21	8	13	18		4	3	11	1	0	20	
ロッテルダム港	合計	222	19	203	34	7	3	24	46	5	16	101	1000
	東航	118	10	108	18		4	2	12	23	3	8	52
	西航	104	9	95	16		3	1	12	23	2	8	49
LA港・LB港1	合計	80	29	51	29	18	1	10	0	0	0	29	690
	南航	40	15	25	15		9	0	6	0	0	15	
	北航	40	14	26	14		9	1	4	0	0	14	
LA港・LB港2	合計	80	15	65	8	4	2	2	1	3	2	14	540
	南航	40	9	31	5		1	2	2	1	2	1	9
	北航	40	6	34	3		3	0	0	0	1	1	5
サンフランシスコ湾	合計	34	9	25	9	2	5	2	0	1	0	10	1420
	東航	17	3	14	4		1	1	2	0	1	0	5
	西航	17	6	11	5		1	4	0	0	0	5	710
ドーバー海峡	合計	190	35	155	34	8	10	16	50	16	7	107	32000
	東航	108	19	89	17		5	4	8	27	11	5	60
	西航	82	16	66	17		3	6	8	23	5	2	47
ジブラルタル海峡	合計	189	32	157	24	5	2	17	39	30	4	91	6600
	東航	83	13	70	9		2	1	6	12	13	2	36
	西航	106	19	87	15		3	1	11	21	17	2	55

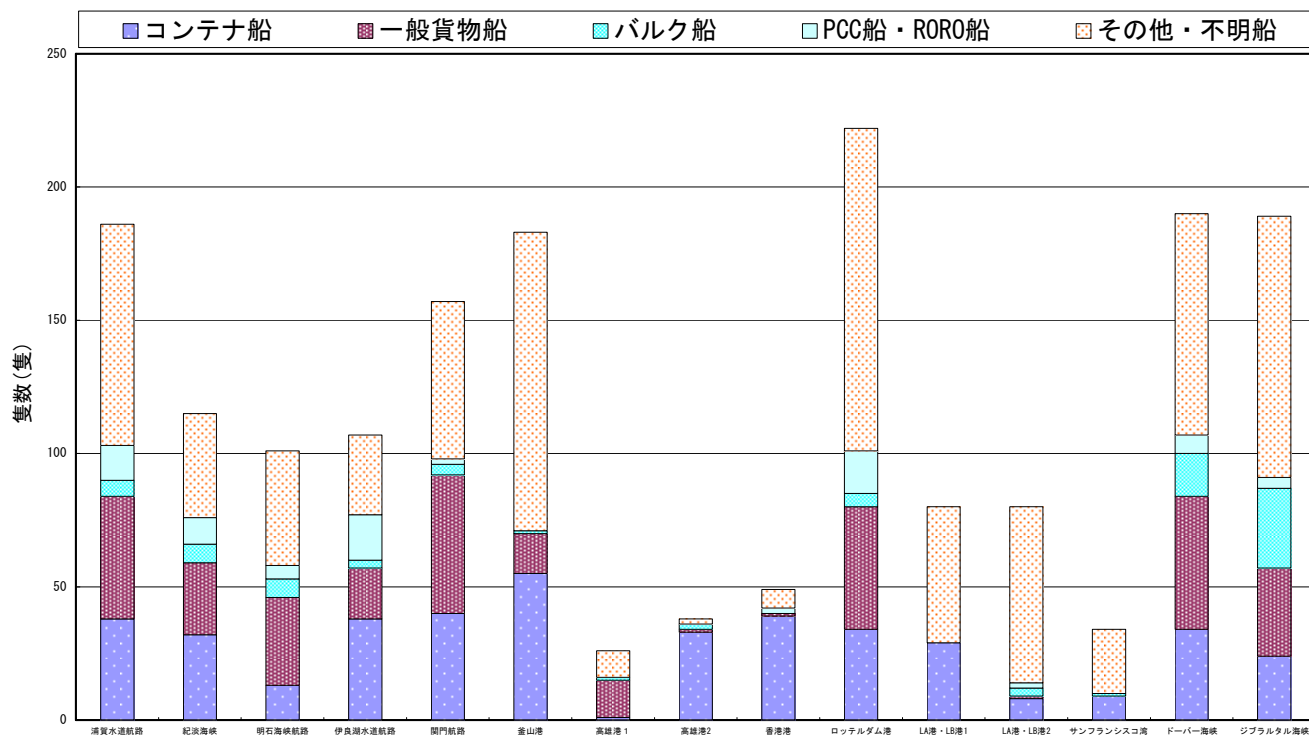


図-5.1.1 国内外主要海域での通過実態比較（全船種一隻数）（2006.8.10 24時間での観測隻数）

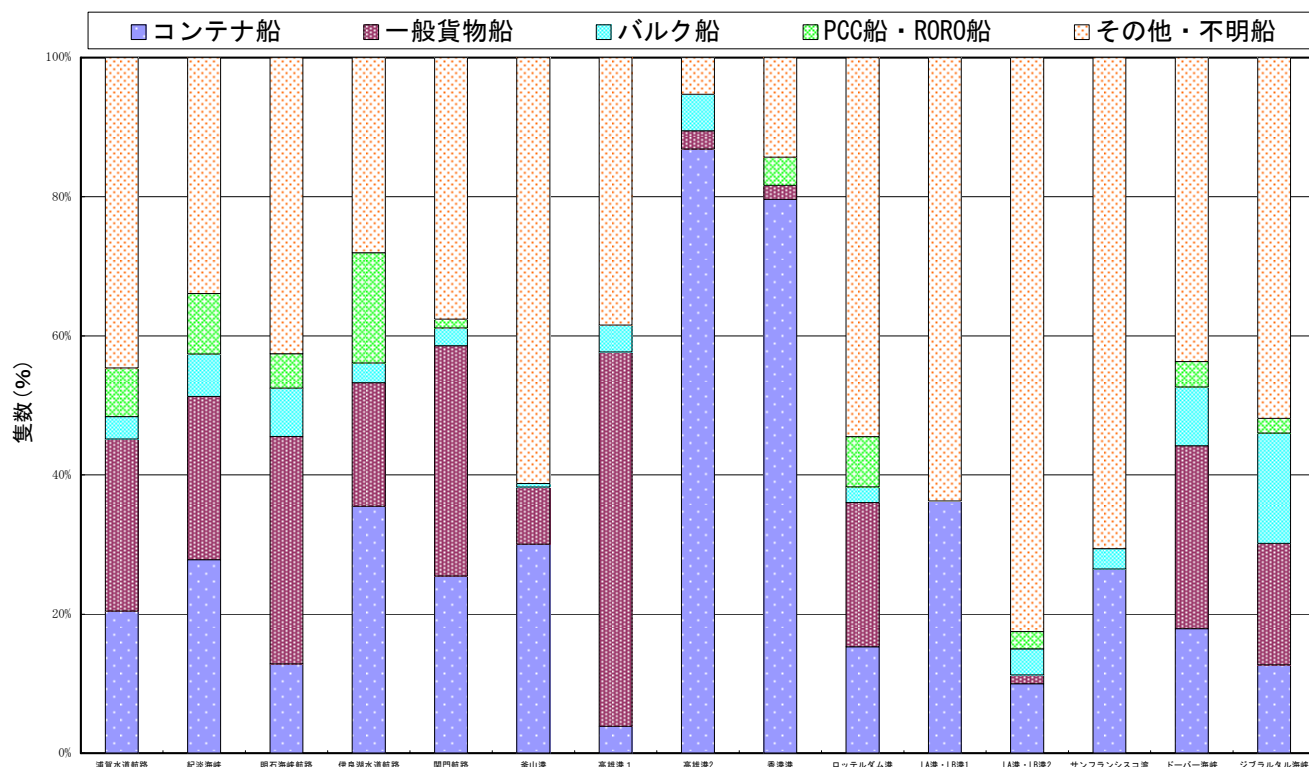


図-5.1.2 国内外主要海域での通過実態比較（全船種一比率）（2006.8.10 24時間での観測隻数）

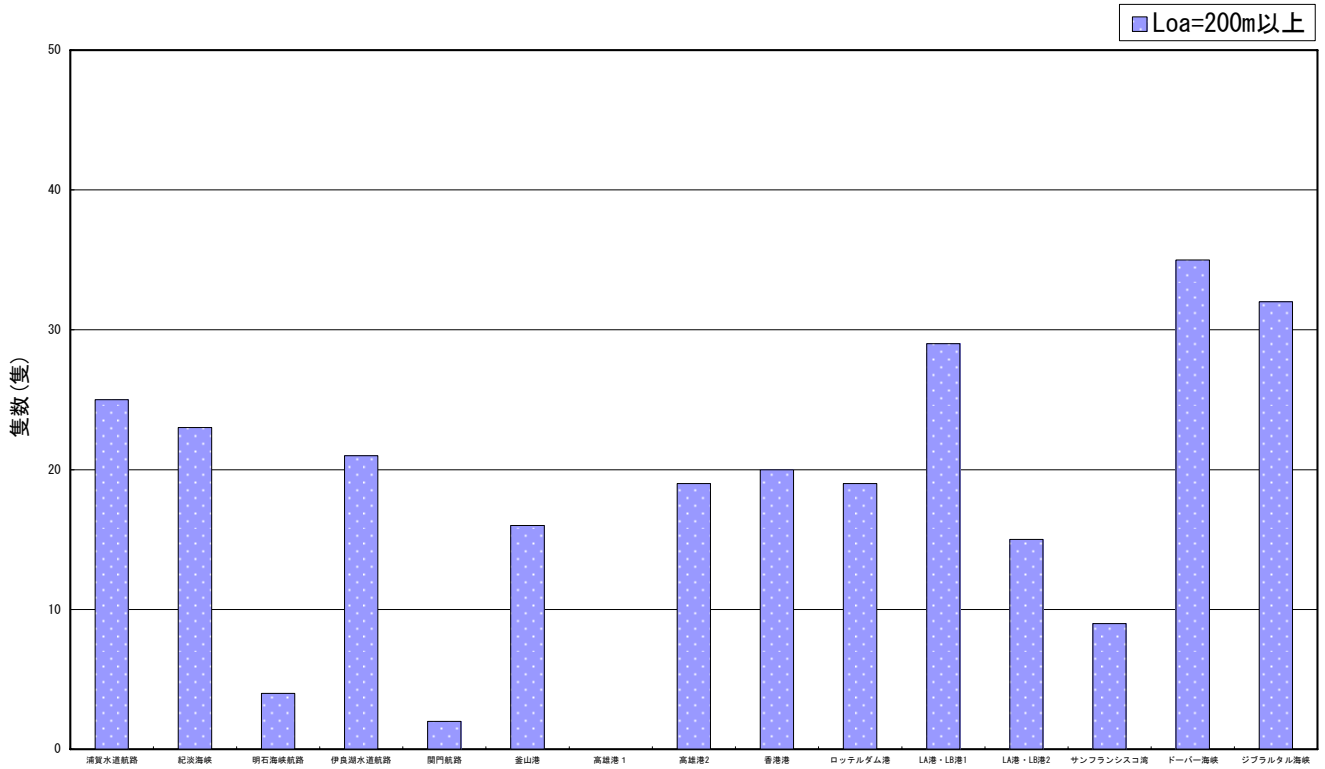


図-5.1.3 国内外主要海域での通過実態比較 (大型船一隻数) (2006. 8. 10 24 時間での観測隻数)

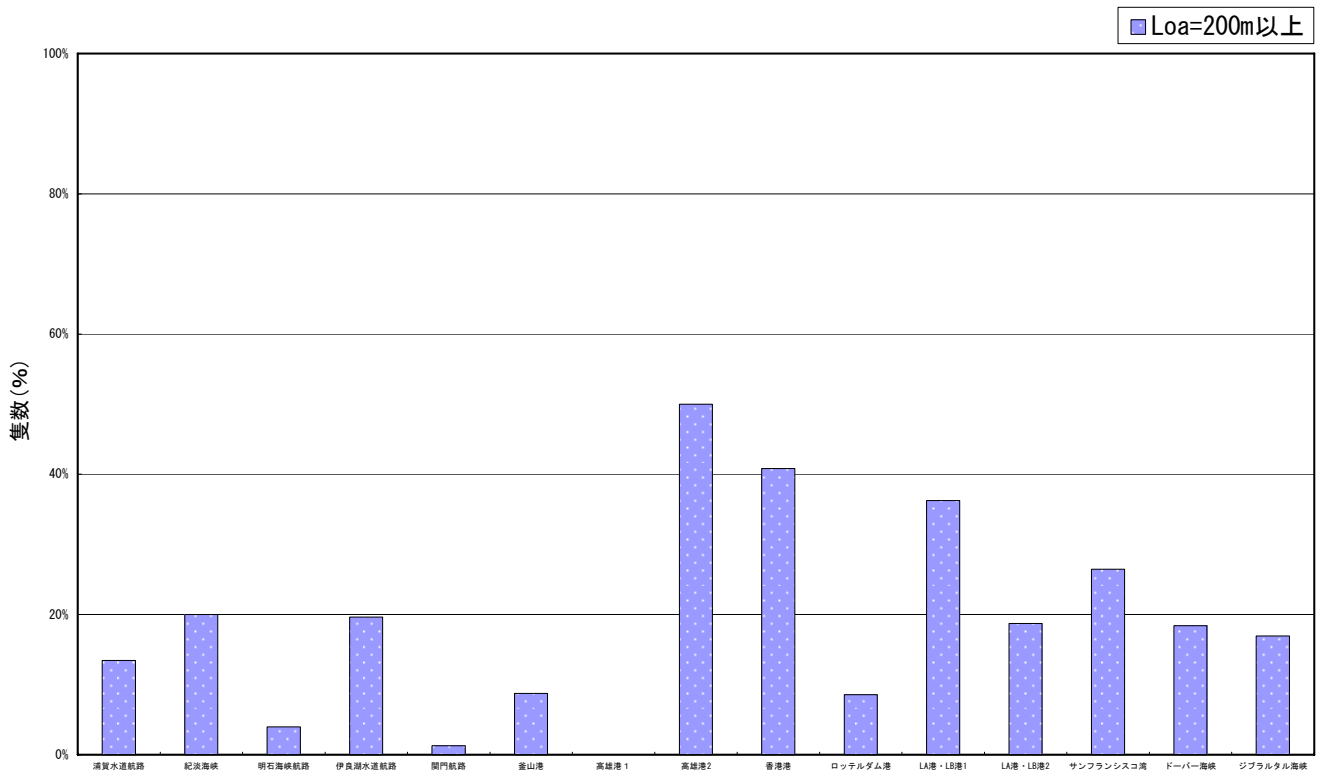


図-5.1.4 国内外主要海域での通過実態比較 (大型船一比率) (2006. 8. 10 24 時間での観測隻数)

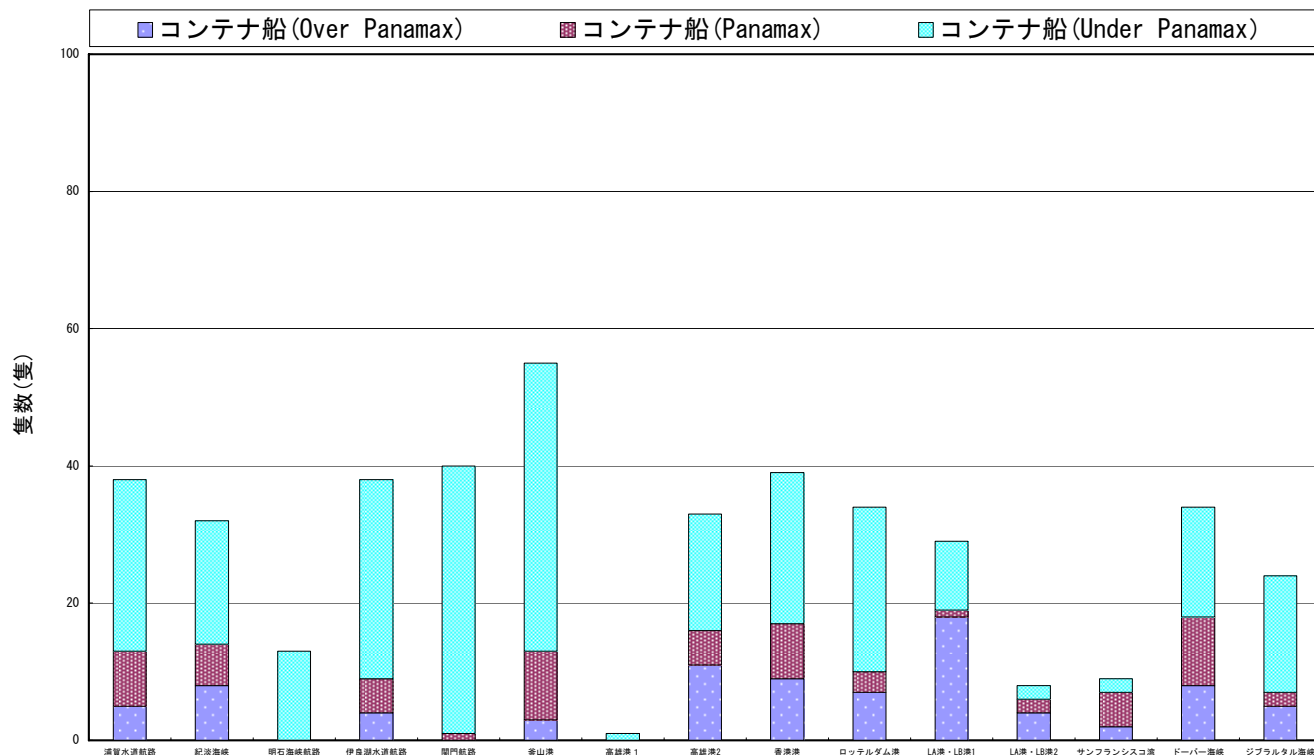


図-5.1.5 国内外主要海域での航行実態比較 (コンテナ船一隻数) (2006.8.10 24 時間での観測隻数)

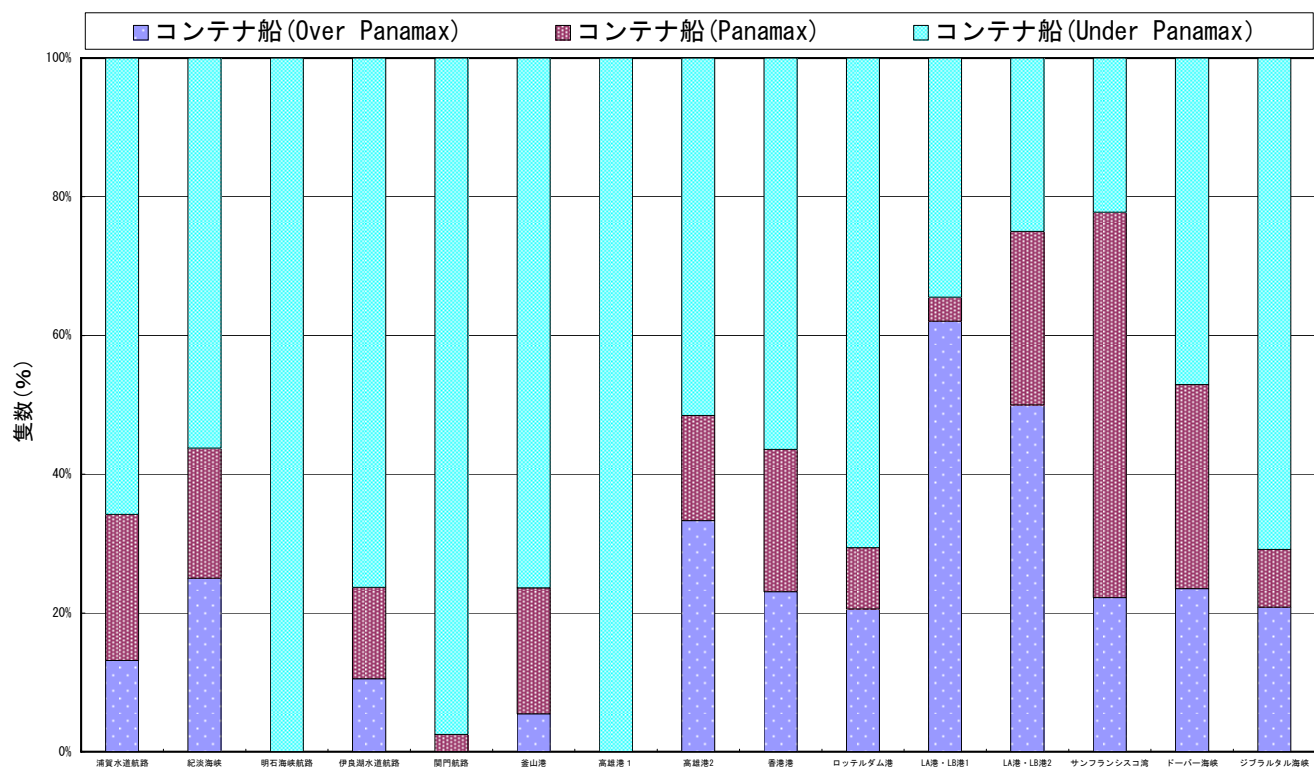


図-5.1.6 国内外主要海域での通過実態比較 (コンテナ船一比率) (2006.8.10 24 時間での観測隻数)

## 5.2 浦賀水道航路

浦賀水道航路については、図-5.2.1の白線で示した部分を対象にして、図-5.2.2で示すように片側900mの両方向1800mの幅員部分について、2006年8月10日の24時間について解析を実施した。図-5.2.2では、この24時間の航跡と合わせてそれぞれの航路帯での進航方向を示す。

ここでは、各航路帯を10分割して、それぞれの分割帯(浦賀水道航路では90m単位)ごとの通過隻数を解析した。図-5.2.3では全船種、図-5.2.4では全長200m以上、図-5.2.5では全長200m未満、図-5.2.6ではコンテナ船、図-5.2.7ではコンテナ船(Over Panamax)、図-5.2.8ではコンテナ船(Panamax)、図-5.2.9では一般貨物船、図-5.2.10ではバルク船、図-5.2.11ではPCC船およびRORO船についての解析結果を示す。

なお、各図の分割帯では棒グラフの長さにより、また合わせて示す数字によりその分割帯を通過した隻数を、さらにその方向により進航方向を示している。

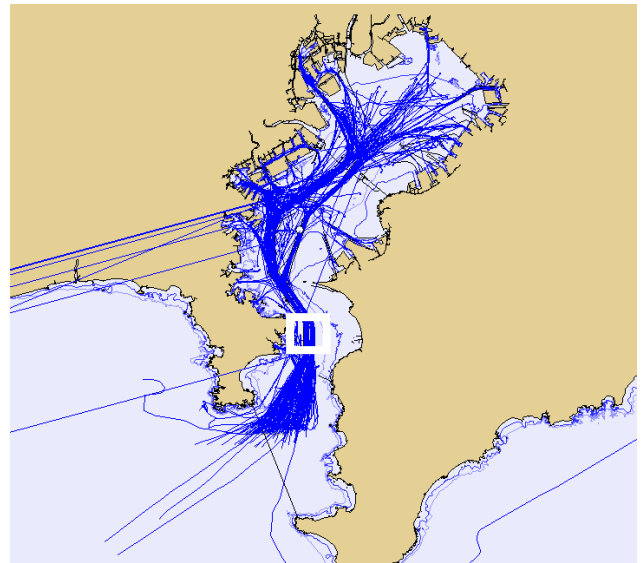


図-5.2.1 浦賀水道航路位置図

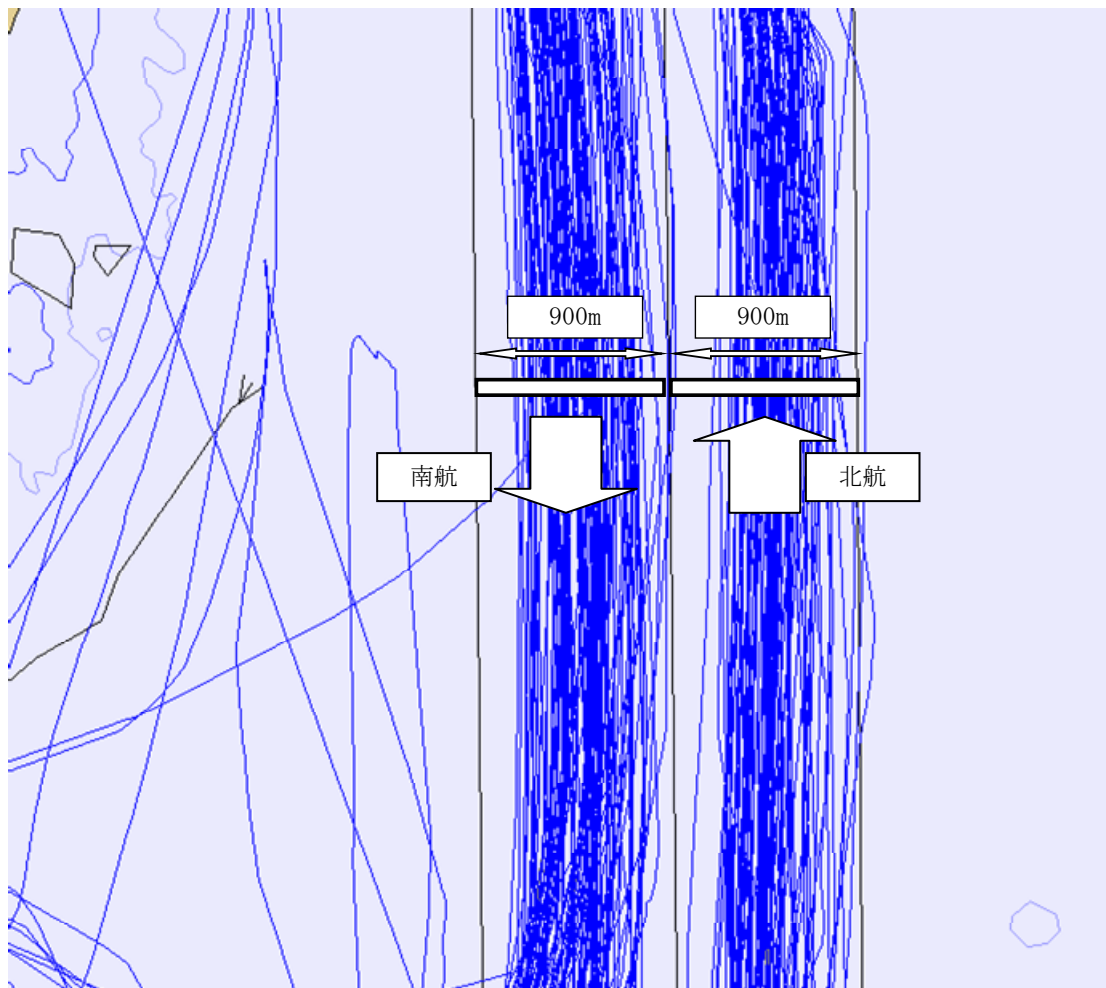


図-5.2.2 浦賀水道航路の設定断面と通過船舶の航跡図

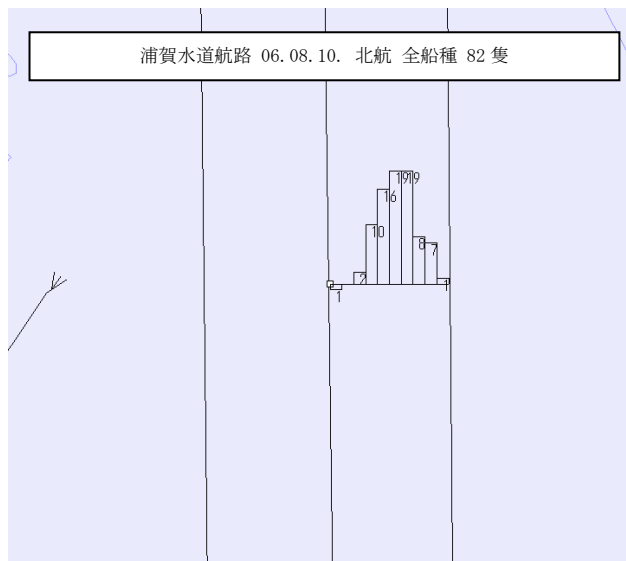
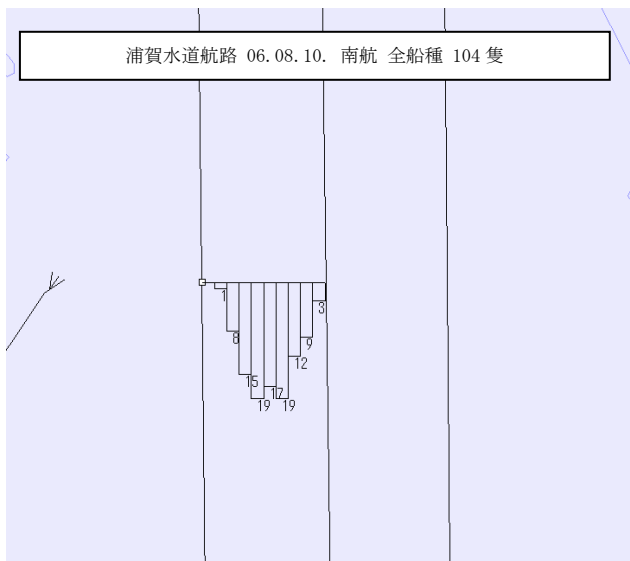


図-5.2.3 浦賀水道航路の船舶通過実態 1

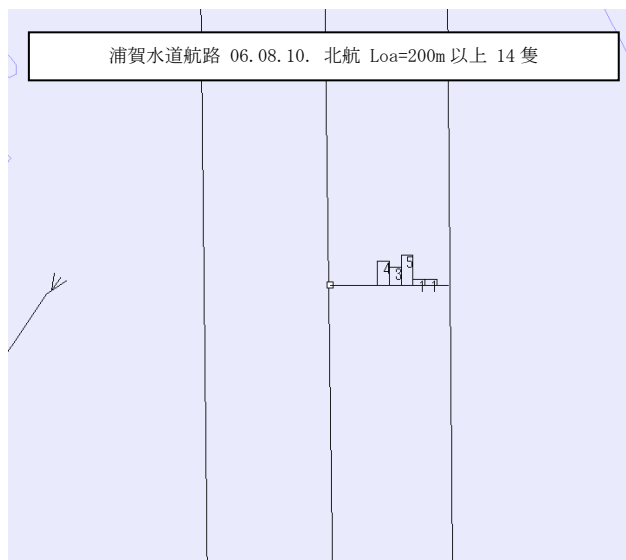
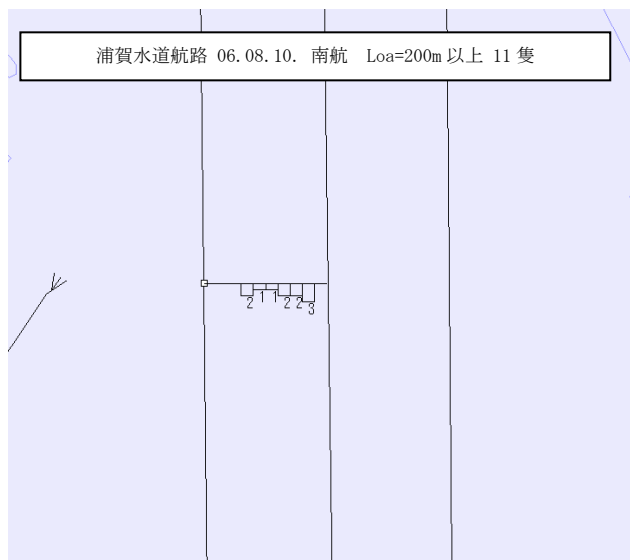


図-5.2.4 浦賀水道航路の船舶通過実態 2

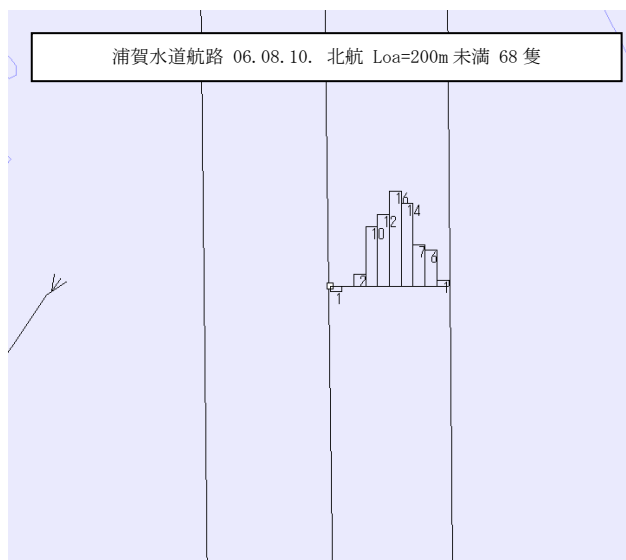
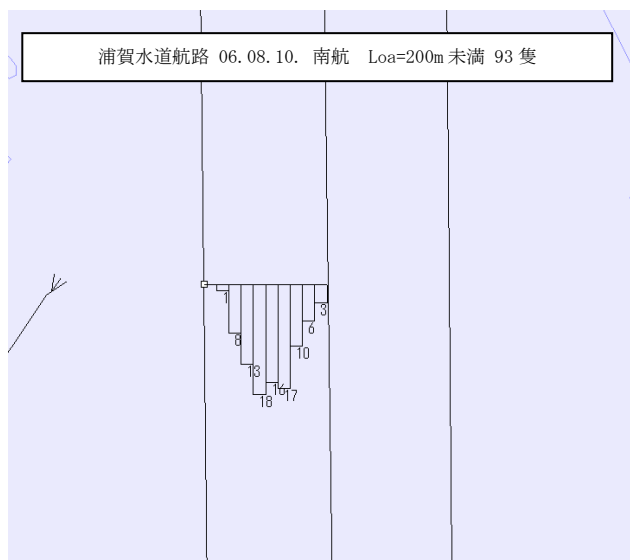


図-5.2.5 浦賀水道航路の船舶通過実態 3

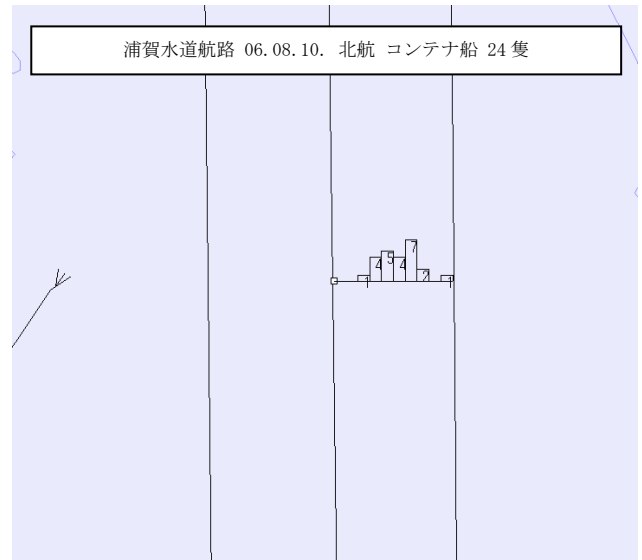
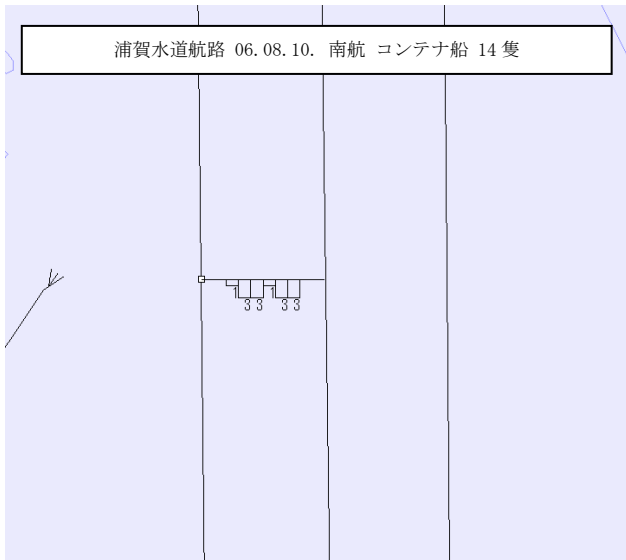


図-5.2.6 浦賀水道航路の船舶通過実態 4

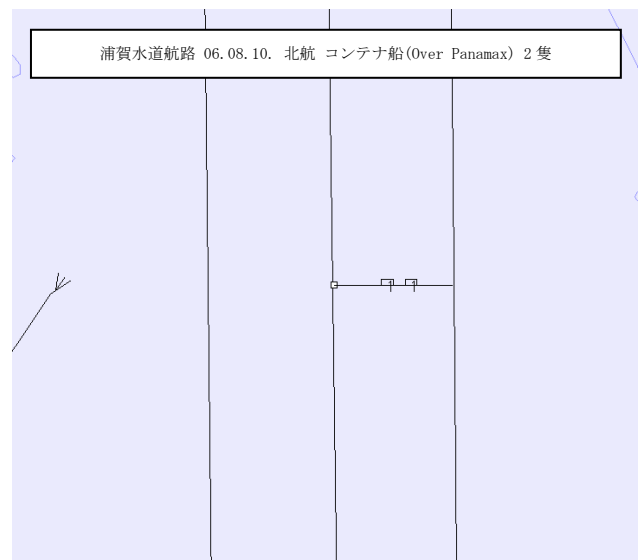
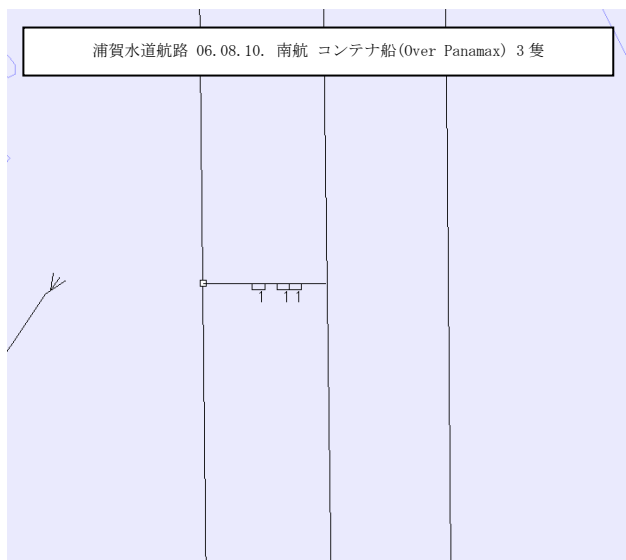


図-5.2.7 浦賀水道航路の船舶通過実態 5

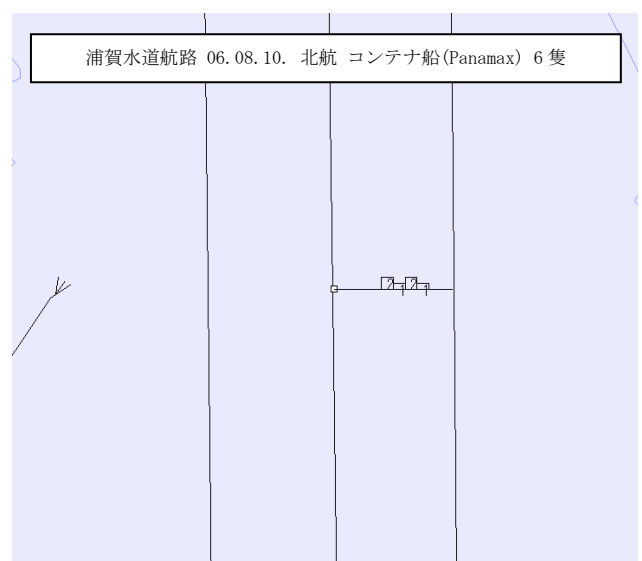
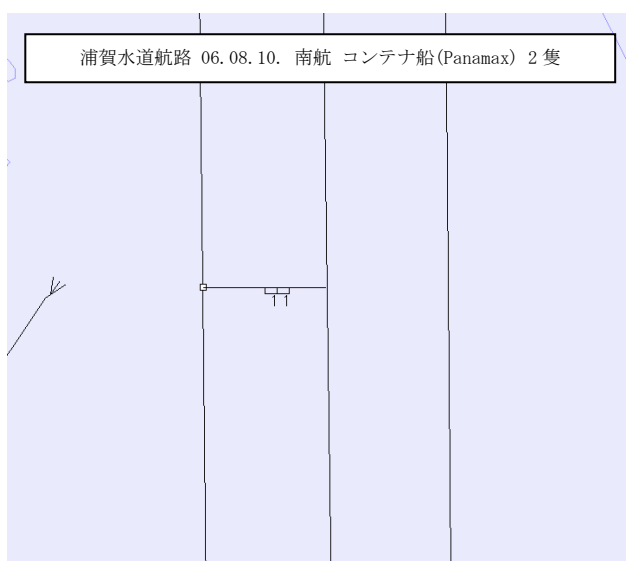


図-5.2.8 浦賀水道航路の船舶通過実態 6

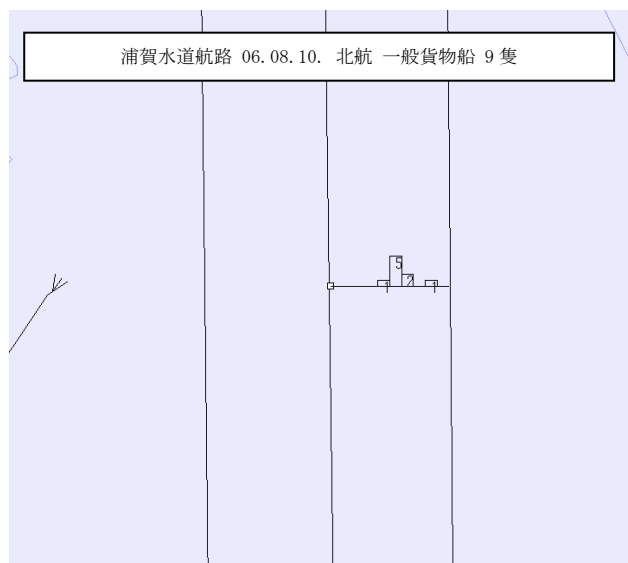
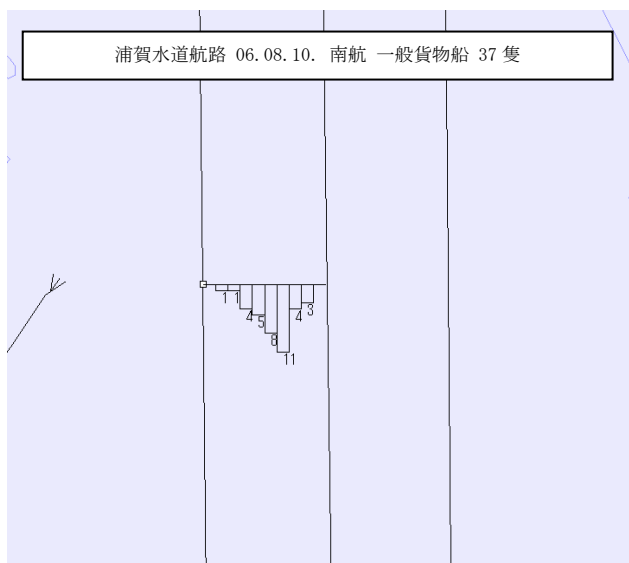


図-5.2.9 浦賀水道航路の船舶通過実態 7

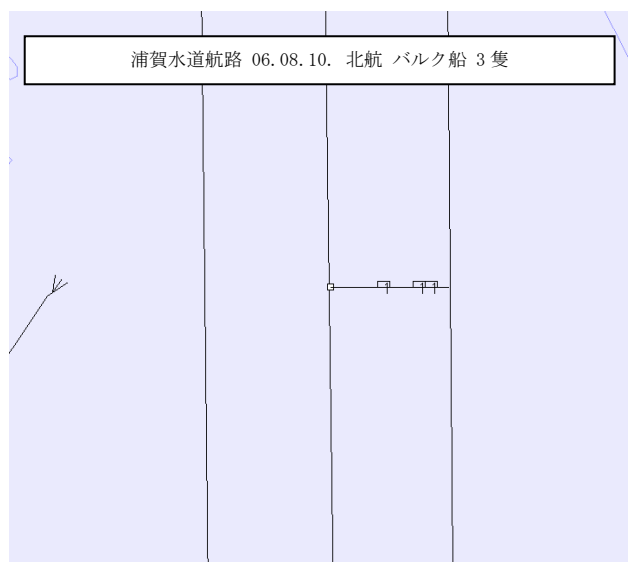
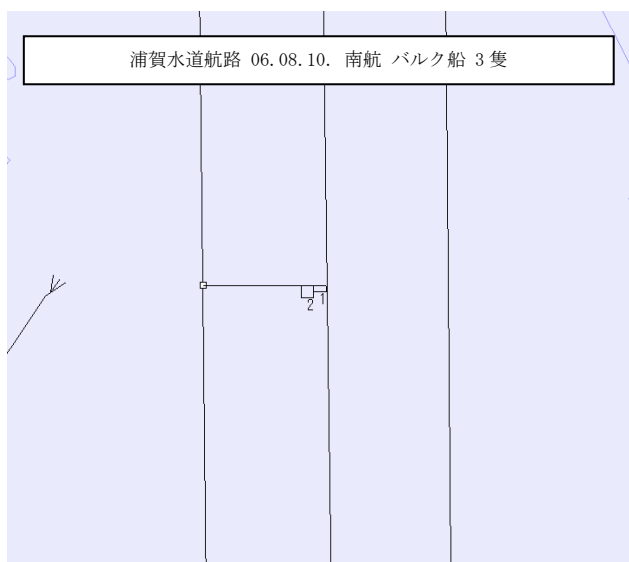


図-5.2.10 浦賀水道航路の船舶通過実態 8

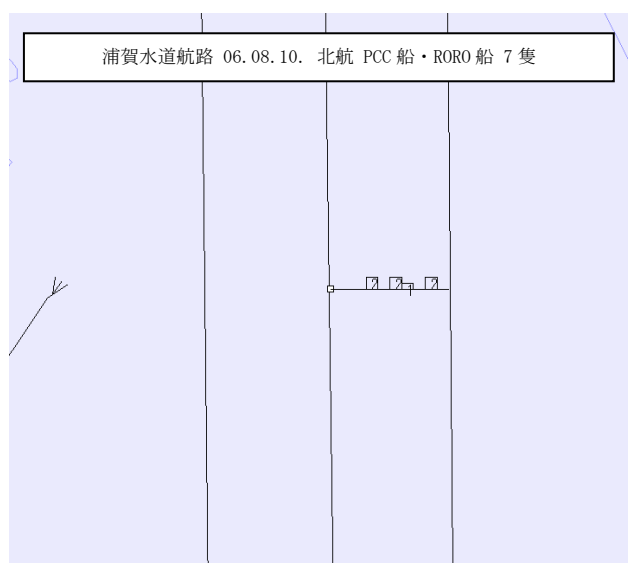
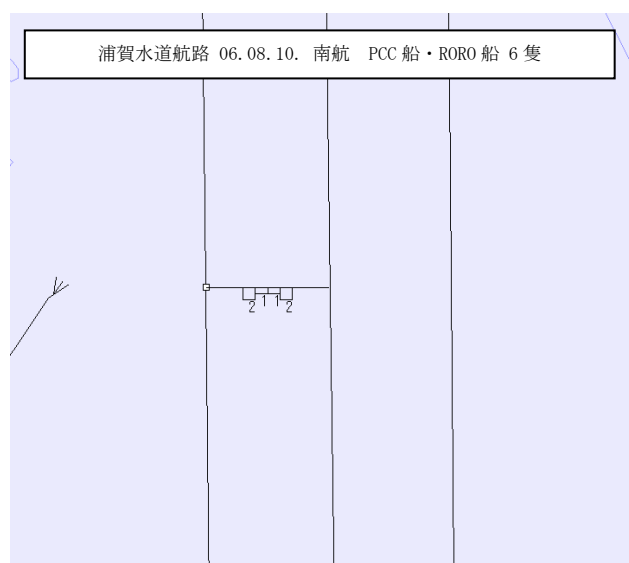


図-5.2.11 浦賀水道航路の船舶通過実態 9



### 5.3 紀淡海峡

紀淡海峡については、図-5.3.1の白線で示した部分を対象にして、図-5.3.2で示すように片側1100mの両方向2200mの幅員部分について、2006年8月10日の24時間について解析を実施した。図-5.3.2では、この24時間の航跡と合わせてそれぞれの航路帯での進航方向を示す。

ここでは、各航路帯を10分割して、それぞれの分割帯(紀淡海峡では110m単位)ごとの通過隻数を解析した。図-5.3.3では全船種、図-5.3.4では全長200m以上、図-5.3.5では全長200m未満、図-5.3.6ではコンテナ船、図-5.3.7ではコンテナ船(Over Panamax)、図-5.3.8ではコンテナ船(Panamax)、図-5.3.9では一般貨物船、図-5.3.10ではバルク船、図-5.3.11ではPCC船およびRORO船についての解析結果を示す。

なお、各図の分割帯では棒グラフの長さにより、また合わせて示す数字によりその分割帯を通過した隻数を、さらにその方向により進航方向を示している。

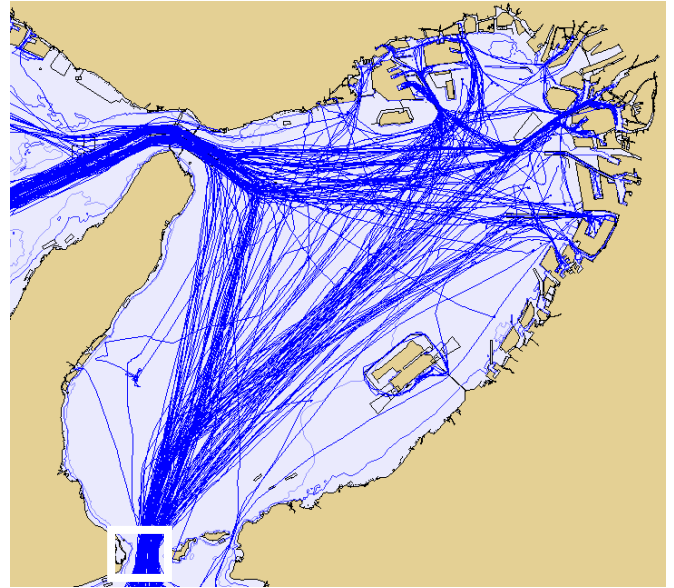


図-5.3.1 紀淡海峡位置図

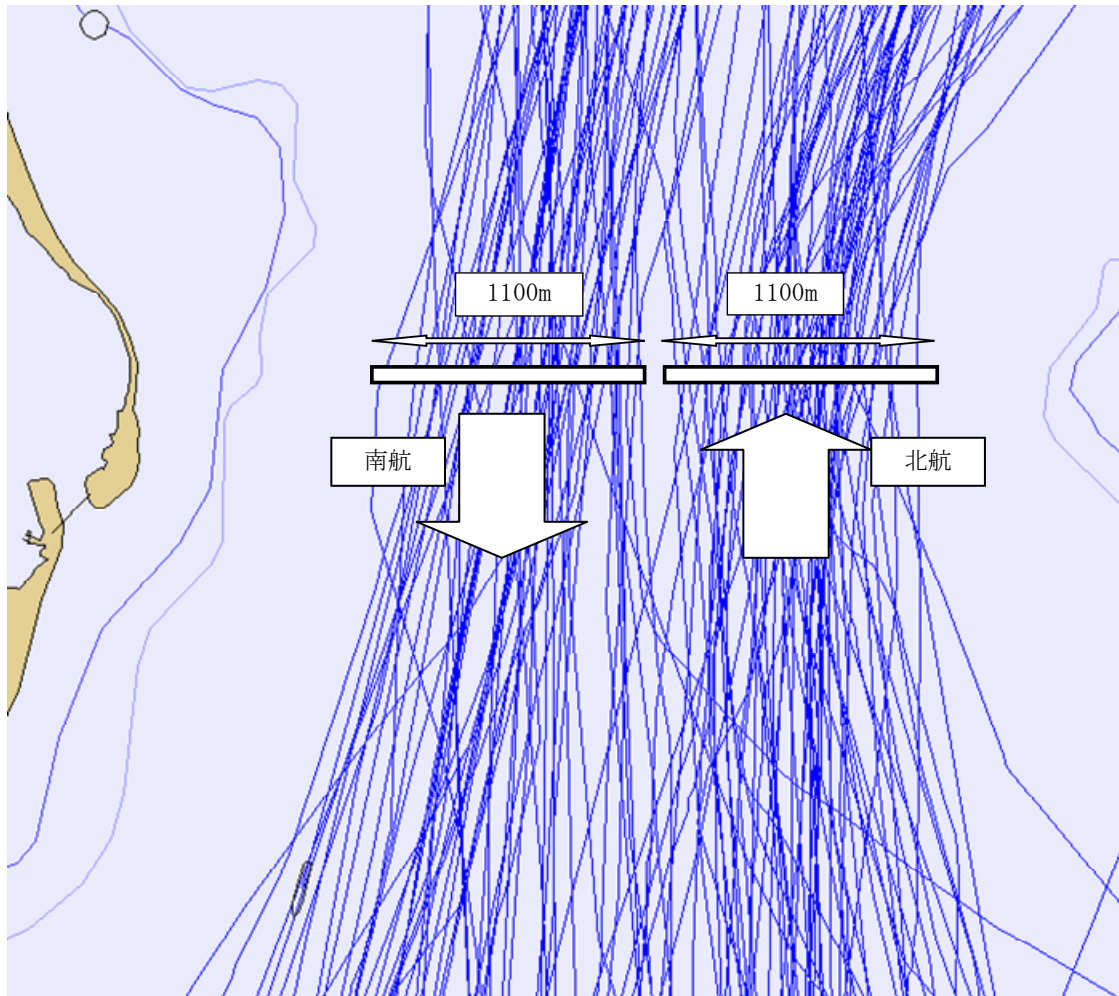


図-5.3.2 紀淡海峡の設定断面と通過船舶の航跡図

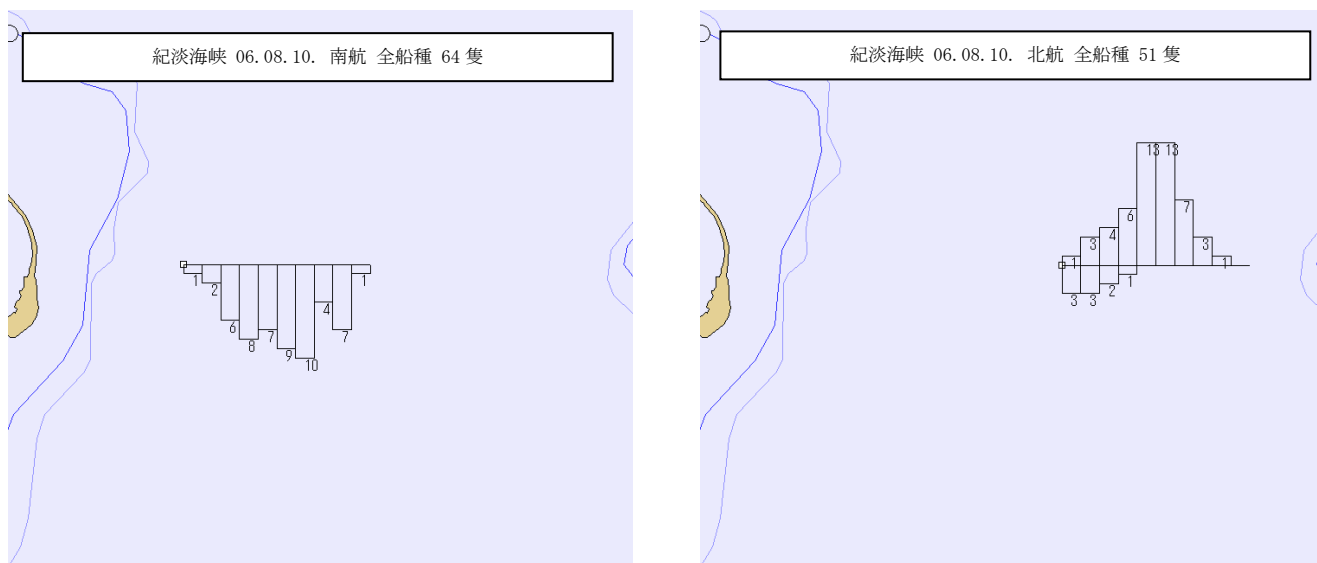


図-5.3.3 紀淡海峡の船舶通過実態 1

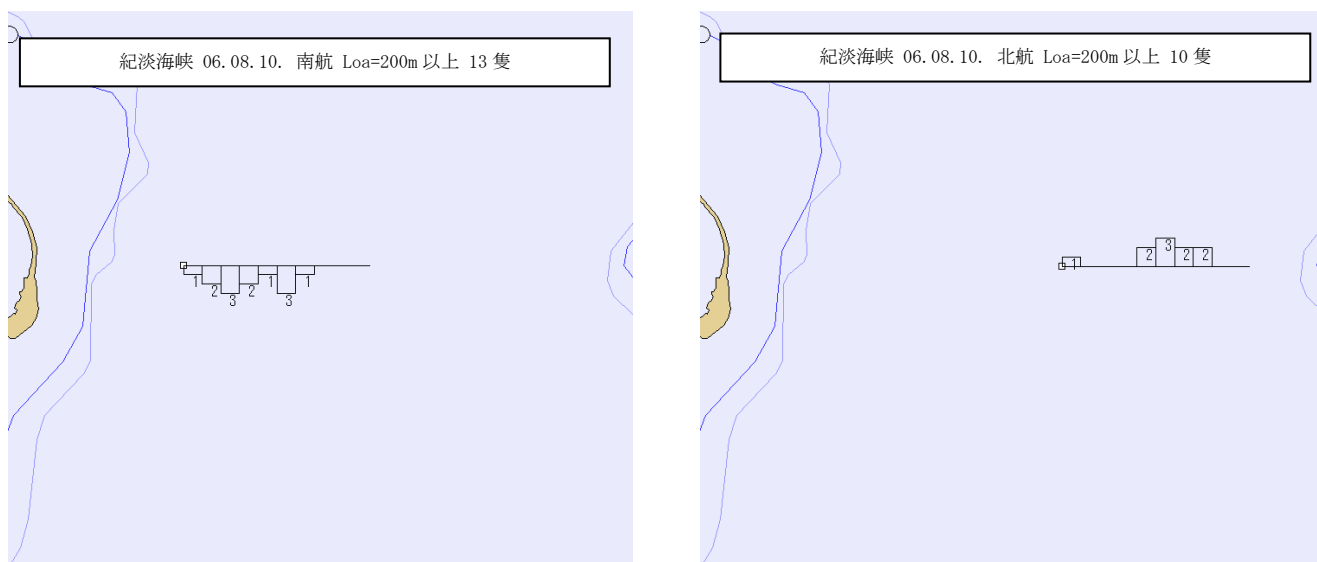


図-5.3.4 紀淡海峡の船舶通過実態 2

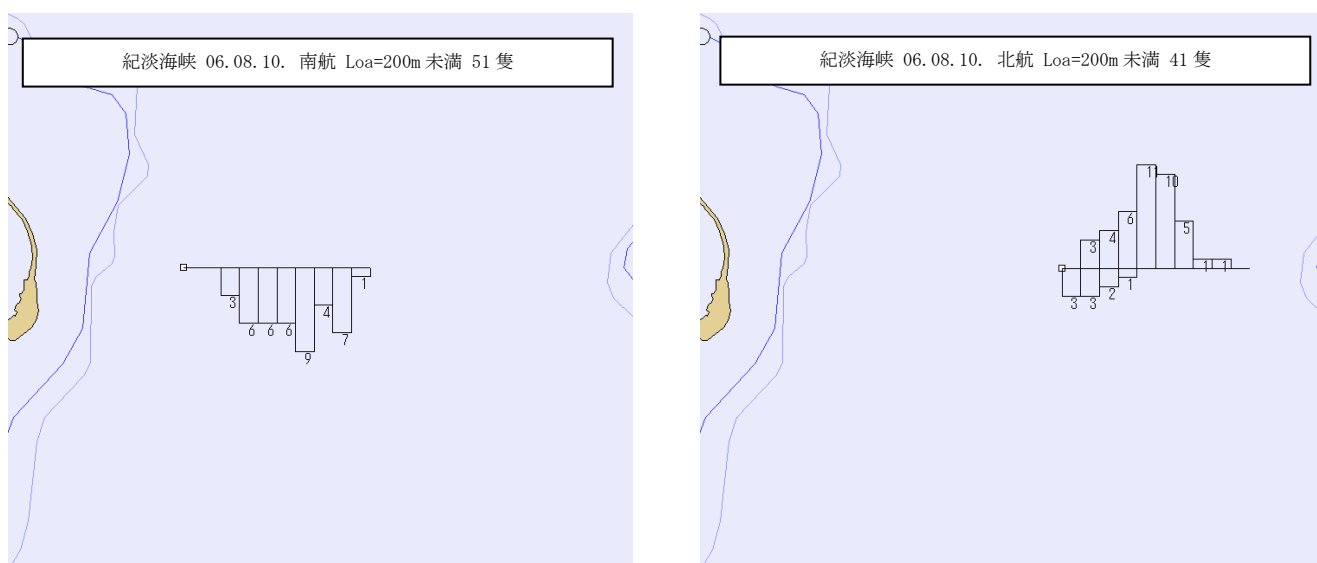


図-5.3.5 紀淡海峡の船舶通過実態 3

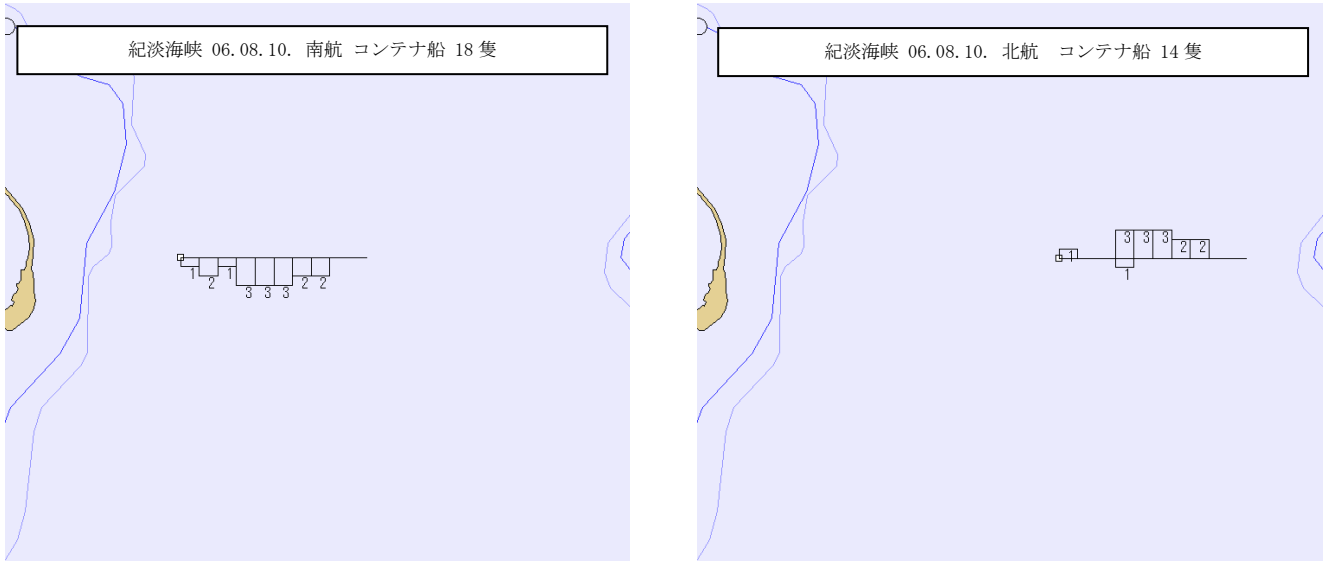


図-5.3.6 紀淡海峡の船舶通過実態 4

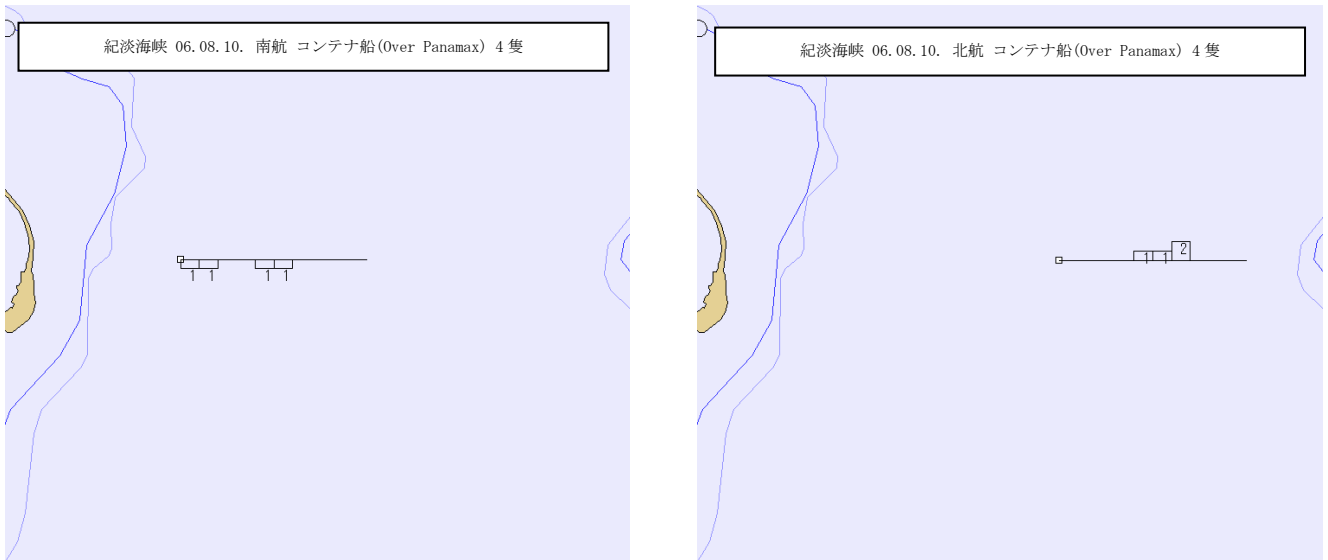


図-5.3.7 紀淡海峡の船舶通過実態 5

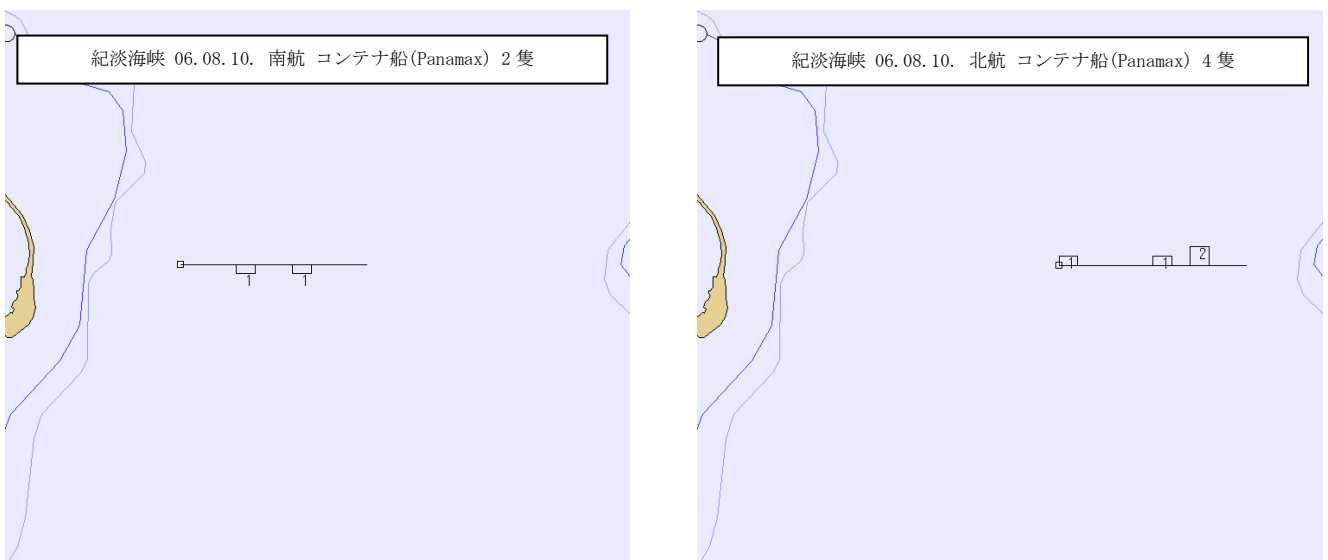


図-5.3.8 紀淡海峡の船舶通過実態 6

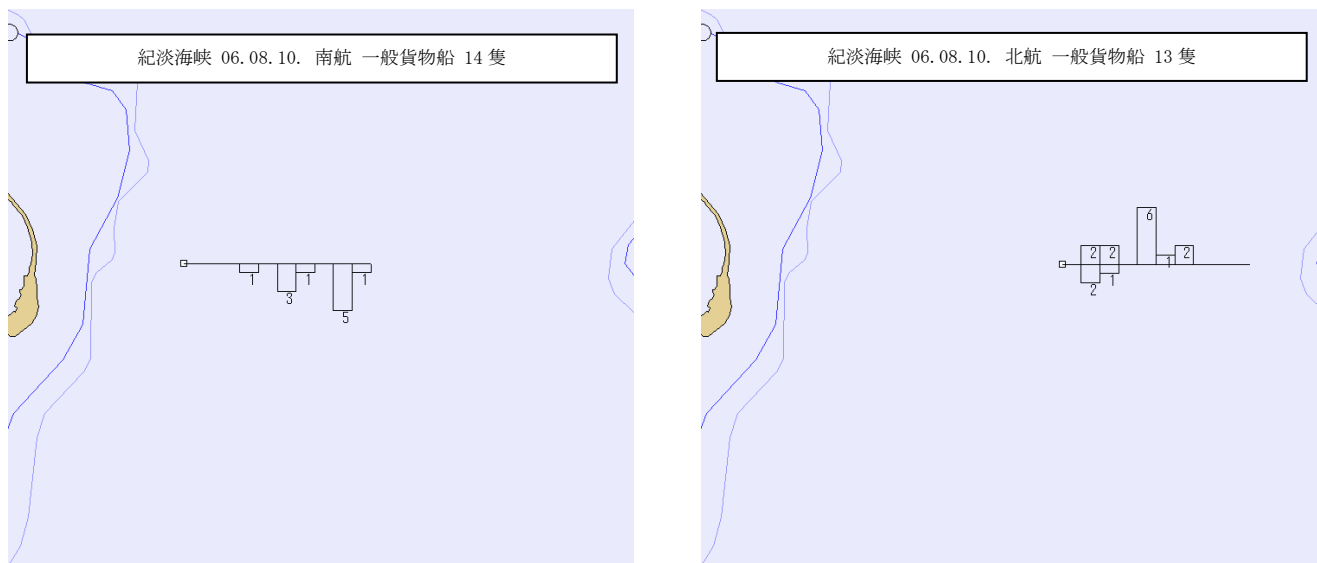


図-5.3.9 紀淡海峡の船舶通過実態 7

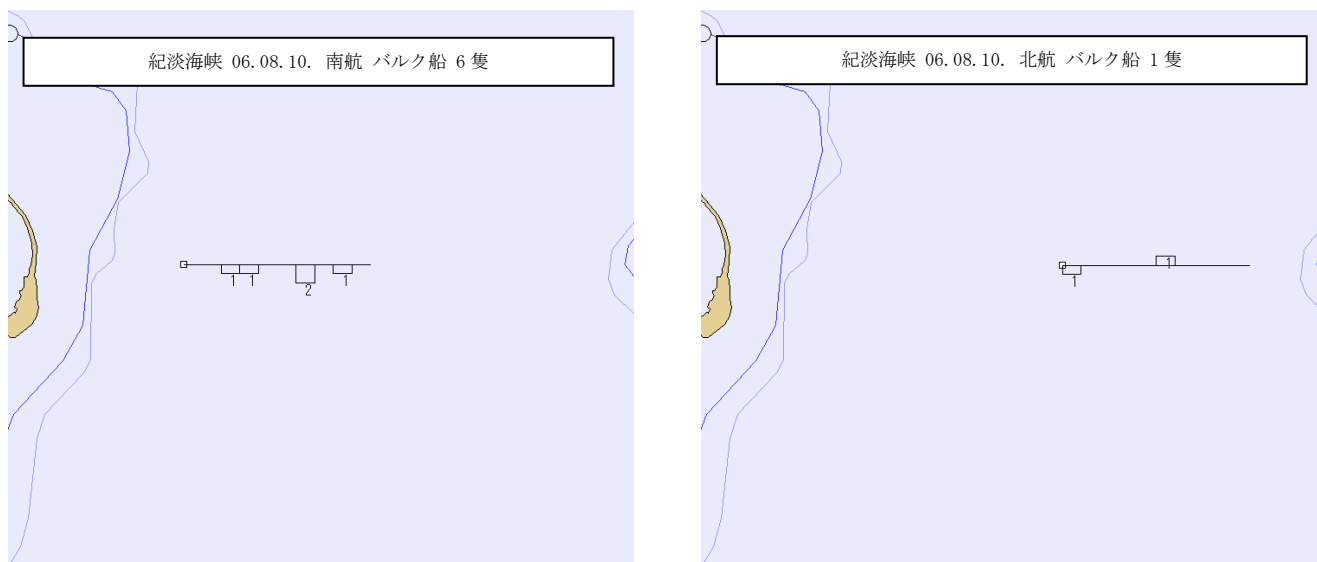


図-5.3.10 紀淡海峡の船舶通過実態 8

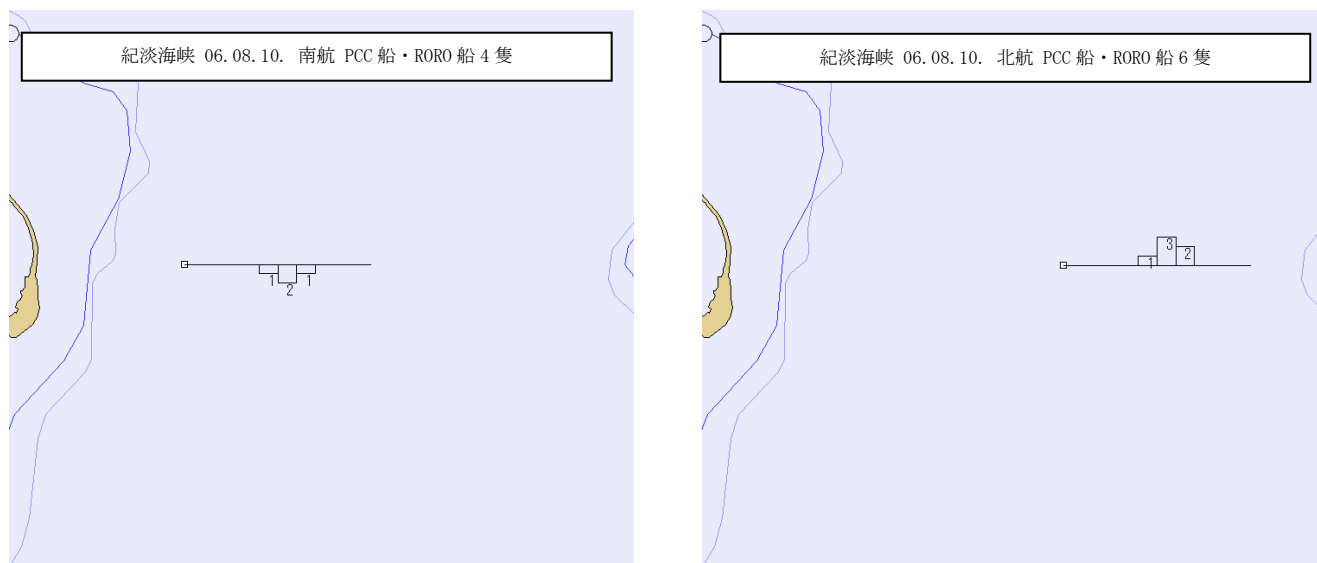


図-5.3.11 紀淡海峡の船舶通過実態 9

#### 5.4 明石海峡航路

明石海峡航路については、図-5.4.1の白線で示した部分を対象にして、図-5.4.2で示すように片側750mの両方向1500mの幅員部分について、2006年8月10日の24時間について解析を実施した。図-5.4.2では、この24時間の航跡と合わせてそれぞれの航路帯での進航方向を示す。

ここでは、各航路帯を10分割して、それぞれの分割帯(明石海峡航路では75m単位)ごとの通過隻数を解析した。図-5.4.3では全船種、図-5.4.4では全長200m以上、図-5.4.5では全長200m未満、図-5.4.6ではコンテナ船、図-5.4.7ではコンテナ船(Over Panamax)、図-5.4.8ではコンテナ船(Panamax)、図-5.4.9では一般貨物船、図-5.4.10ではバルク船、図-5.4.11ではPCC船およびRORO船についての解析結果を示す。

なお、各図の分割帯では棒グラフの長さにより、また合わせて示す数字によりその分割帯を通過した隻数を、さらにその方向により進航方向を示している。

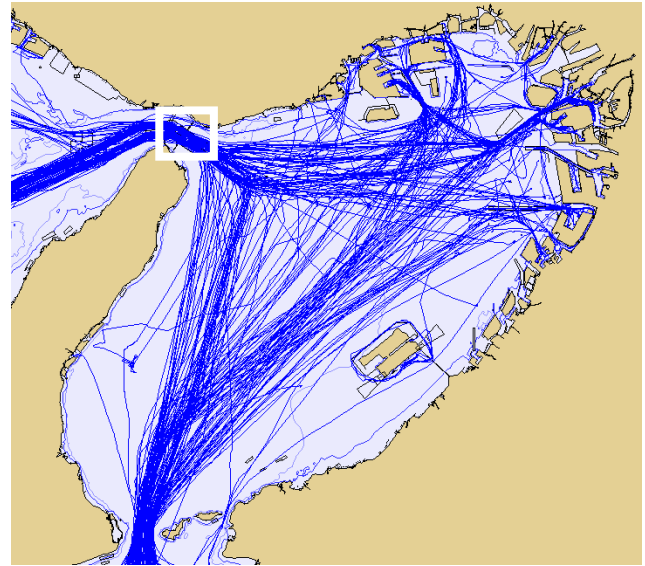


図-5.4.1 明石海峡航路位置図

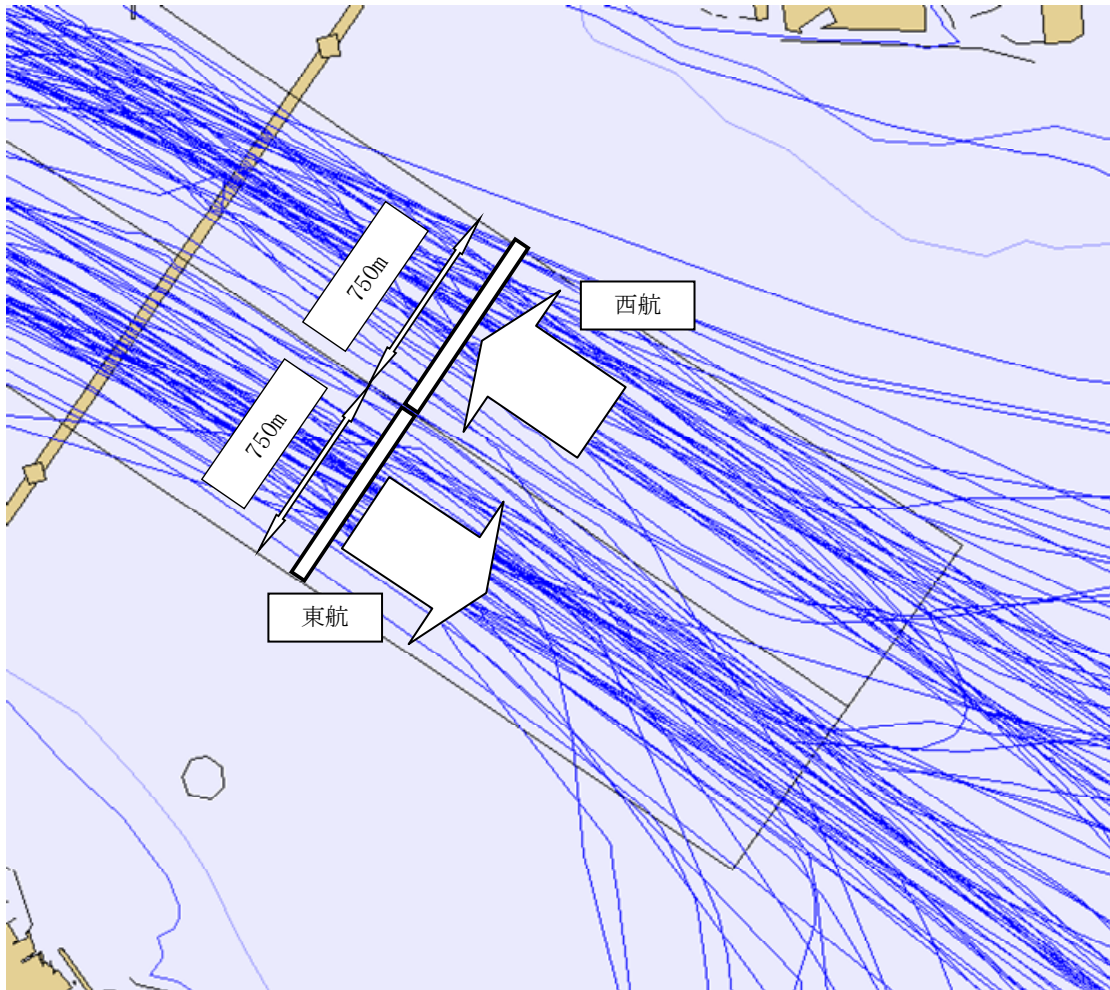


図-5.4.2 明石海峡航路の設定断面と通過船舶の航跡図

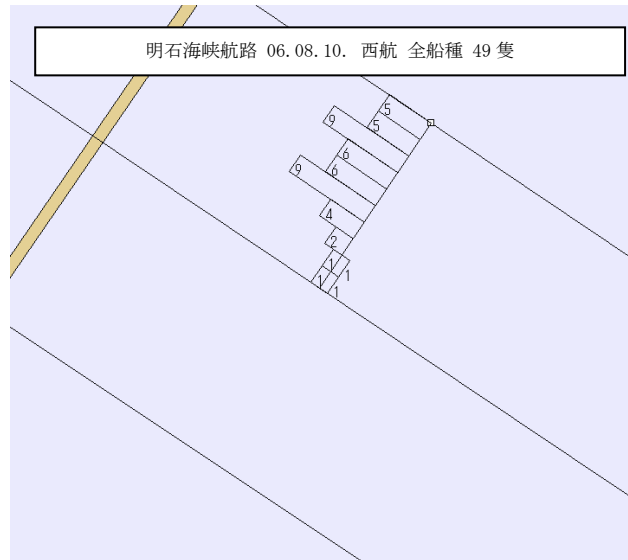
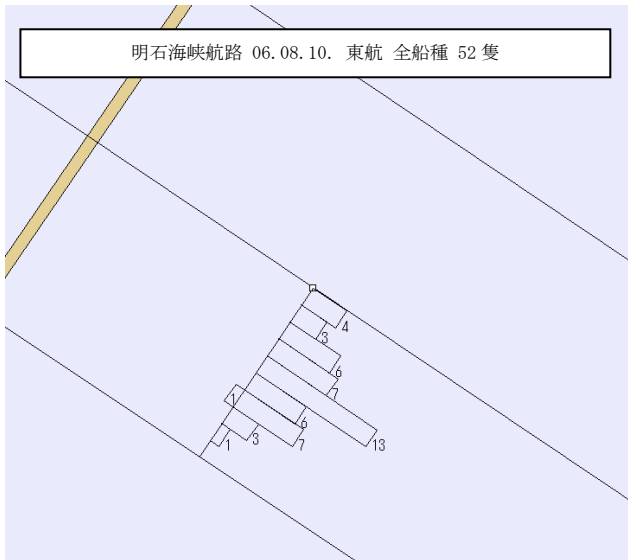


図-5.4.3 明石海峡航路の船舶通過実態 1

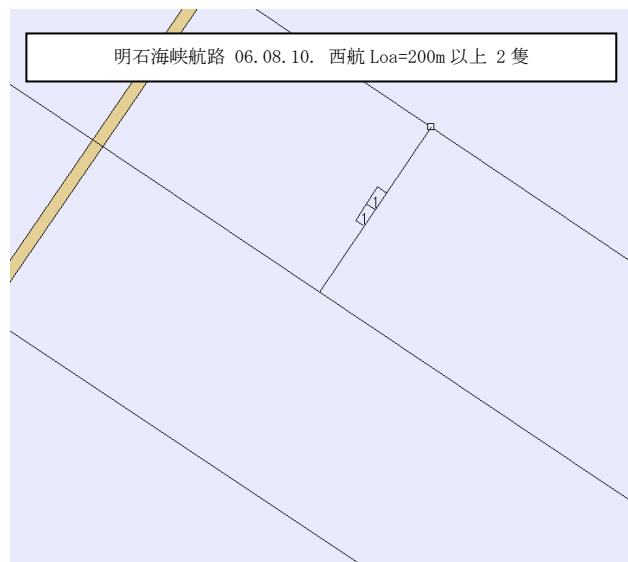
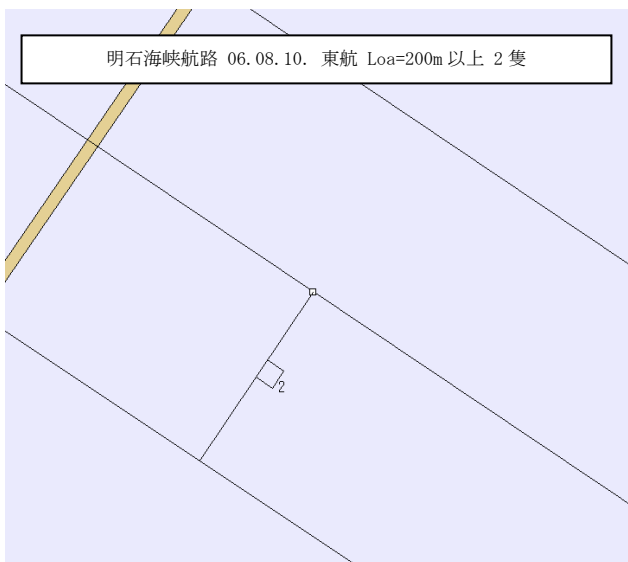


図-5.4.4 明石海峡航路の船舶通過実態 2

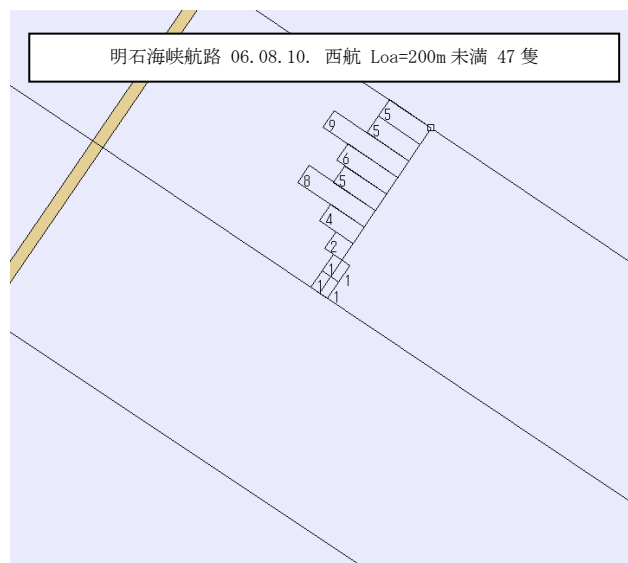
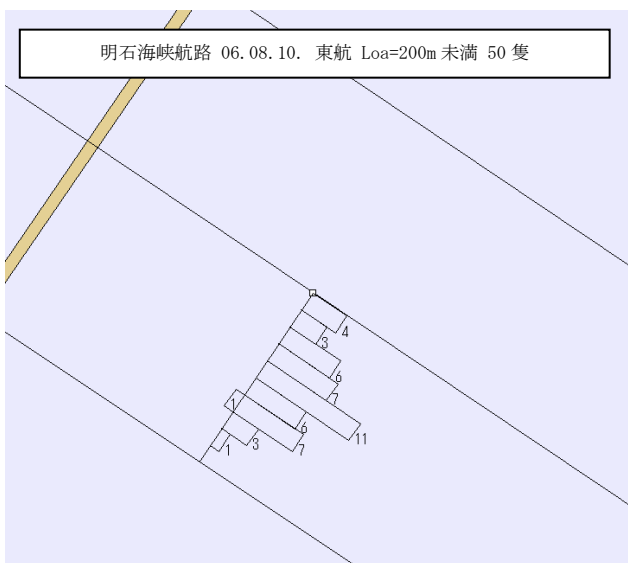


図-5.4.5 明石海峡航路の船舶通過実態 3

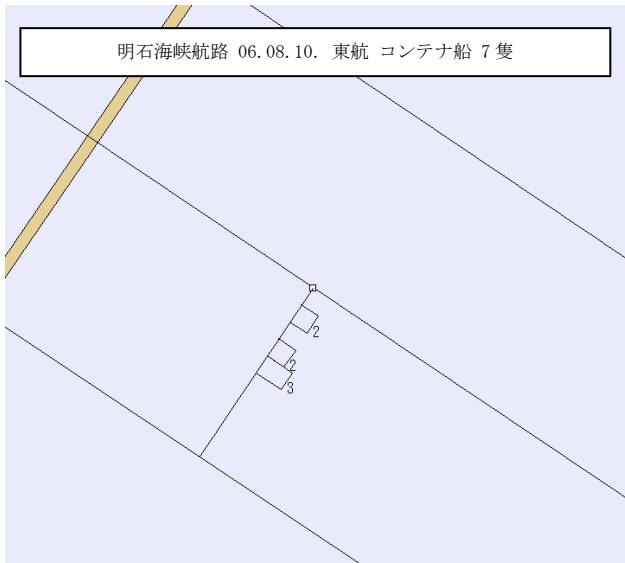


図-5.4.6 明石海峡航路の船舶通過実態 4

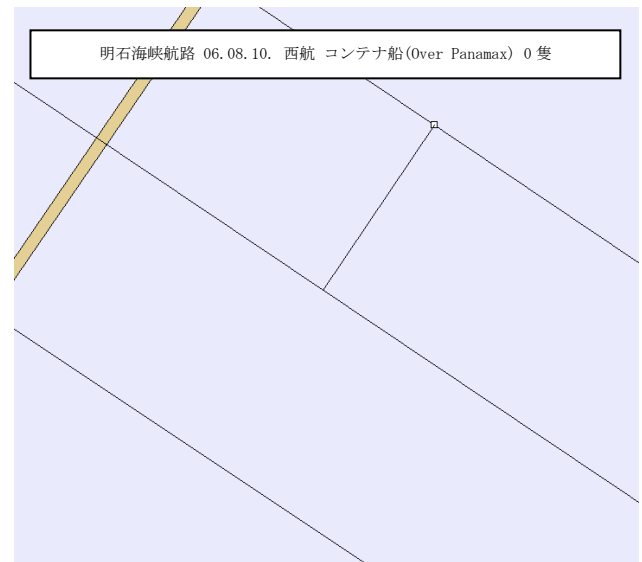


図-5.4.7 明石海峡航路の船舶通過実態 5

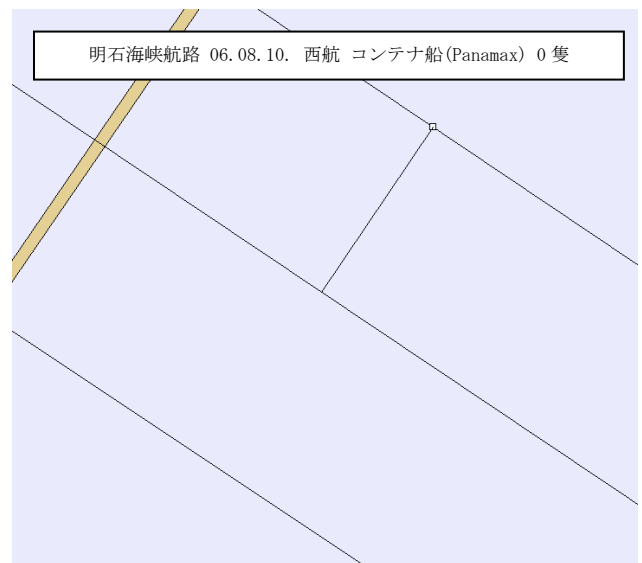
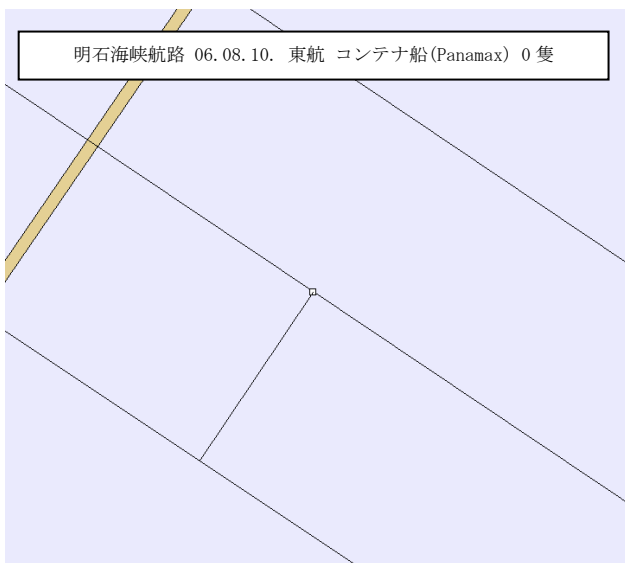


図-5.4.8 明石海峡航路の船舶通過実態 6



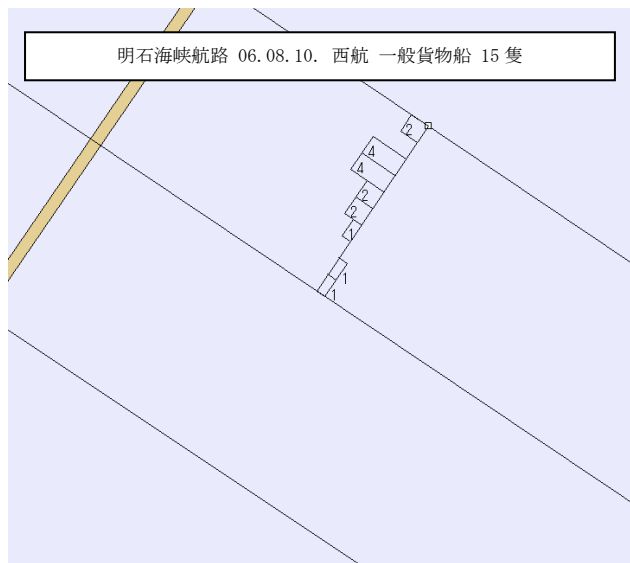
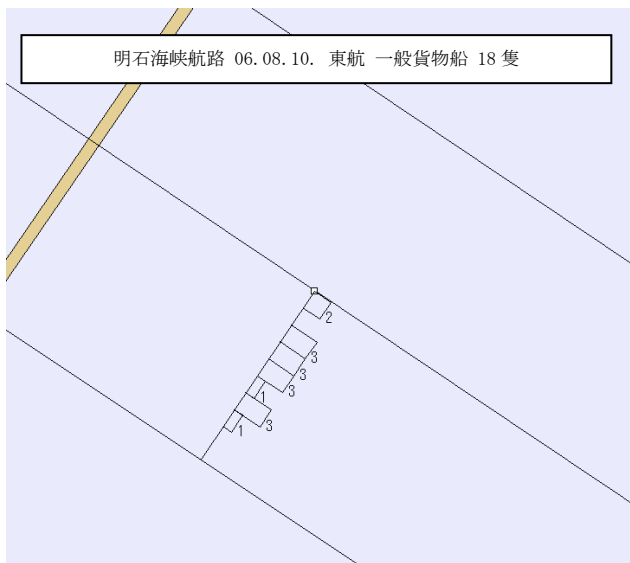


図-5.4.9 明石海峡航路の船舶通過実態 7

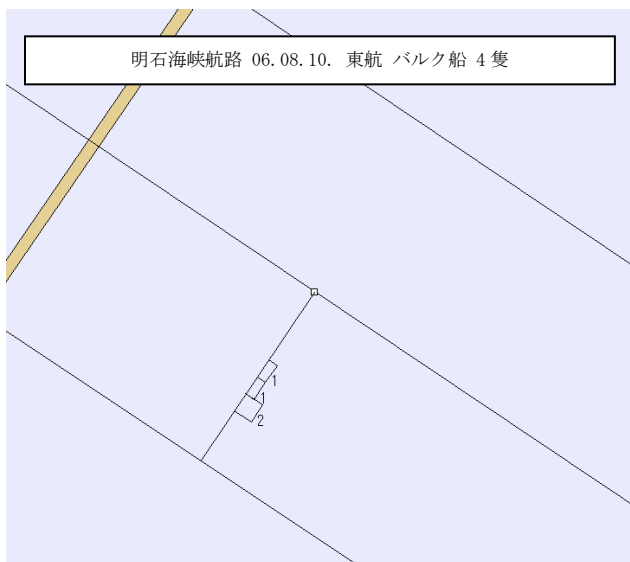


図-5.4.10 明石海峡航路の船舶通過実態 8



図-5.4.11 明石海峡航路の船舶通過実態 9



### 5.5 伊良湖水道航路

伊良湖水道航路については、図-5.5.1の白線で示した部分を対象にして、図-5.5.2で示すように片側600mの両方向1200mの幅員部分について、2006年8月10日の24時間について解析を実施した。図-5.5.2では、この24時間の航跡と合わせてそれぞれの航路帯での進航方向を示す。

ここでは、各航路帯を10分割して、それぞれの分割帯(伊良湖水道航路では60m単位)ごとの通過隻数を解析した。図-5.5.3では全船種、図-5.5.4では全長200m以上、図-5.5.5では全長200m未満、図-5.5.6ではコンテナ船、図-5.5.7ではコンテナ船(Over Panamax)、図-5.5.8ではコンテナ船(Panamax)、図-5.5.9では一般貨物船、図-5.5.10ではバルク船、図-5.5.11ではPCC船およびRORO船についての解析結果を示す。

なお、各図の分割帯では棒グラフの長さにより、また合わせて示す数字によりその分割帯を通過した隻数を、さらにその方向により進航方向を示している。

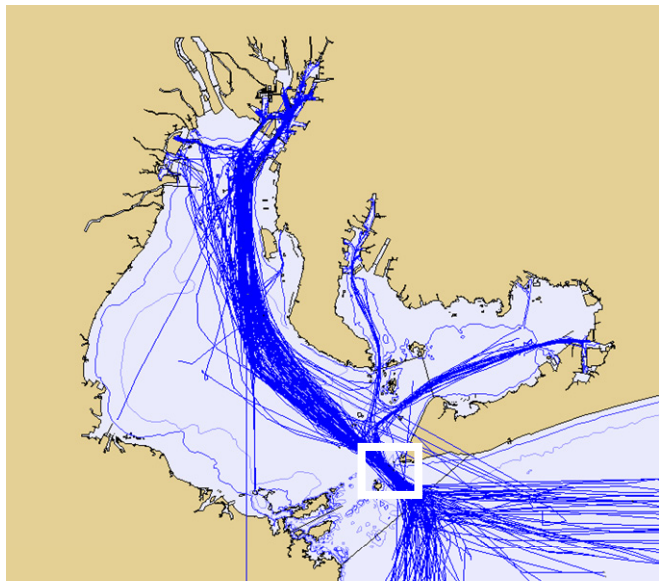


図-5.5.1 伊良湖水道航路位置図

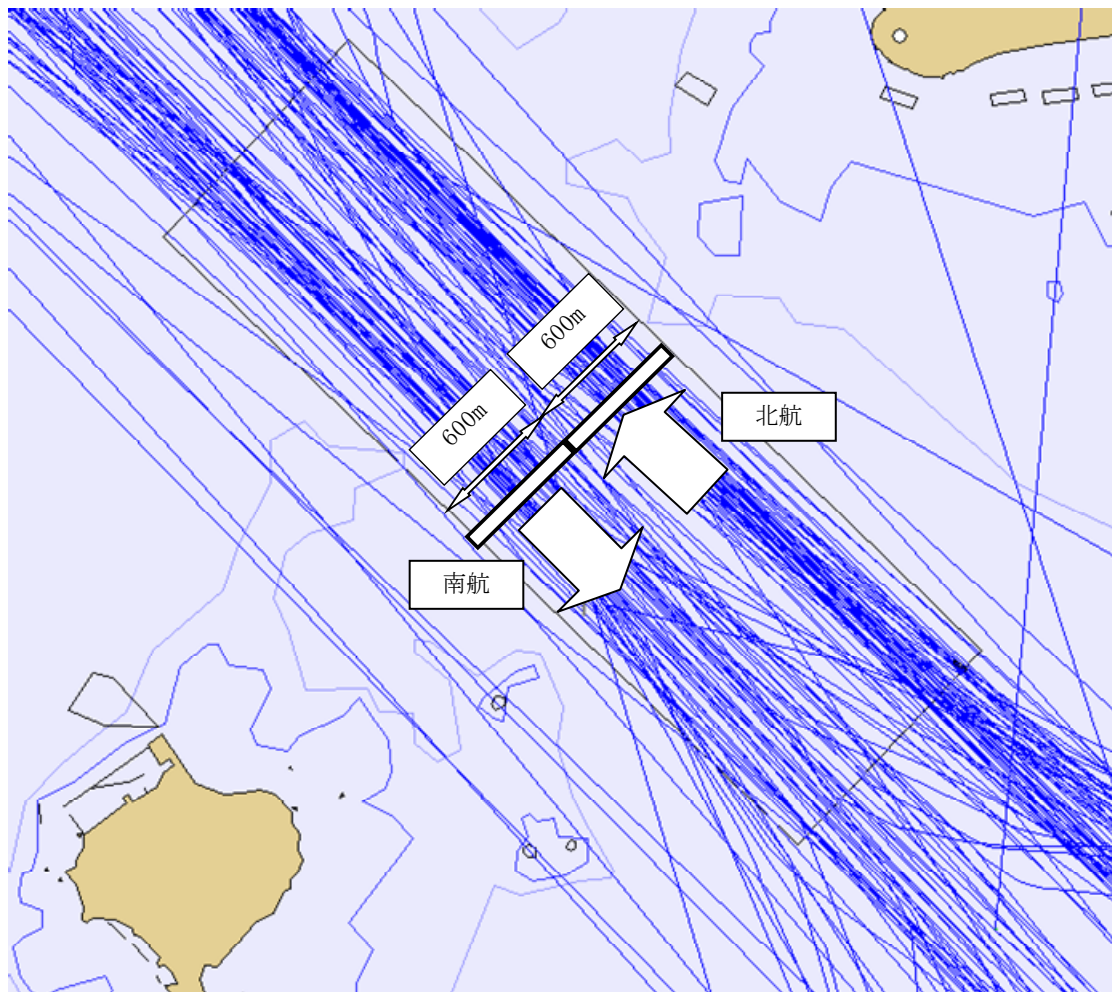


図-5.5.2 伊良湖水道航路の設定断面と通過船舶の航跡図

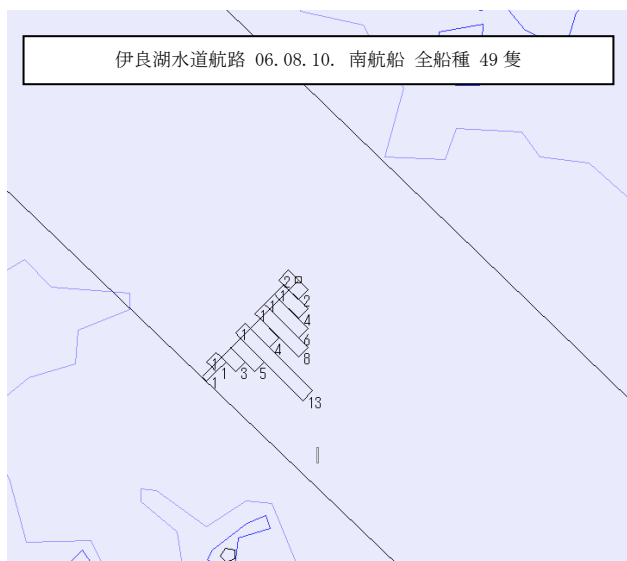


図-5.5.3 伊良湖水道航路の船舶通過実態 1

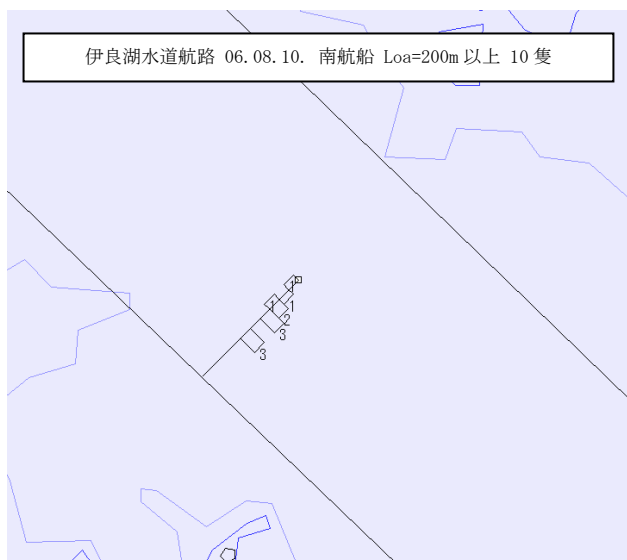


図-5.5.4 伊良湖水道航路の船舶通過実態 2

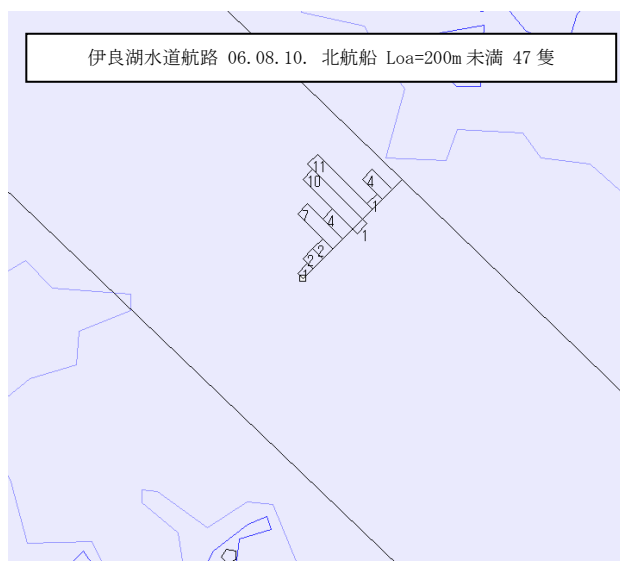
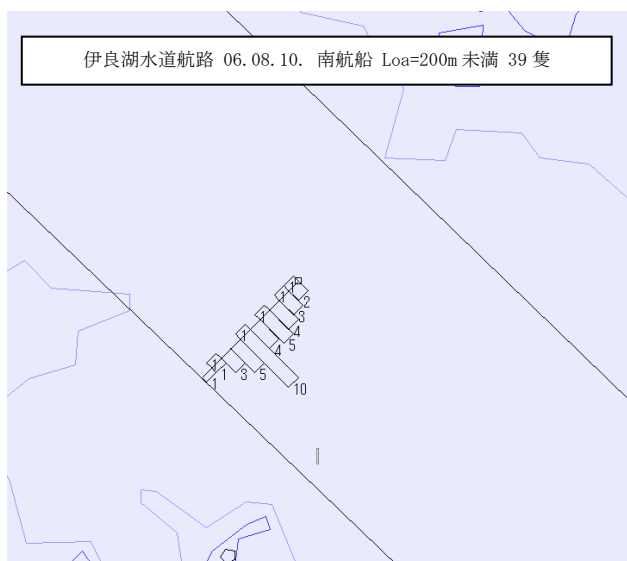


図-5.5.5 伊良湖水道航路の船舶通過実態 3



図-5.5.6 伊良湖水道航路の船舶通過実態 4

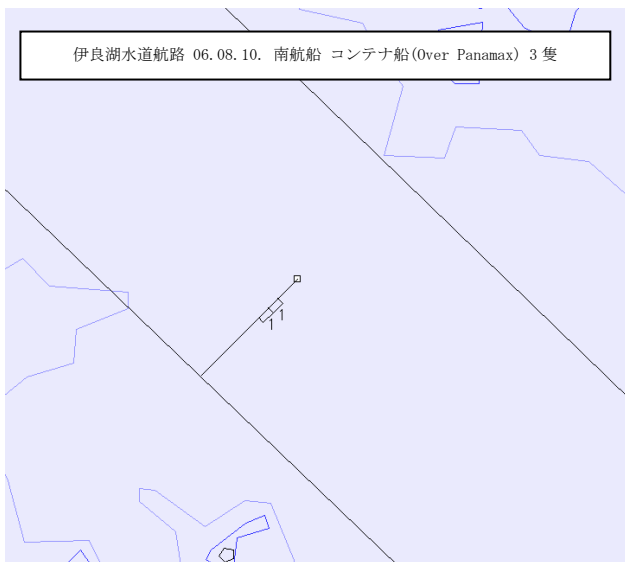


図-5.5.7 伊良湖水道航路の船舶通過実態 5

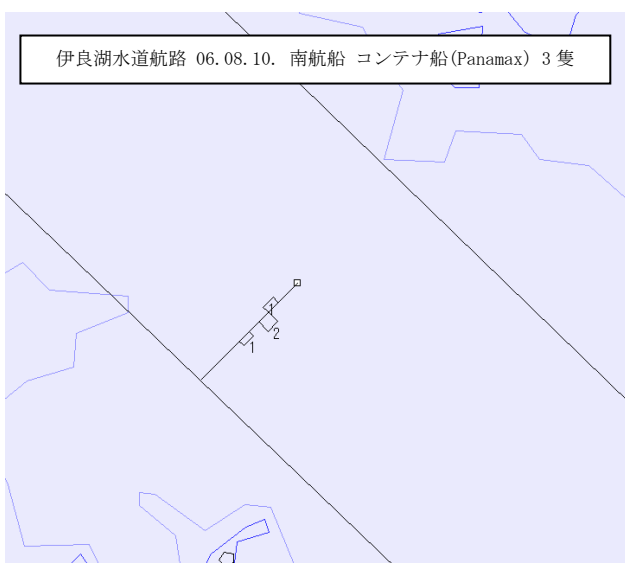


図-5.5.8 伊良湖水道航路の船舶通過実態 6



図-5.5.9 伊良湖水道航路の船舶通過実態 7

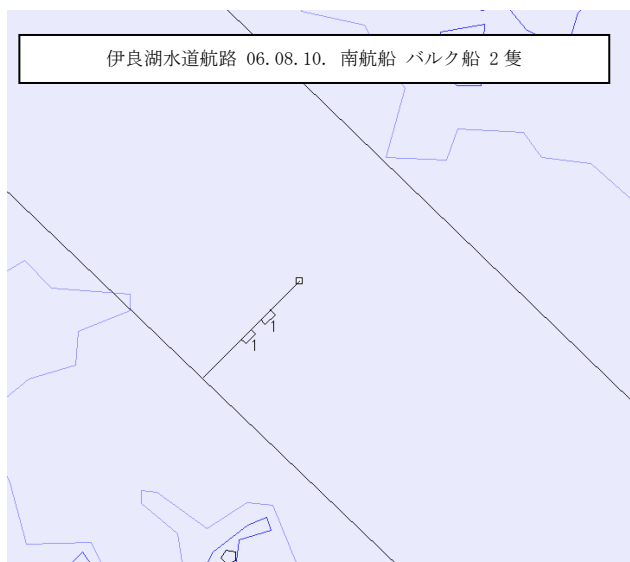


図-5.5.10 伊良湖水道航路の船舶通過実態 8



図-5.5.11 伊良湖水道航路の船舶通過実態 9

### 5.6 関門航路

関門航路については、図-5.6.1の白線で示した部分を対象にして、図-5.6.2で示すように片側280mの両方向560mの幅員部分について、2006年8月10日の24時間について解析を実施した。図-5.6.2では、この24時間の航跡と合わせてそれぞれの航路帯での進航方向を示す。

ここでは、各航路帯を10分割して、それぞれの分割帯(関門航路では28m単位)ごとの通過隻数を解析した。図-5.6.3では全船種、図-5.6.4では全長200m以上、図-5.6.5では全長200m未満、図-5.6.6ではコンテナ船、図-5.6.7ではコンテナ船(Over Panamax)、図-5.6.8ではコンテナ船(Panamax)、図-5.6.9では一般貨物船、図-5.6.10ではバルク船、図-5.6.11ではPCC船およびRORO船についての解析結果を示す。

なお、各図の分割帯では棒グラフの長さにより、また合わせて示す数字によりその分割帯を通過した隻数を、さらにその方向により進航方向を示している。

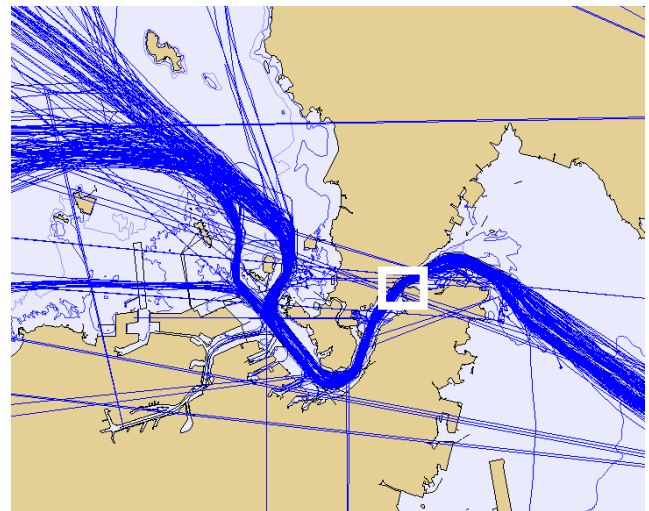


図-5.6.1 関門航路位置図

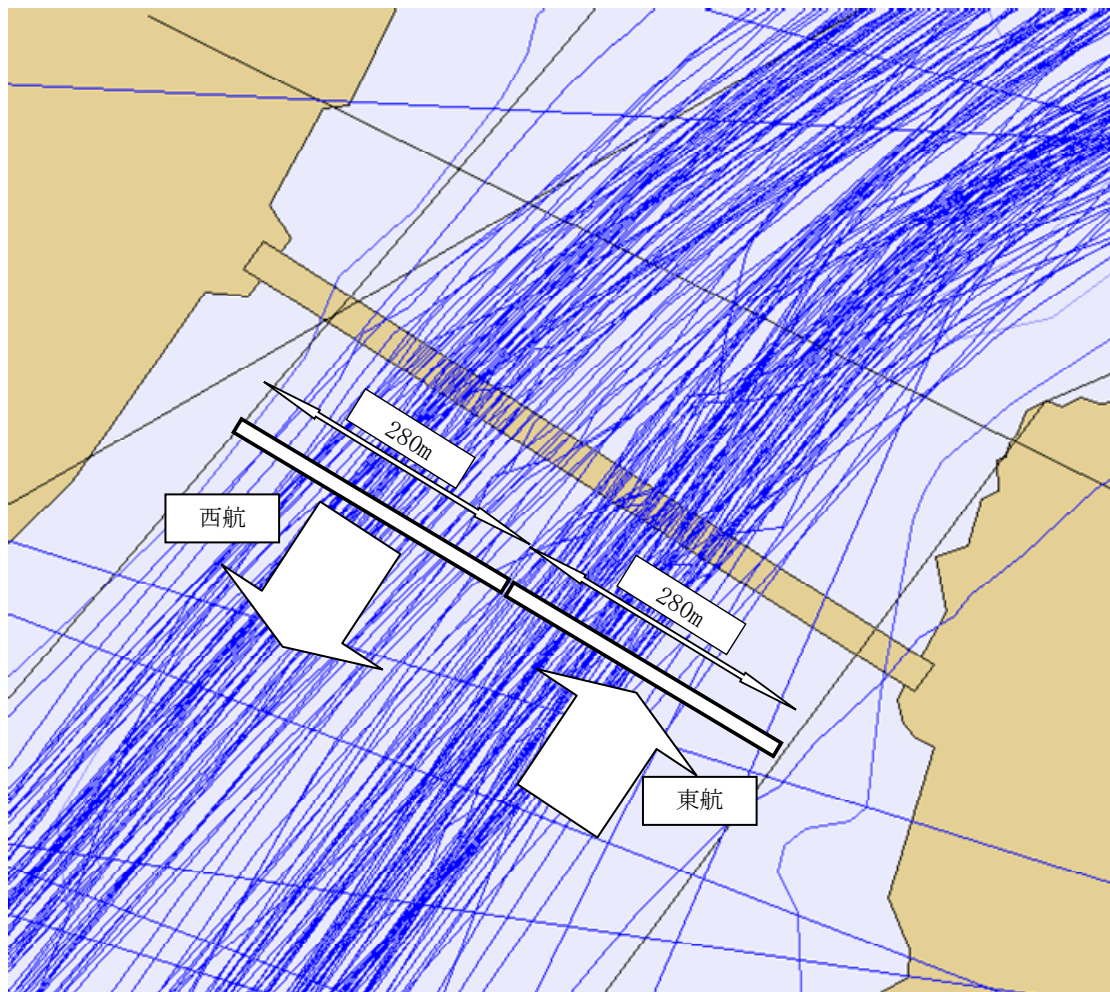


図-5.6.2 関門航路の設定断面と通過船舶の航跡図



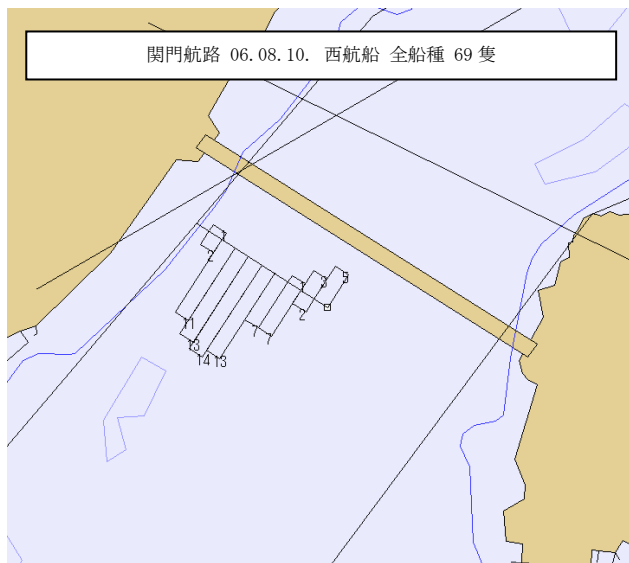
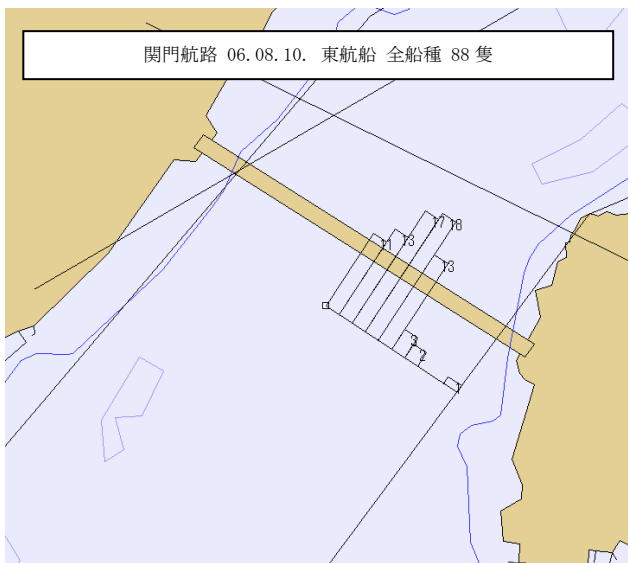


図-5.6.3 関門航路の船舶通過実態 1

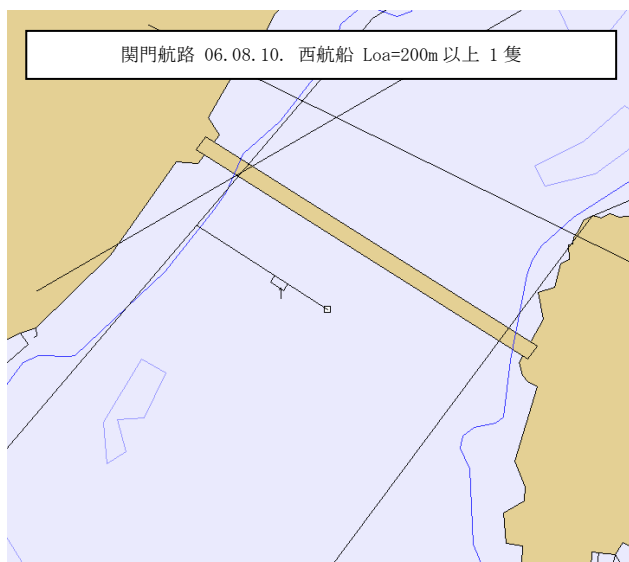
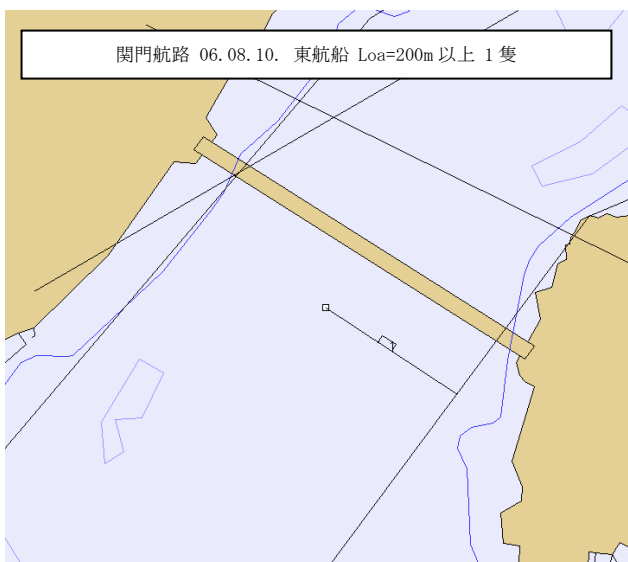


図-5.6.4 関門航路の船舶通過実態 2

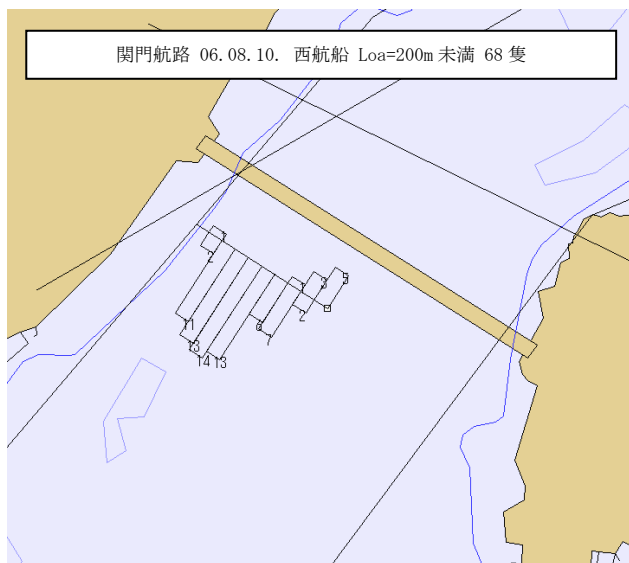
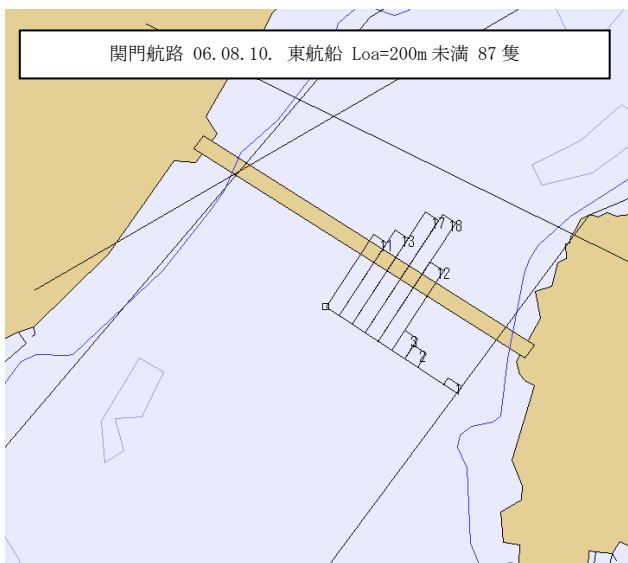


図-5.6.5 関門航路の船舶通過実態 3

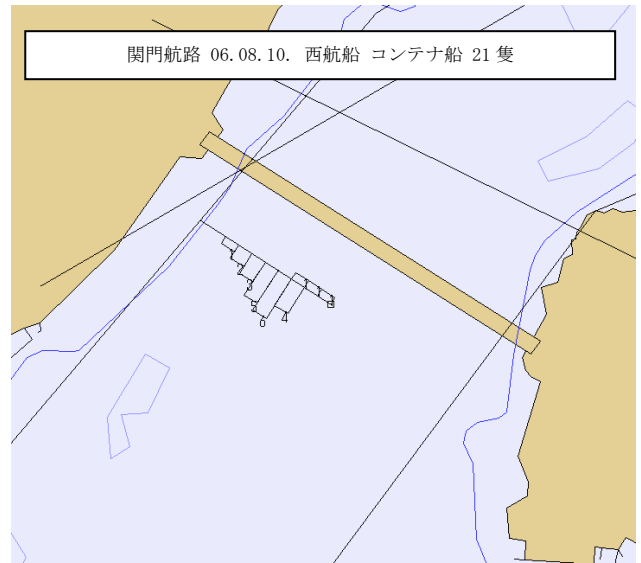
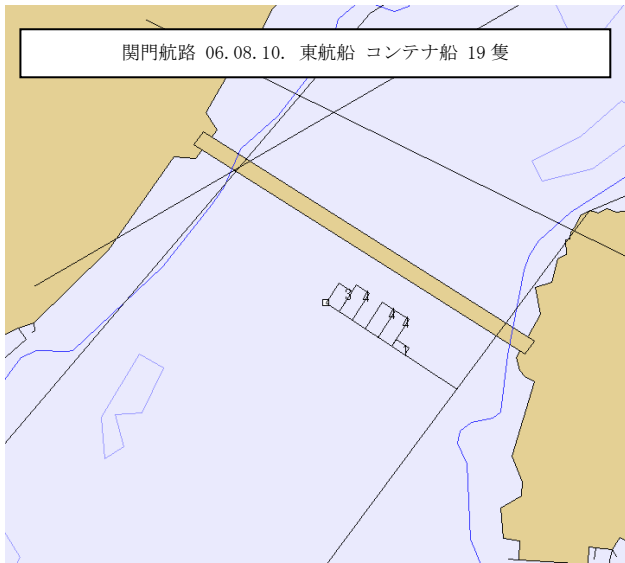


図-5.6.6 関門航路の船舶通過実態 4

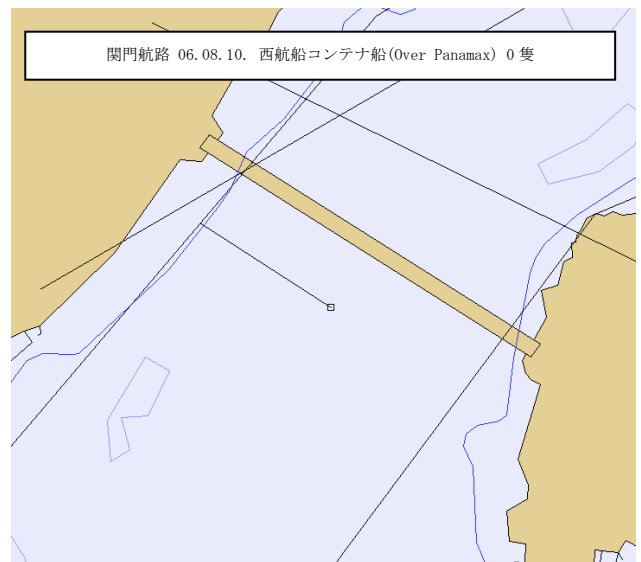
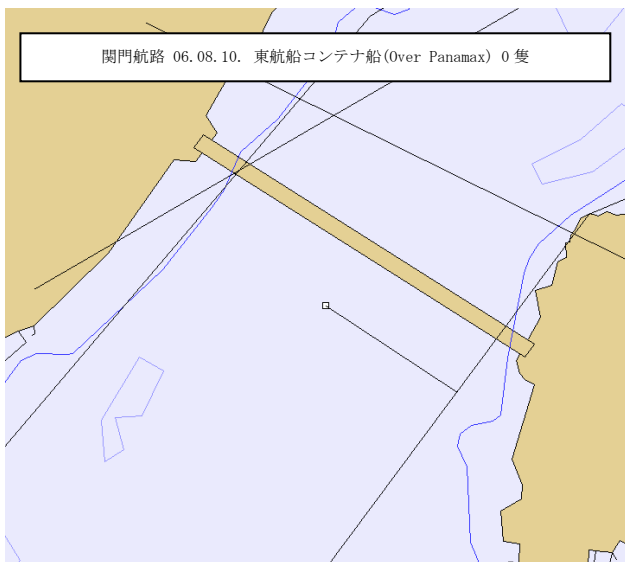


図-5.6.7 関門航路の船舶通過実態 5

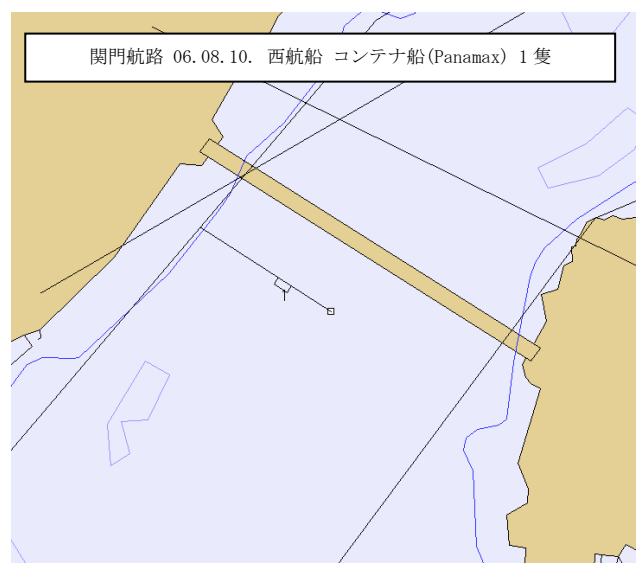
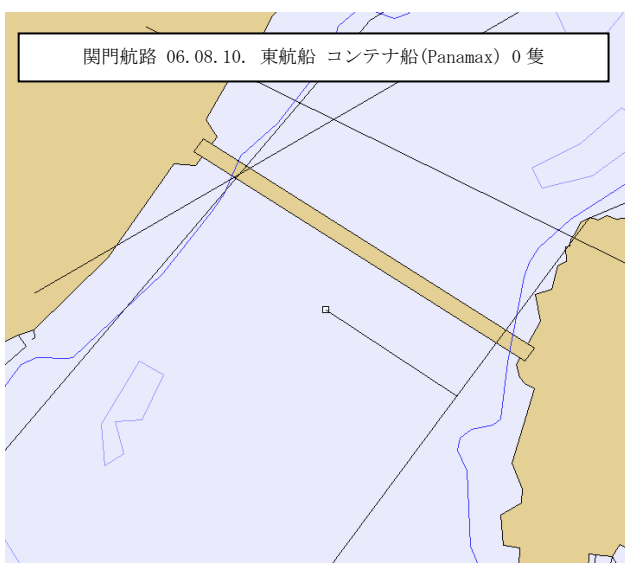


図-5.6.8 関門航路の船舶通過実態 6

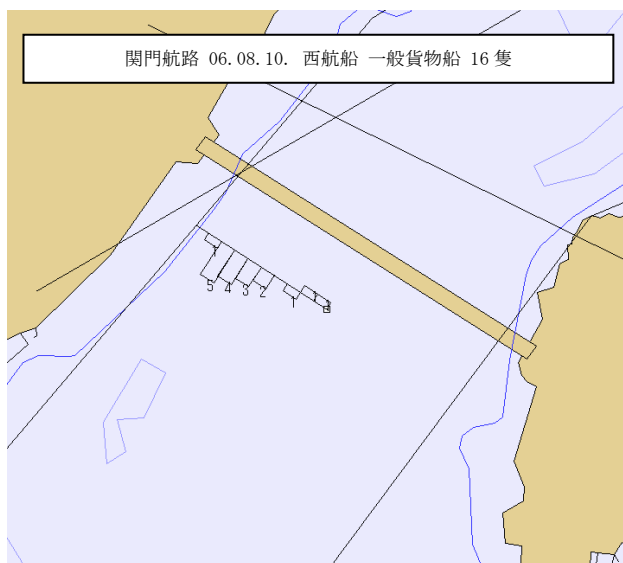
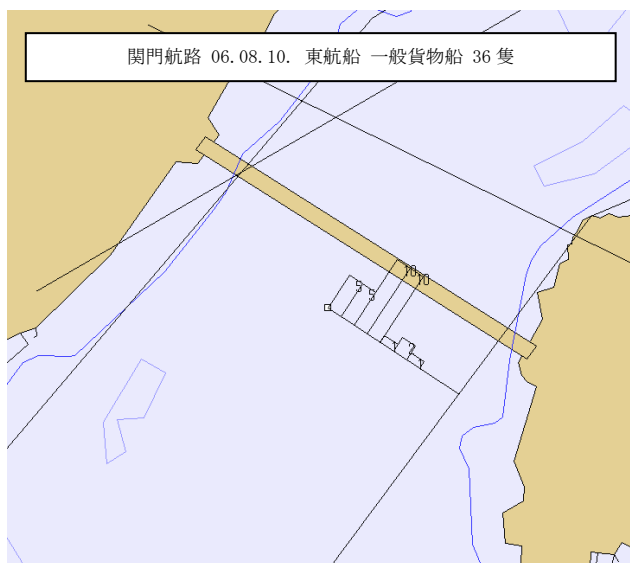


図-5.6.9 関門航路の船舶通過実態 7

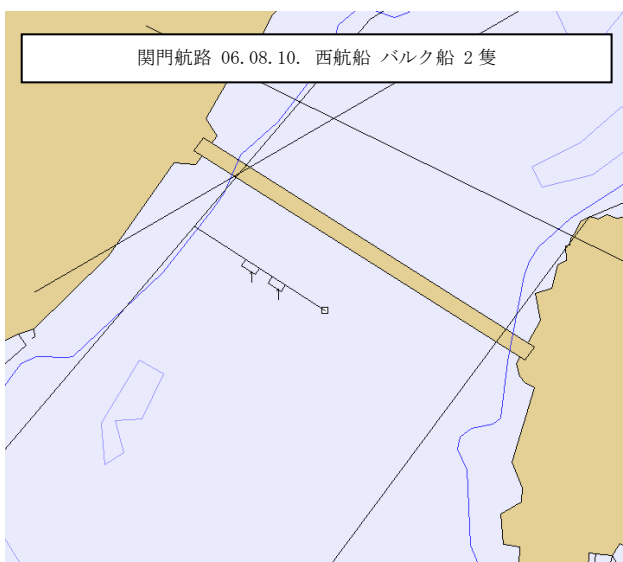
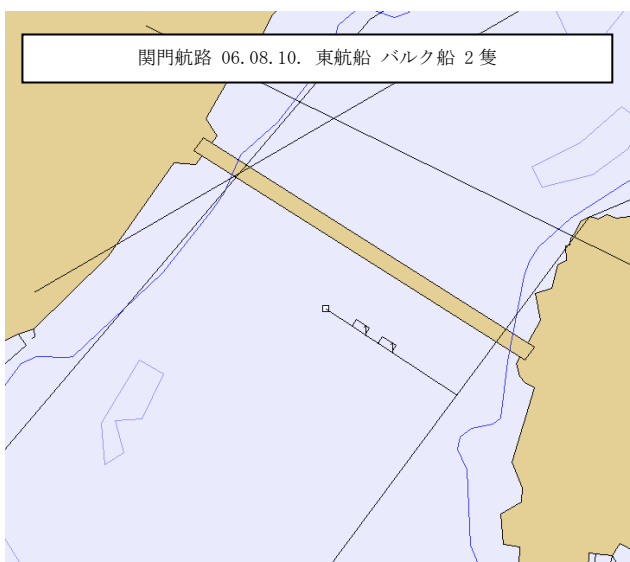


図-5.6.10 関門航路の船舶通過実態 8

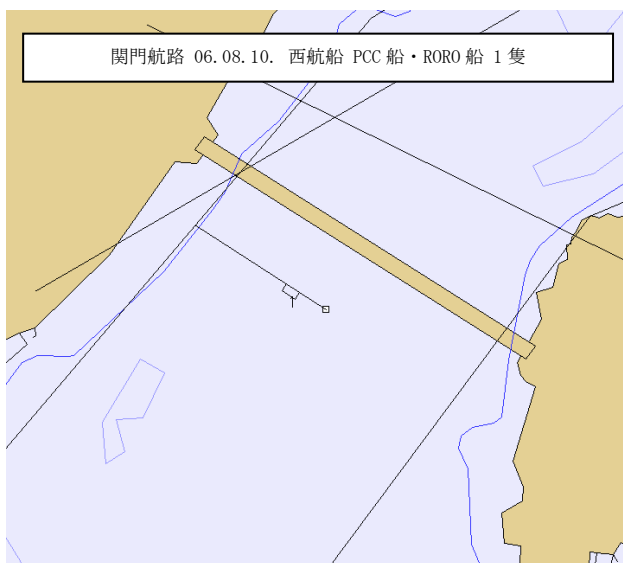
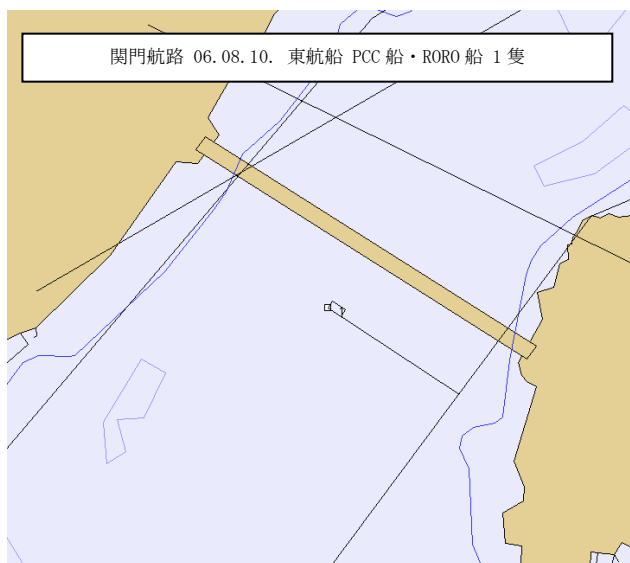


図-5.6.11 関門航路の船舶通過実態 9



### 5.7 釜山港

釜山港については、図-5.7.1の白線で示した部分を対象にして、図-5.7.2で示すように両方向510mの幅員部分について、2006年8月10日の24時間について解析を実施した。図-5.7.2では、この24時間の航跡と合わせてそれぞれの航路帯での進航方向を示す。

ここでは、各航路帯を10分割して、それぞれの分割帯(釜山港では51m単位)ごとの通過隻数を解析した。図-5.7.3では全船種、図-5.7.4では全長200m以上、図-5.7.5では全長200m未満、図-5.7.6ではコンテナ船、図-5.7.7ではコンテナ船(Over Panamax)、図-5.7.8ではコンテナ船(Panamax)、図-5.7.9では一般貨物船、図-5.7.10ではバルク船、図-5.7.11ではPCC船およびRORO船についての解析結果を示す。

なお、各図の分割帯では棒グラフの長さにより、また合わせて示す数字によりその分割帯を通過した隻数を、さらにその方向により進航方向を示している。

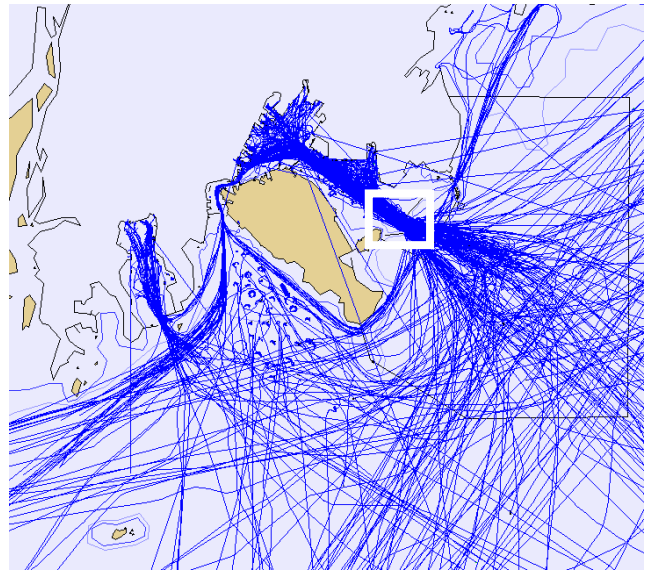


図-5.7.1 釜山港位置図

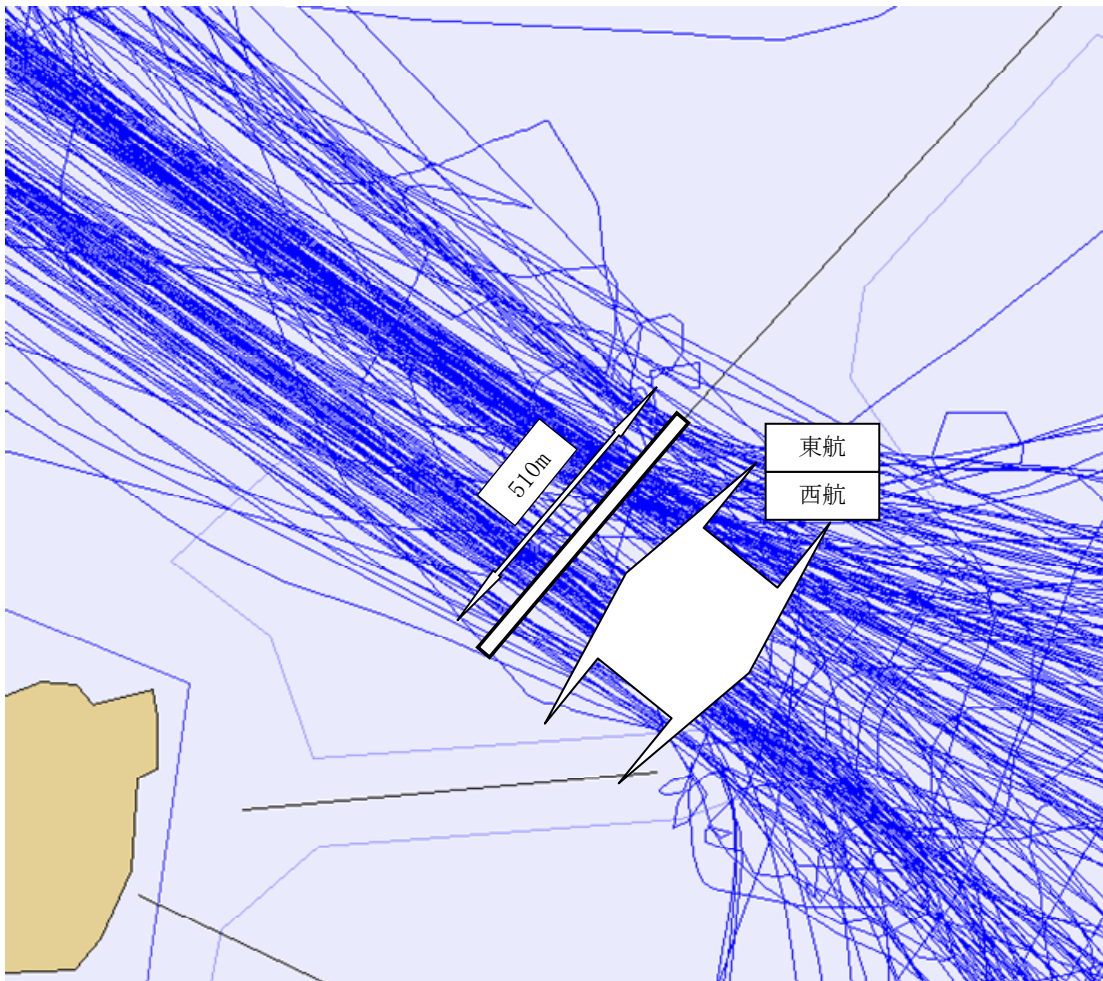


図-5.7.2 釜山港の設定断面と通過船舶の航跡図

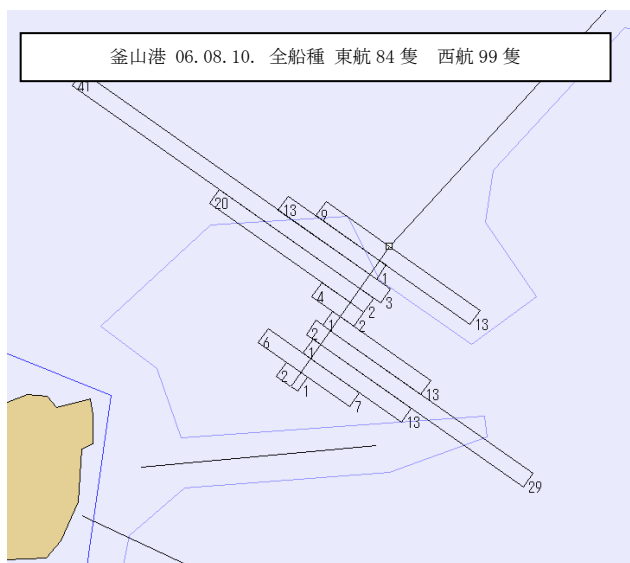


図-5.7.3 釜山港の船舶通過実態 1



図-5.7.4 釜山港の船舶通過実態 2

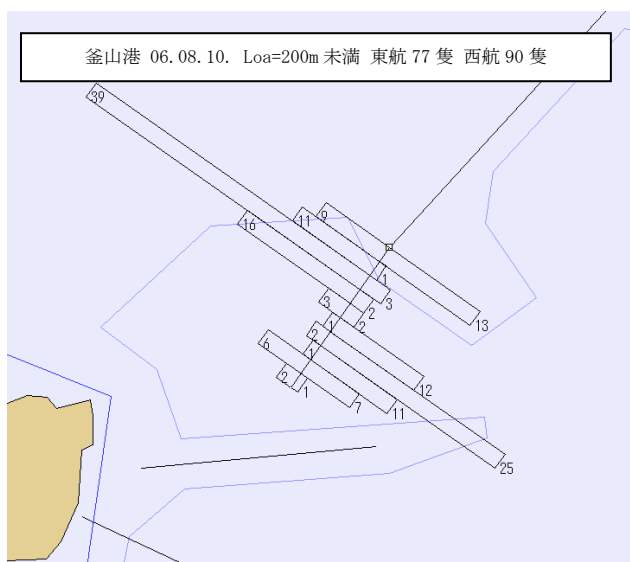


図-5.7.5 釜山港の船舶通過実態 3

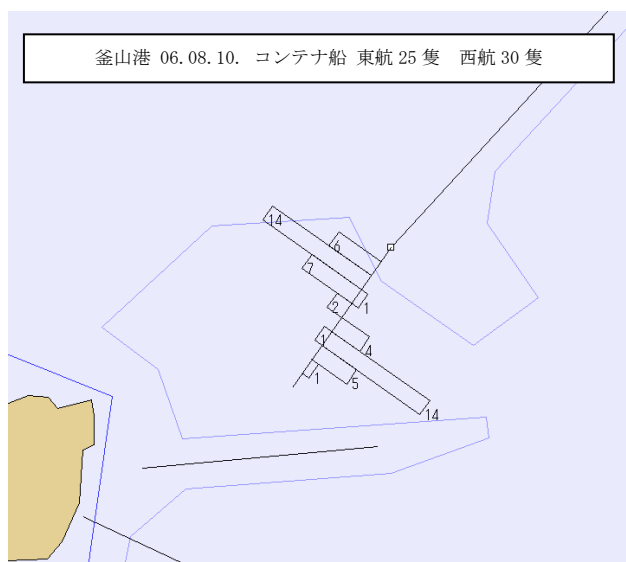


図-5.7.6 釜山港の船舶通過実態 4



図-5.7.7 釜山港の船舶通過実態 5



図-5.7.8 釜山港の船舶通過実態 6

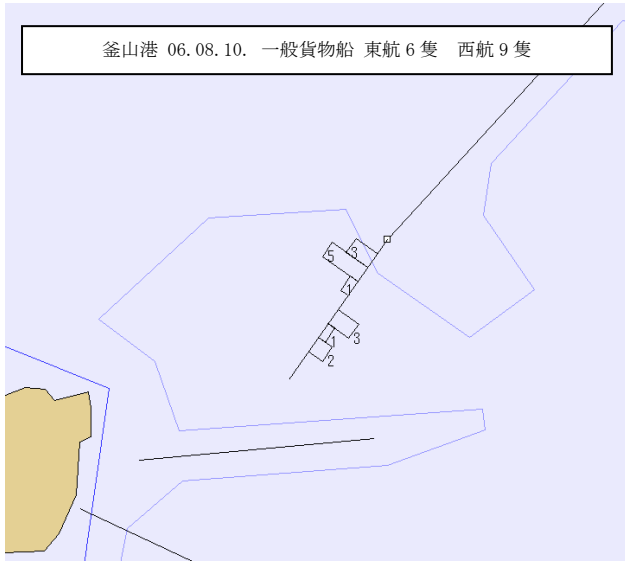


図-5.7.9 釜山港の船舶通過実態 7

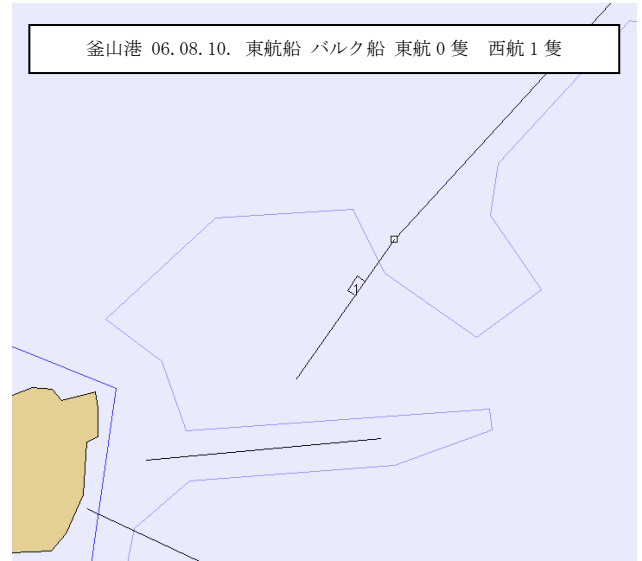


図-5.7.10 釜山港の船舶通過実態 8

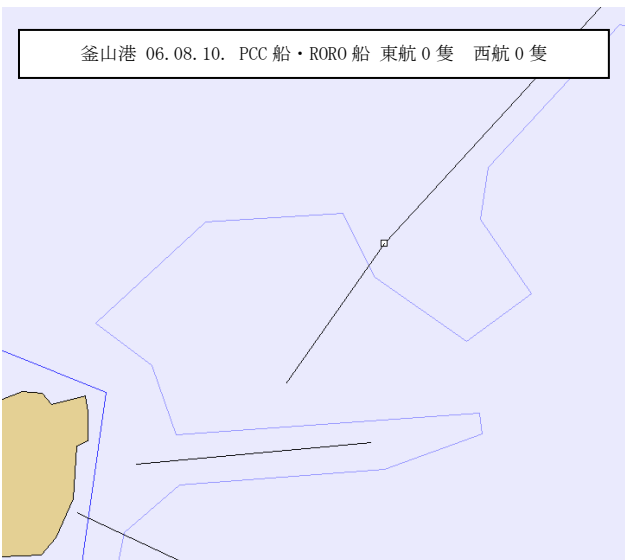


図-5.7.11 釜山港の船舶通過実態 9

### 5.8 高雄港

高雄港については、図-5.8.1の白線で示した部分を対象にして、図-5.8.2で示すように両方向170m及び130mの幅員部分について、2006年8月10日の24時間について解析を実施した。図-5.8.2では、この24時間の航跡と合わせてそれぞれの航路帯での進航方向を示す。

ここでは、各航路帯を10分割して、それぞれの分割帯(高雄港1では17m単位、高雄港2では13m単位)ごとの通過隻数を解析した。図-5.8.3では全船種、図-5.8.4では全長200m以上、図-5.8.5では全長200m未満、図-5.8.6ではコンテナ船、図-5.8.7ではコンテナ船(Over Panamax)、図-5.8.8ではコンテナ船(Panamax)、図-5.8.9では一般貨物船、図-5.8.10ではバルク船、図-5.8.11ではPCC船およびRORO船についての解析結果を示す。

なお、各図の分割帯では棒グラフの長さにより、また合わせて示す数字によりその分割帯を通過した隻数を、さらにその方向により進航方向を示している。

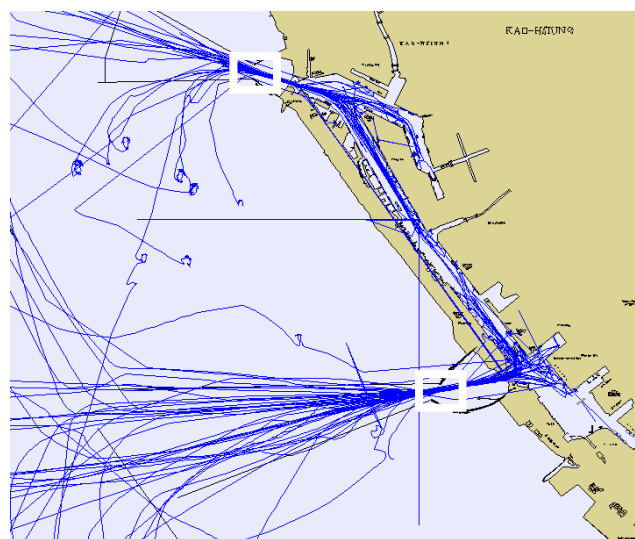
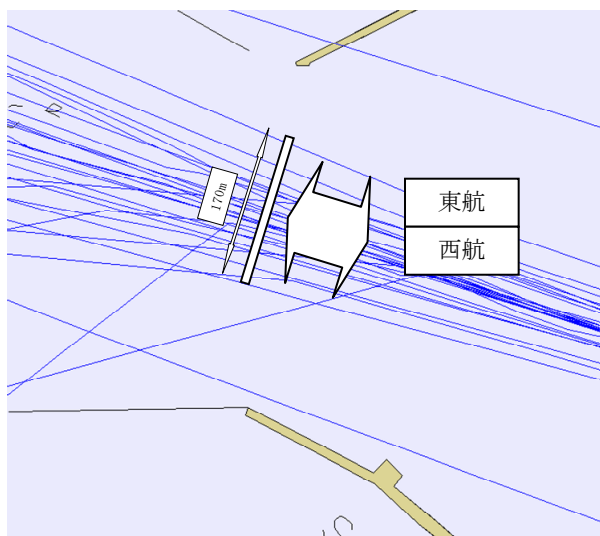
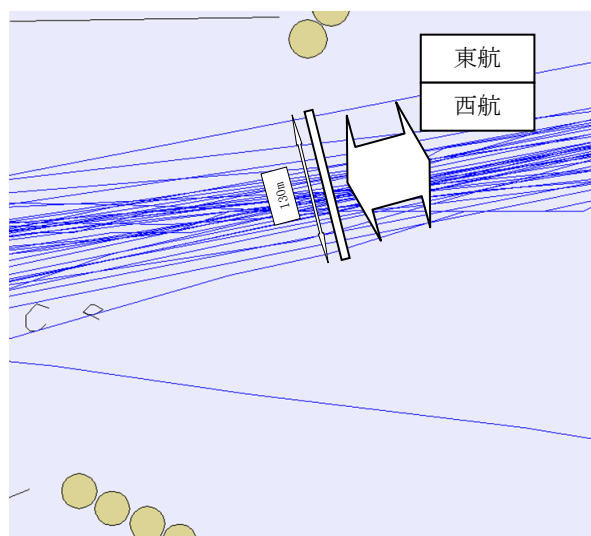


図-5.8.1 高雄港位置図



高雄港 1



高雄港 2

図-5.8.2 高雄港の設定断面と通過船舶の航跡図

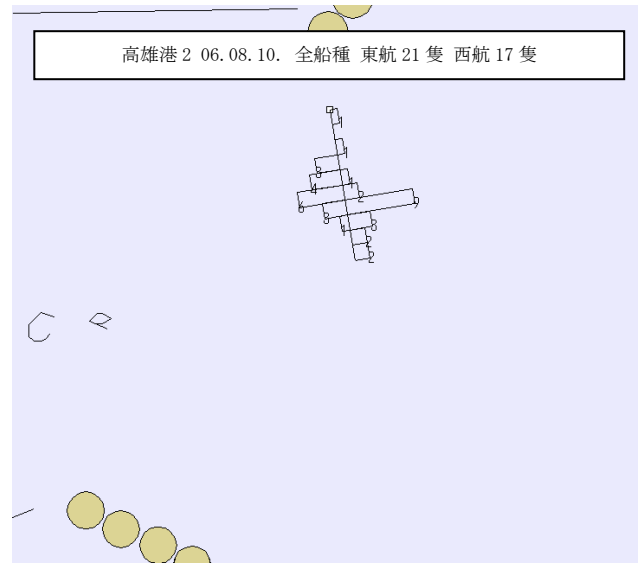
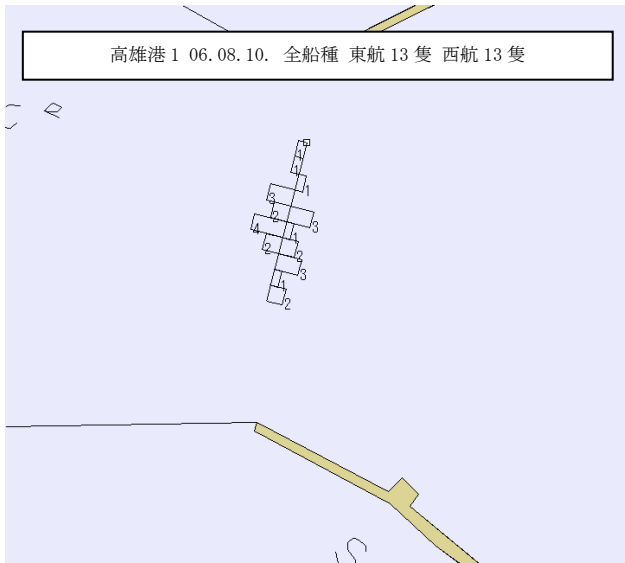


図-5.8.3 高雄港の船舶通過実態 1

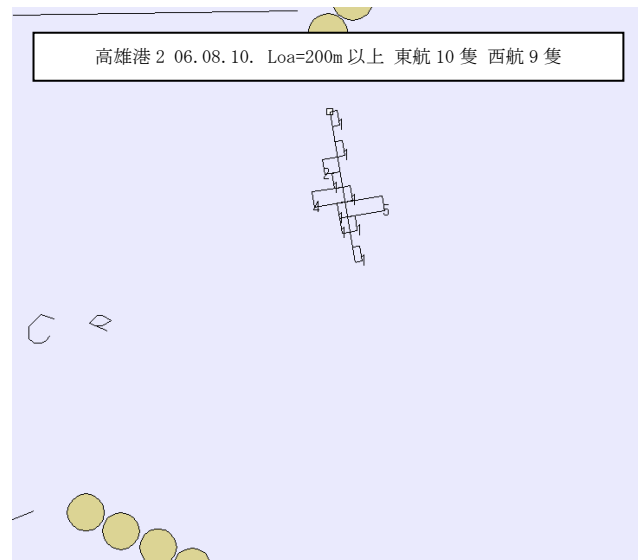
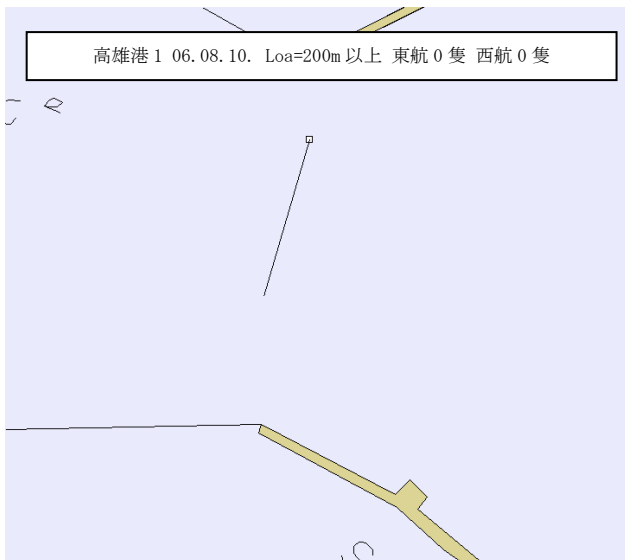


図-5.8.4 高雄港の船舶通過実態 2

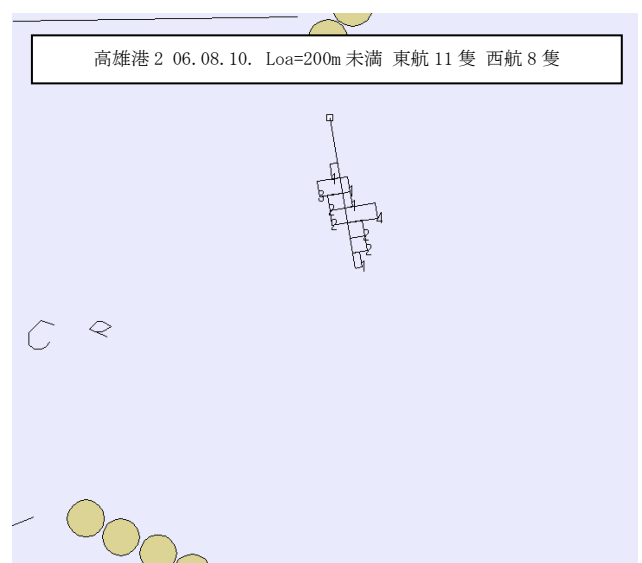
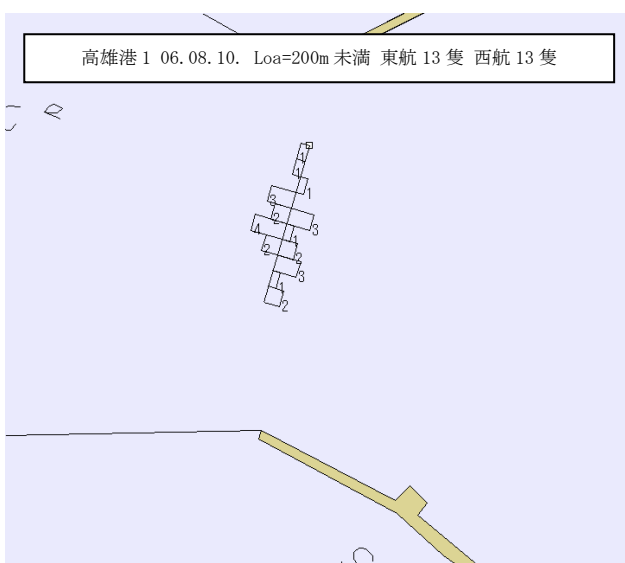


図-5.8.5 高雄港の船舶通過実態 3

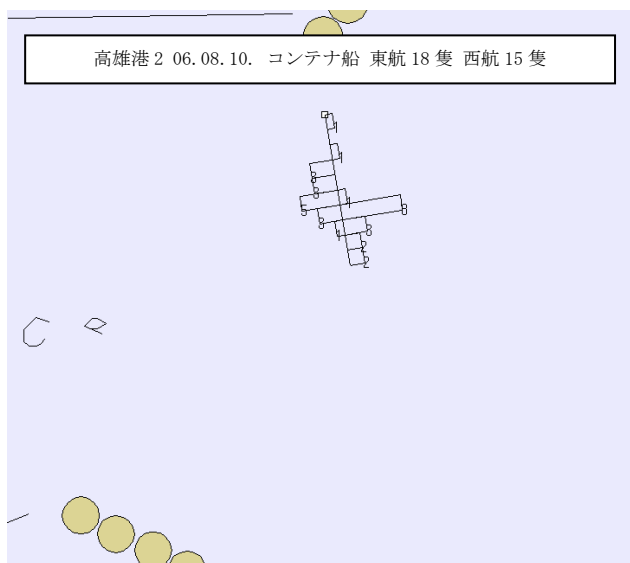
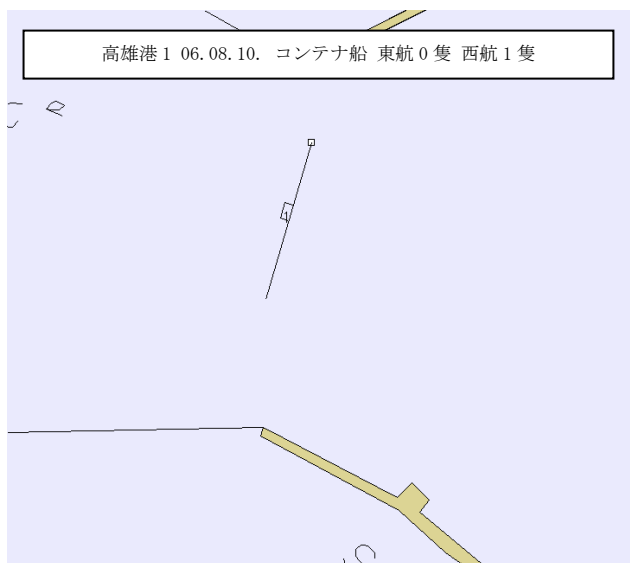


図-5.8.6 高雄港の船舶通過実態 4

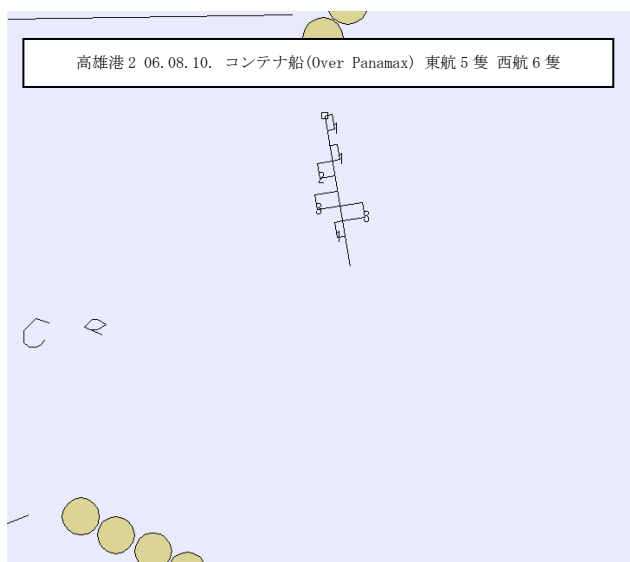
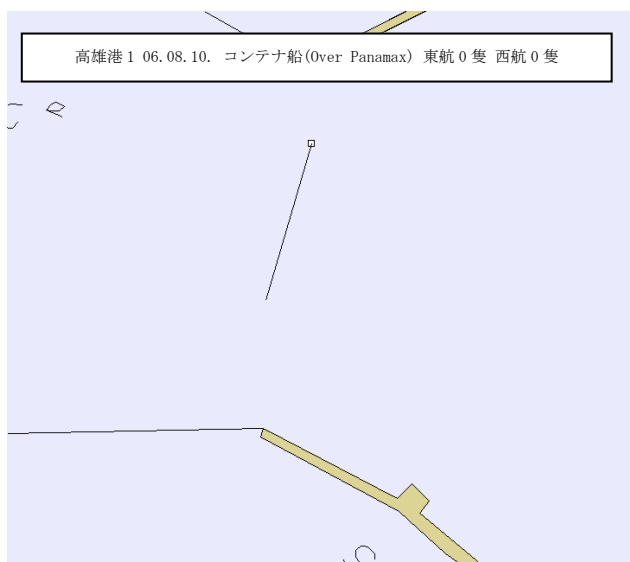


図-5.8.7 高雄港の船舶通過実態 5

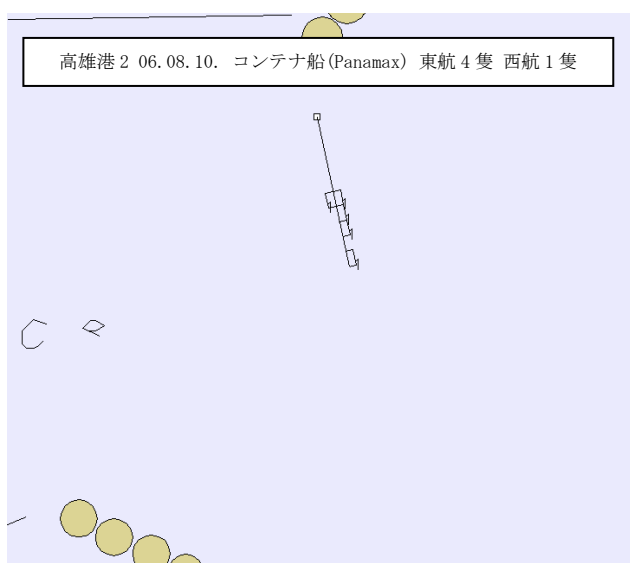
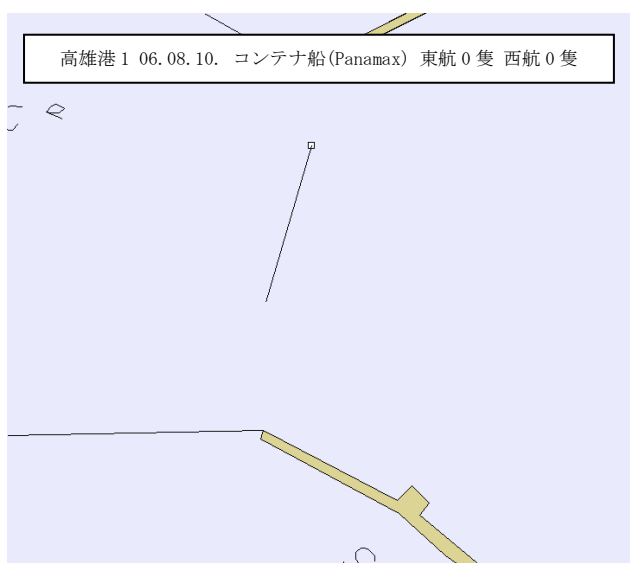


図-5.8.8 高雄港の船舶通過実態 6

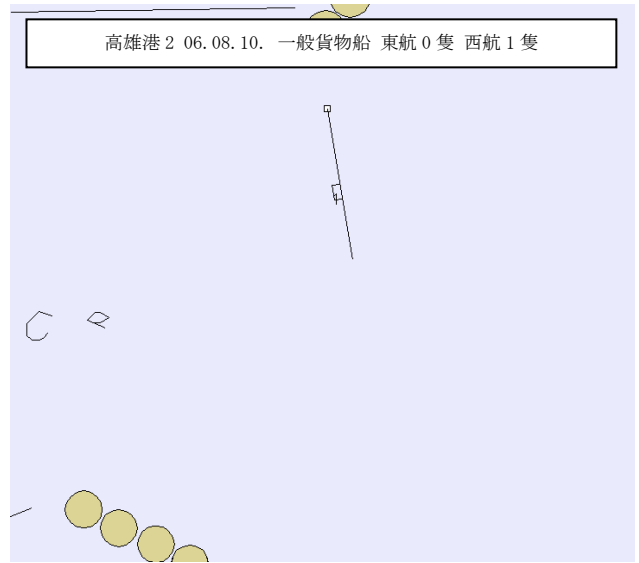
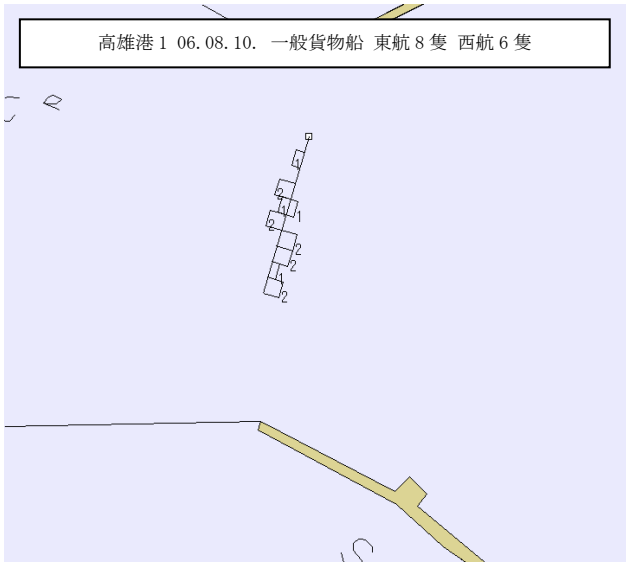


図-5.8.9 高雄港の船舶通過実態 7

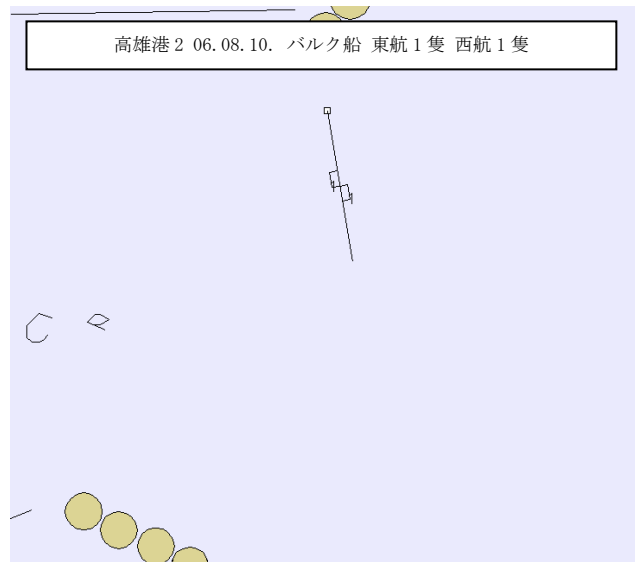
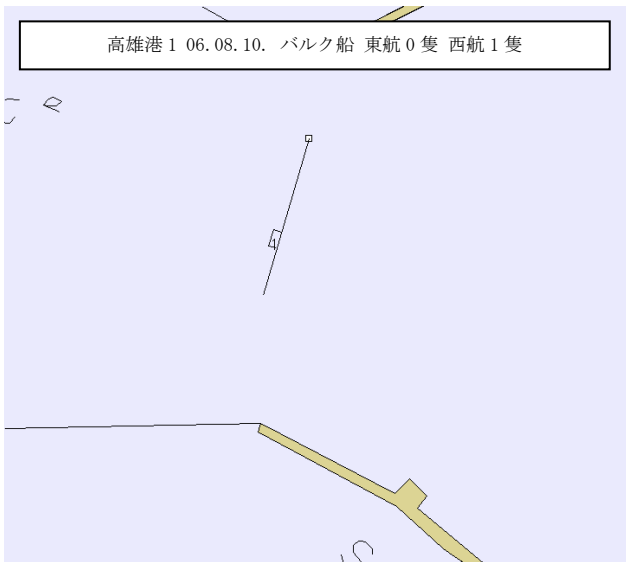


図-5.8.10 高雄港の船舶通過実態 8

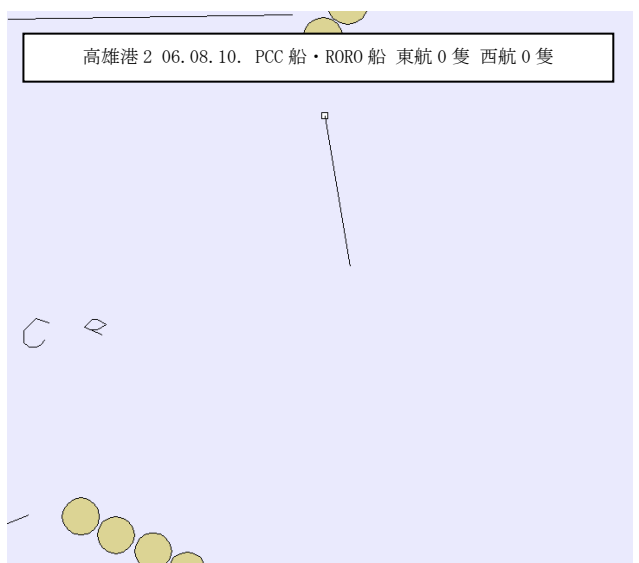
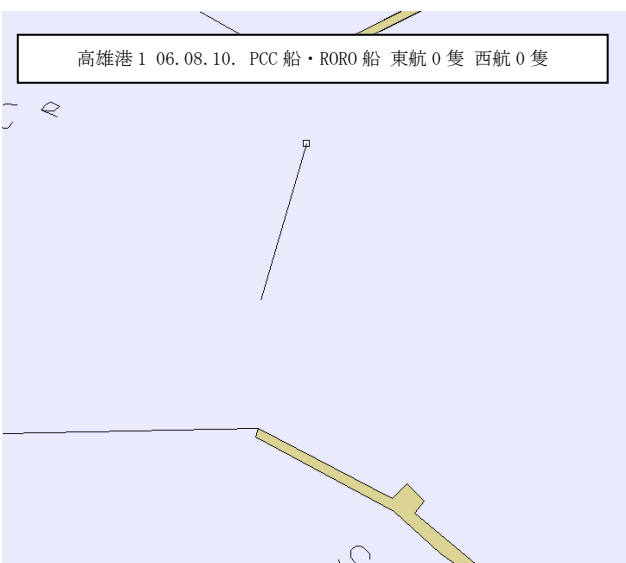


図-5.8.11 高雄港の船舶通過実態 9



### 5.9 香港港

香港港については、図-5.9.1の白線で示した部分を対象にして、図-5.9.2で示すように両方向630mの幅員部分について、2006年8月10日の24時間について解析を実施した。図-5.9.2では、この24時間の航跡と合わせてそれぞれの航路帯での進航方向を示す。

ここでは、各航路帯を10分割して、それぞれの分割帯(香港港の航路では63m単位)ごとの通過隻数を解析した。図-5.9.3では全船種、図-5.9.4では全長200m以上、図-5.9.5では全長200m未満、図-5.9.6ではコンテナ船、図-5.9.7ではコンテナ船(Over Panamax)、図-5.9.8ではコンテナ船(Panamax)、図-5.9.9では一般貨物船、図-5.9.10ではバルク船、図-5.9.11ではPCC船およびRORO船についての解析結果を示す。

なお、各図の分割帯では棒グラフの長さにより、また合わせて示す数字によりその分割帯を通過した隻数を、さらにその方向により進航方向を示している。

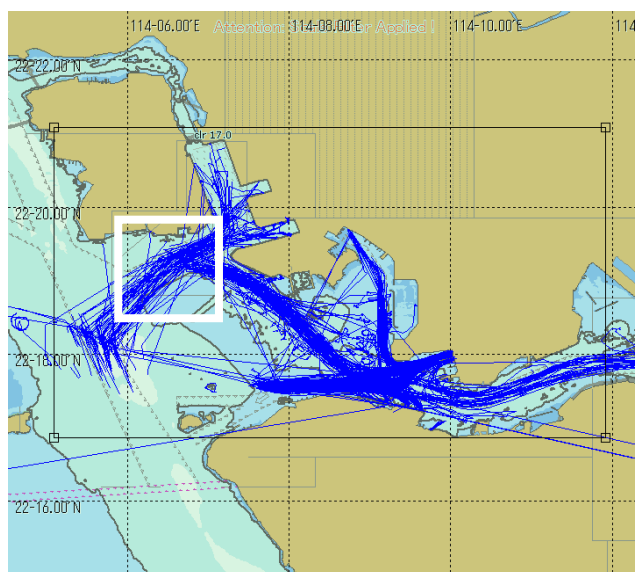


図-5.9.1 香港港位置図

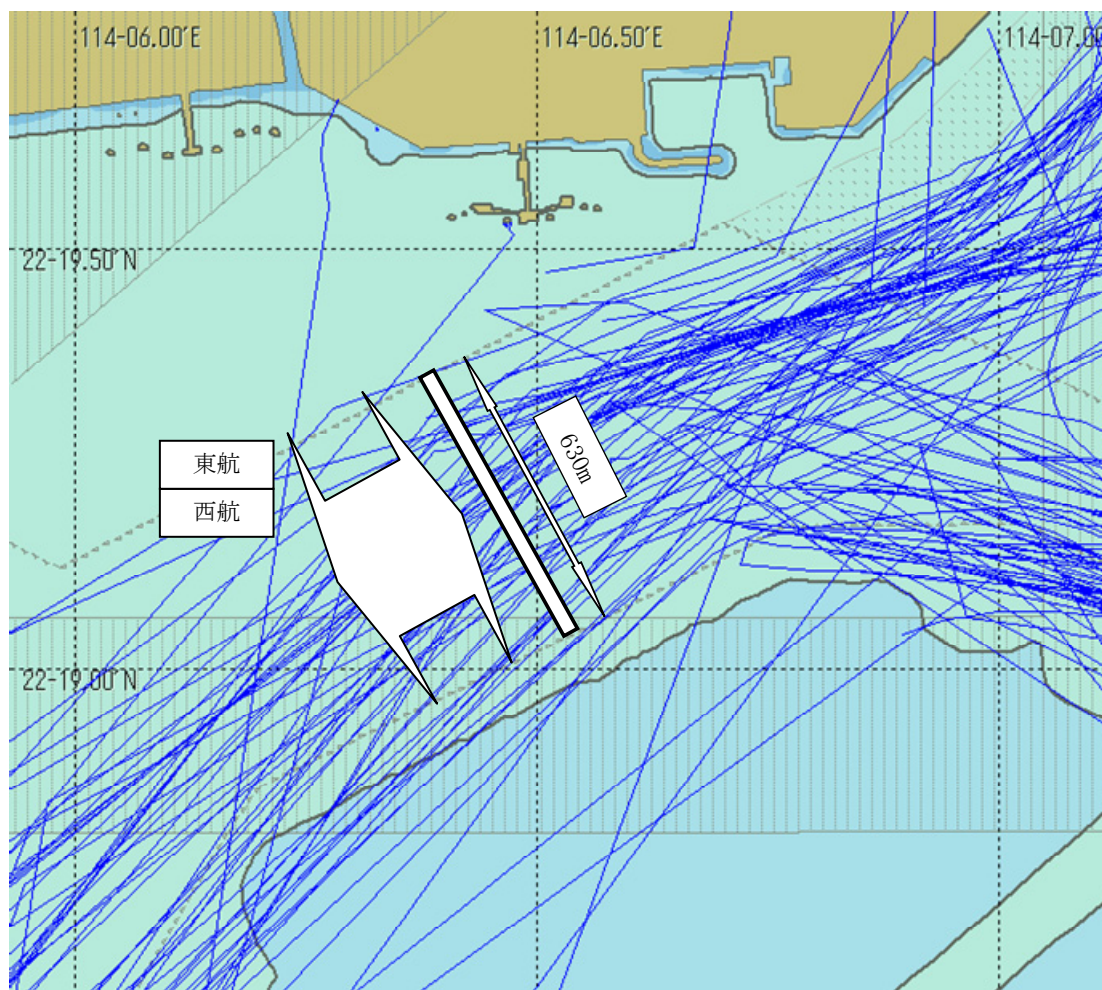


図-5.9.2 香港港の設定断面と通過船舶の航跡図



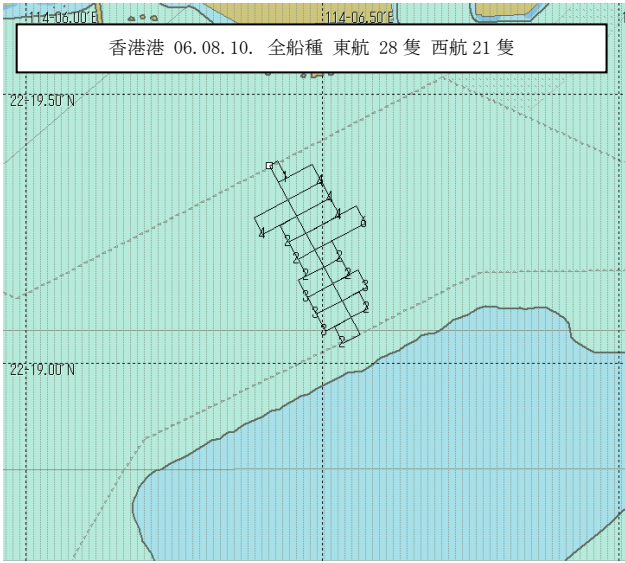


図-5.9.3 香港港の船舶通過実態 1

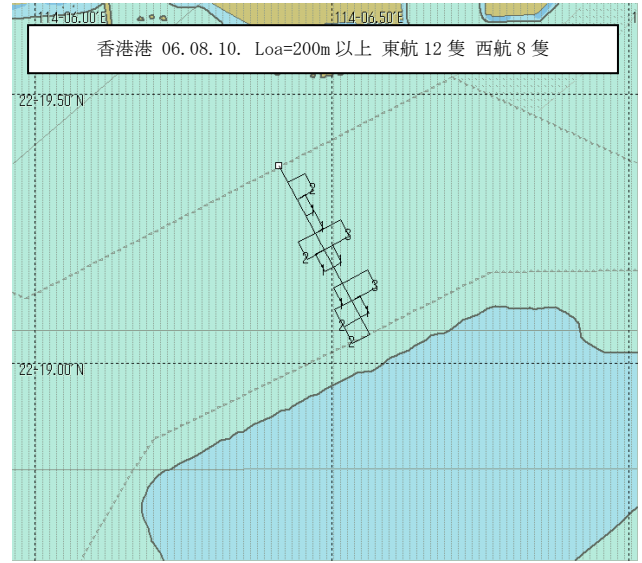


図-5.9.4 香港港の船舶通過実態 2

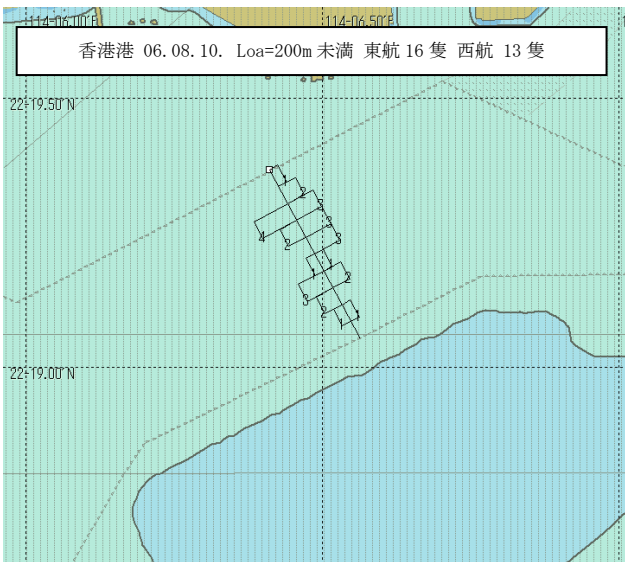


図-5.9.5 香港港の船舶通過実態 3

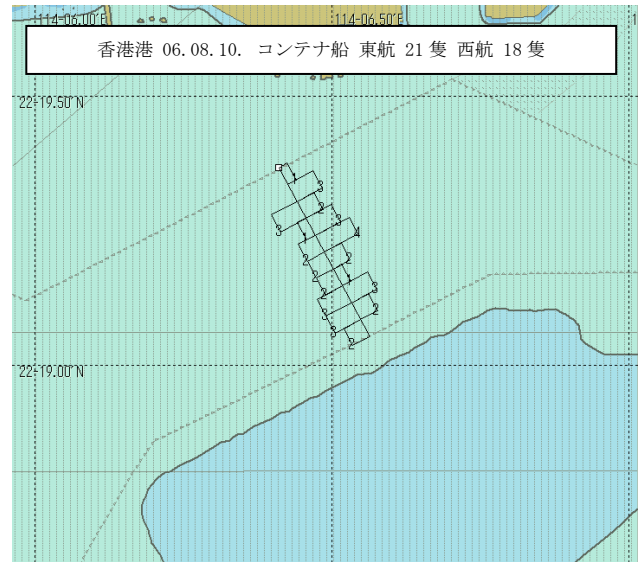


図-5.9.6 香港港の船舶通過実態 4

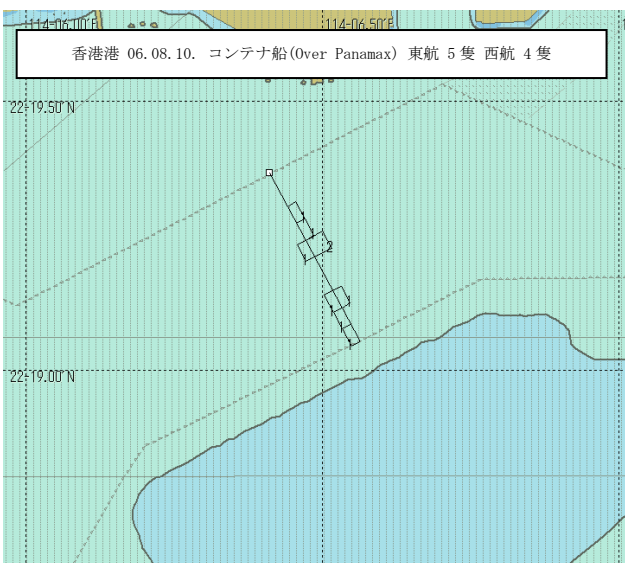


図-5.9.7 香港港の船舶通過実態 5

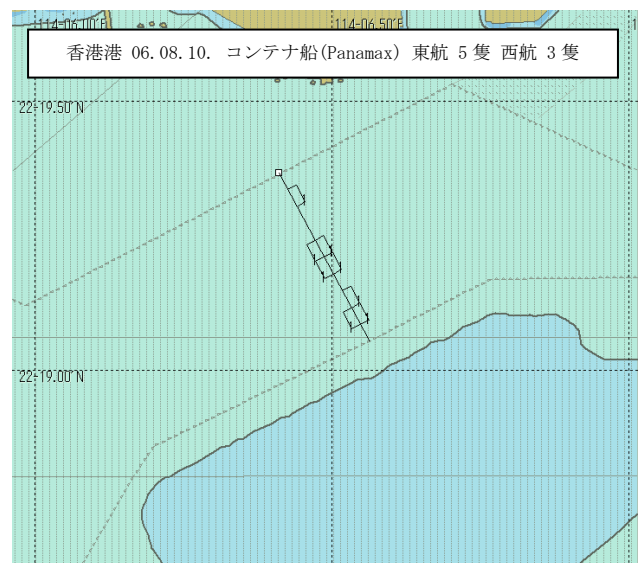


図-5.9.8 香港港の船舶通過実態 6

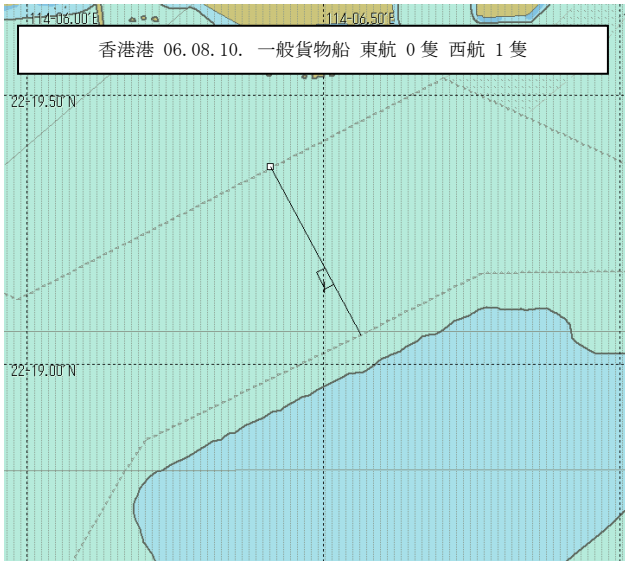


図-5.9.9 香港港の船舶通過実態 7

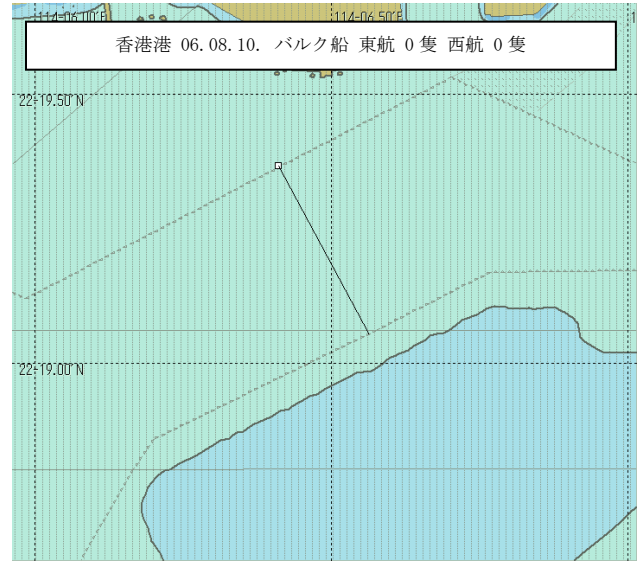


図-5.9.10 香港港の船舶通過実態 8

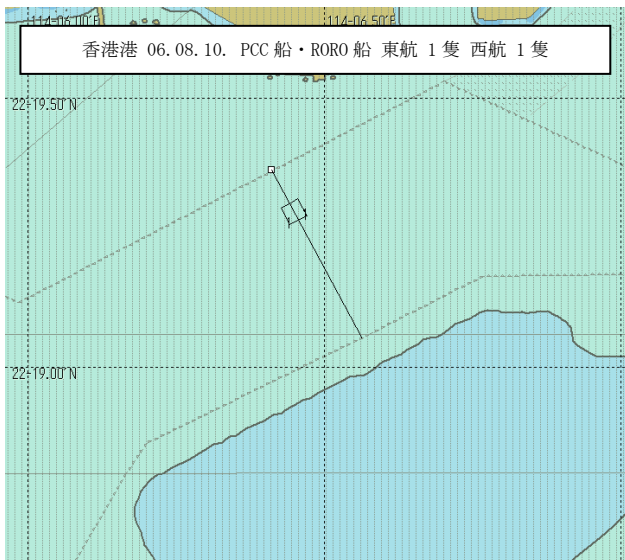


図-5.9.11 香港港の船舶通過実態 9

### 5.10 ロッテルダム港

ロッテルダム港については、図-5.10.1の白線で示した部分を対象にして、図-5.10.2で示すように片側500mの両方向1000mの幅員部分について、2006年8月10日の24時間について解析を実施した。図-5.10.2では、この24時間の航跡と合わせてそれぞれの航路帯での進航方向を示す。

ここでは、各航路帯を10分割して、それぞれの分割帯(ロッテルダム港の航路では50m単位)ごとの通過隻数を解析した。図-5.10.3では全船種、図-5.10.4では全長200m以上、図-5.10.5では全長200m未満、図-5.10.6ではコンテナ船、図-5.10.7ではコンテナ船(Over Panamax)、図-5.10.8ではコンテナ船(Panamax)、図-5.10.9では一般貨物船、図-5.10.10ではバルク船、図-5.10.11ではPCC船およびRORO船についての解析結果を示す。

なお、各図の分割帯では棒グラフの長さにより、また合わせて示す数字によりその分割帯を通過した隻数を、さらにその方向により進航方向を示している。

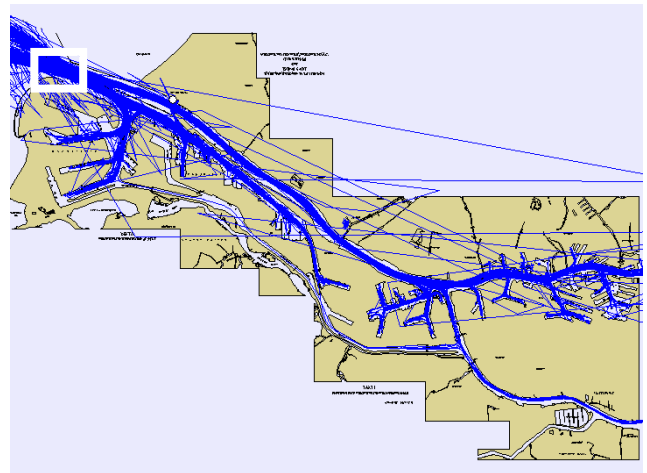


図-5.10.1 ロッテルダム港位置図

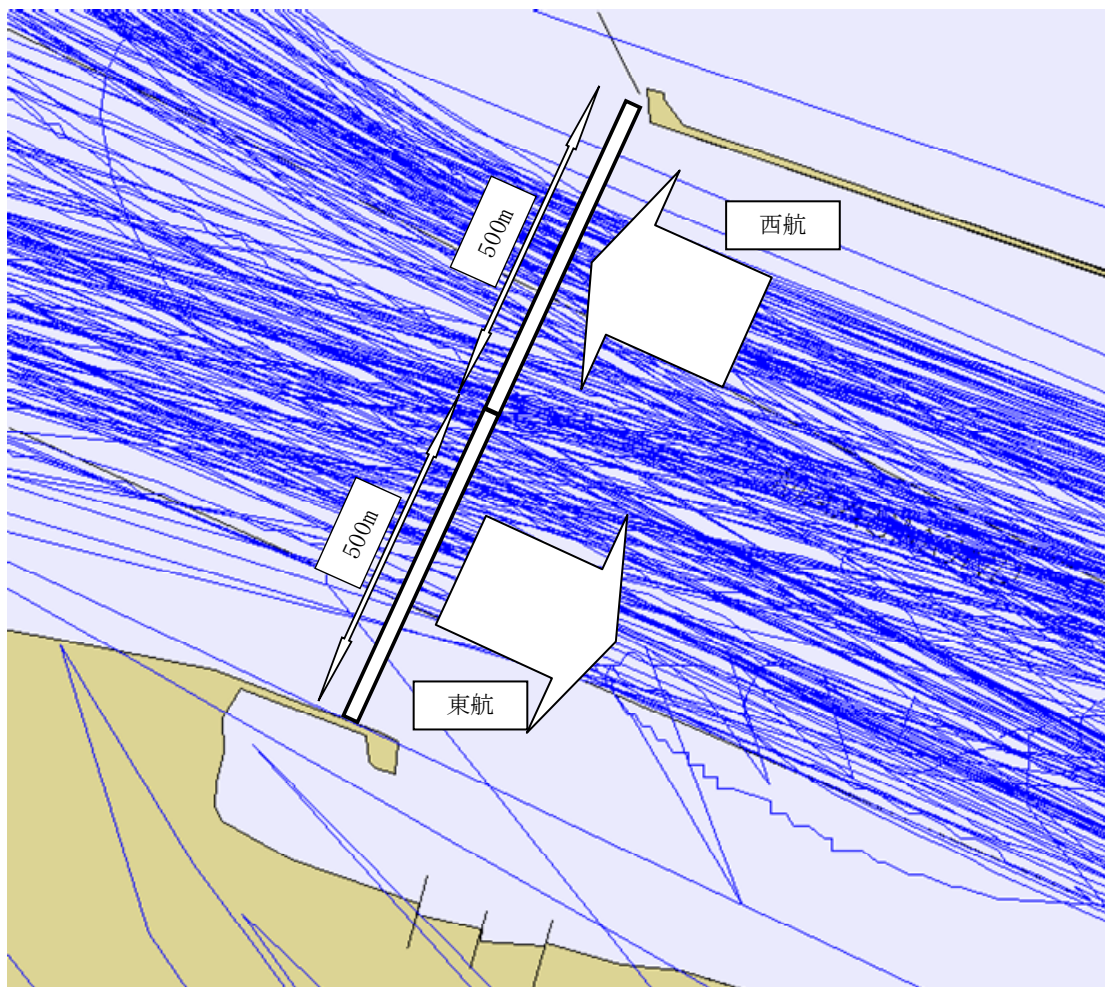


図-5.10.2 ロッテルダム港の設定断面と通過船舶の航跡図

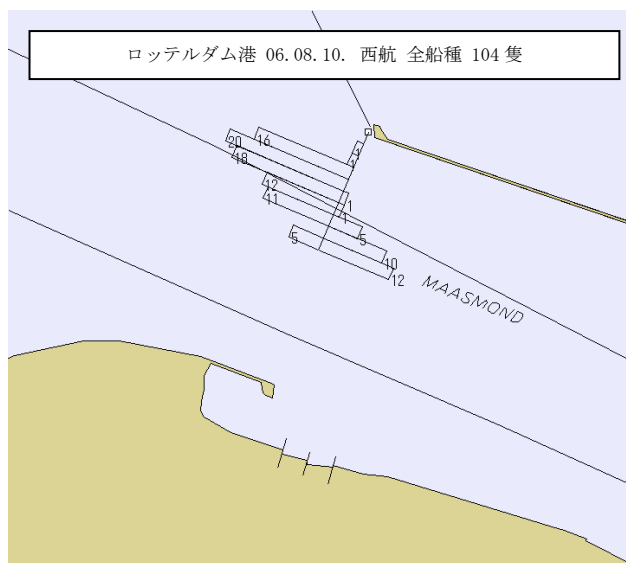
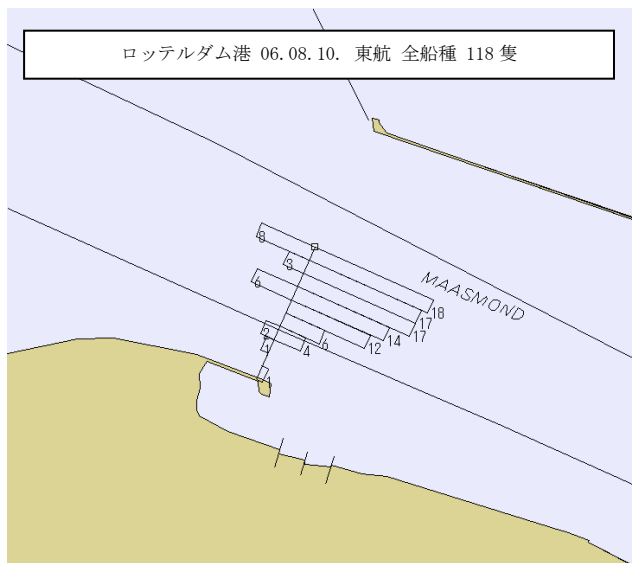


図-5.10.3 ロッテルダム港の船舶通過実態 1

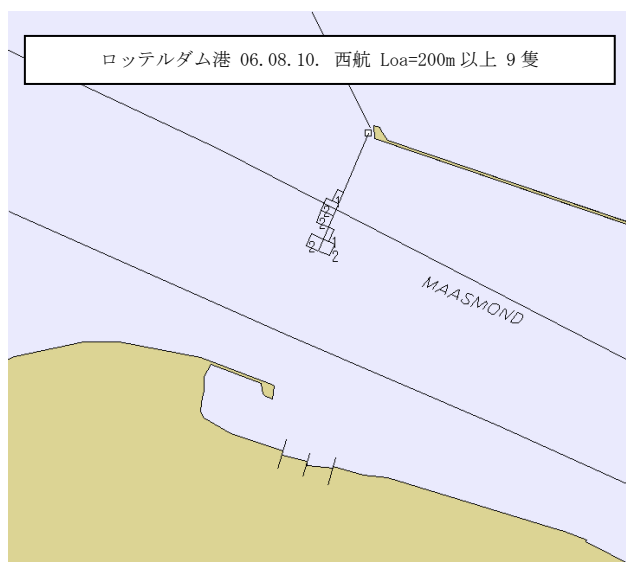
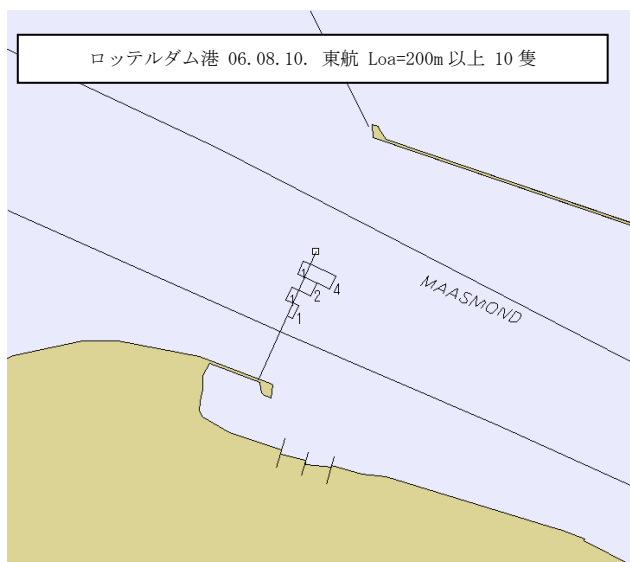


図-5.10.4 ロッテルダム港の船舶通過実態 2

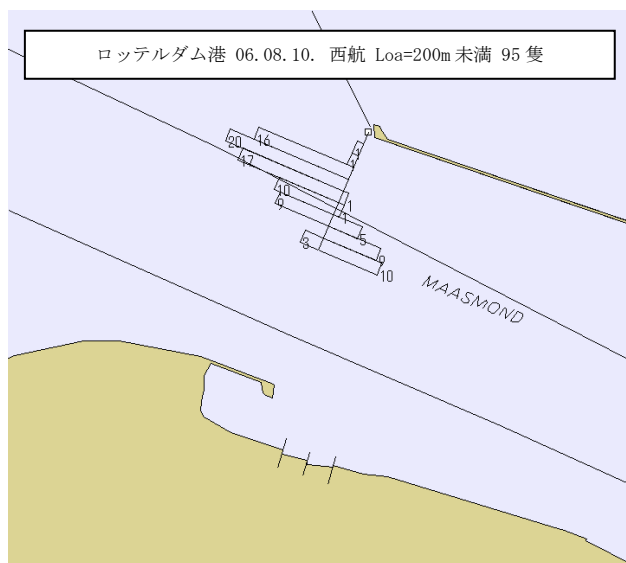
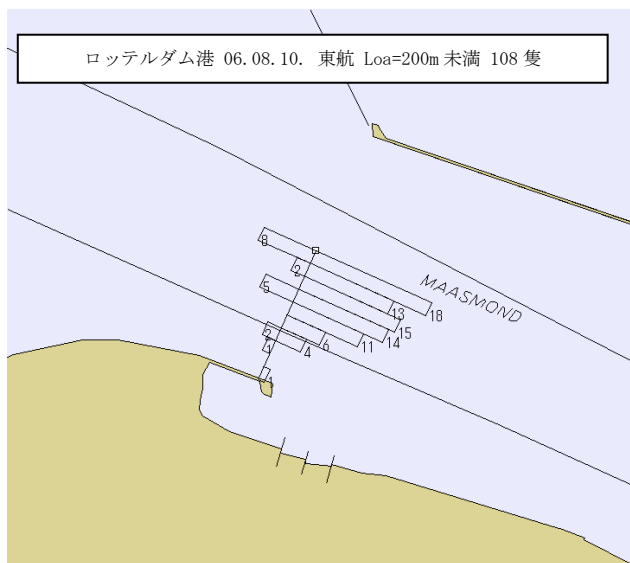


図-5.10.5 ロッテルダム港の船舶通過実態 3



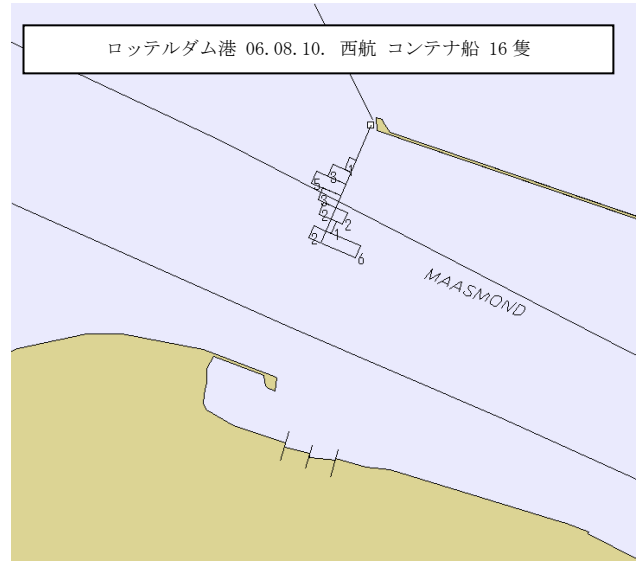
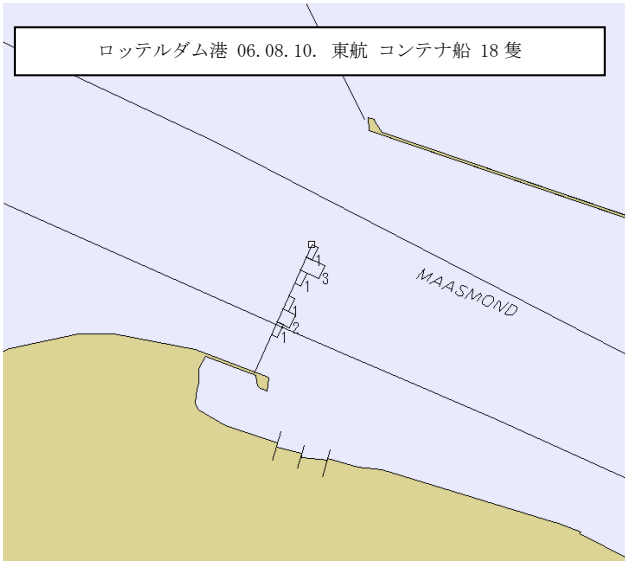


図-5.10.6 ロッテルダム港の船舶通過実態 4

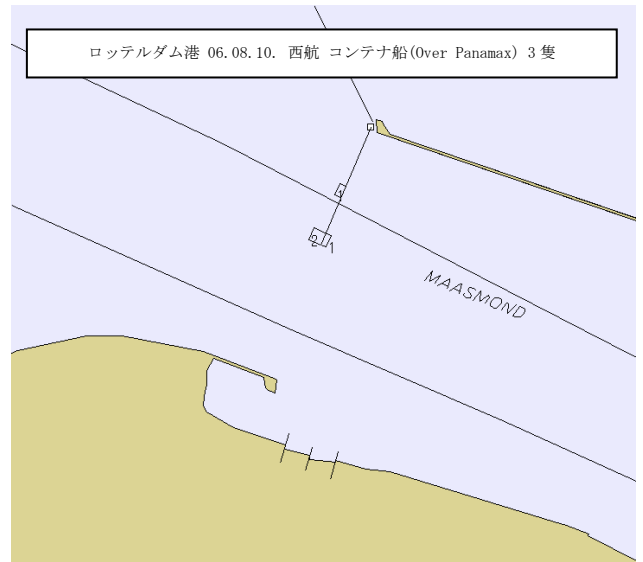
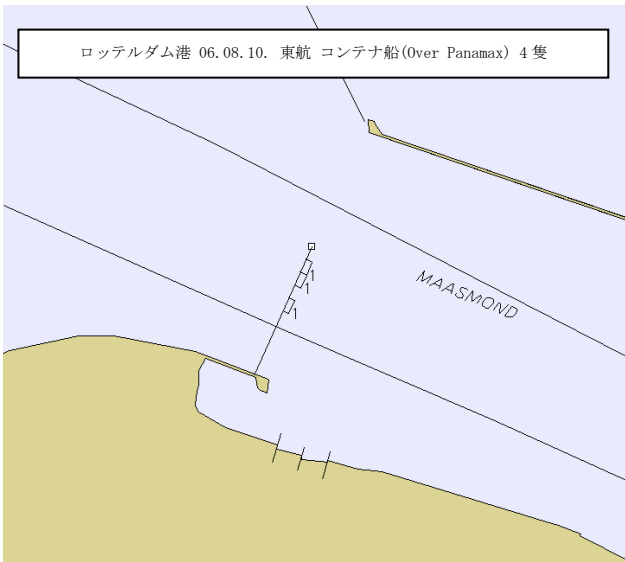


図-5.10.7 ロッテルダム港の船舶通過実態 5

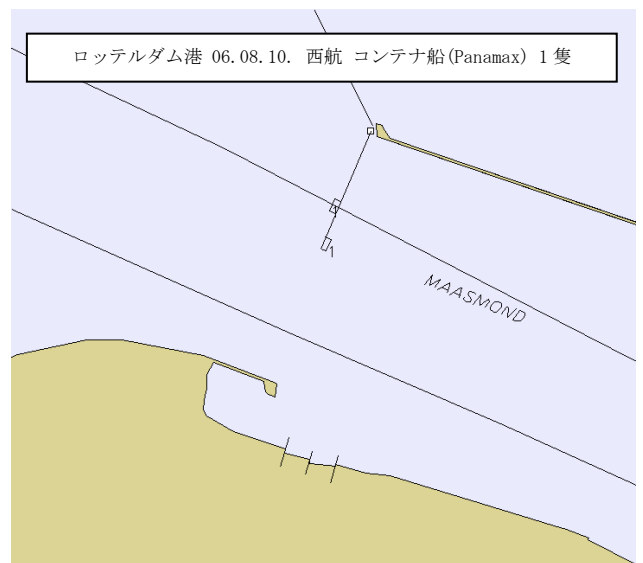
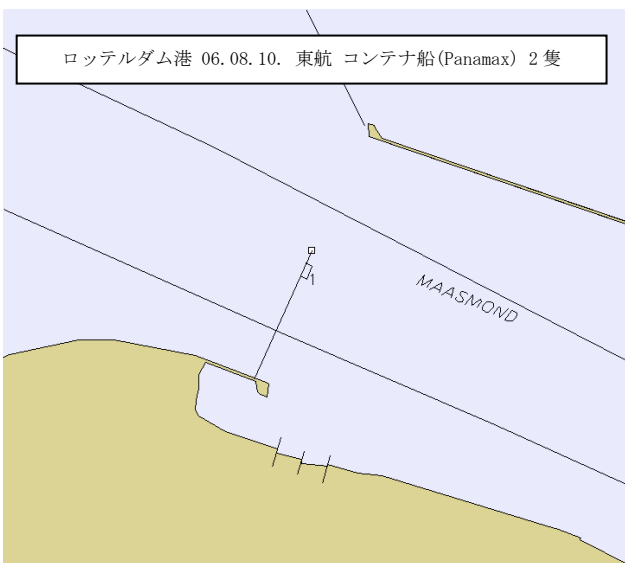


図-5.10.8 ロッテルダム港の船舶通過実態 6

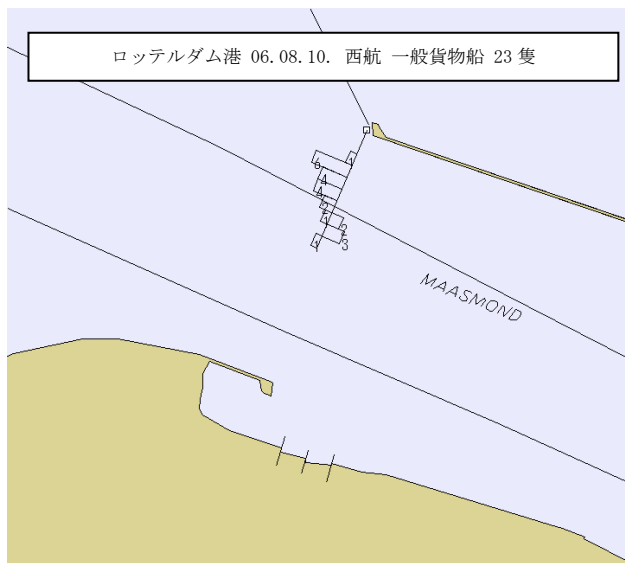
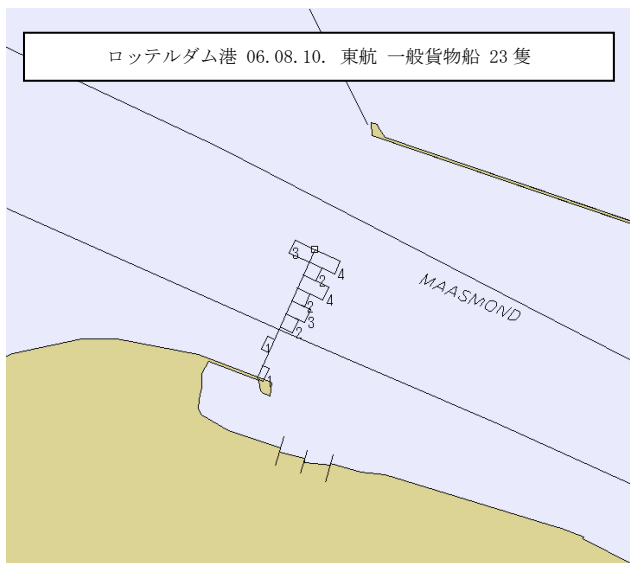


図-5.10.9 ロッテルダム港の船舶通過実態 7

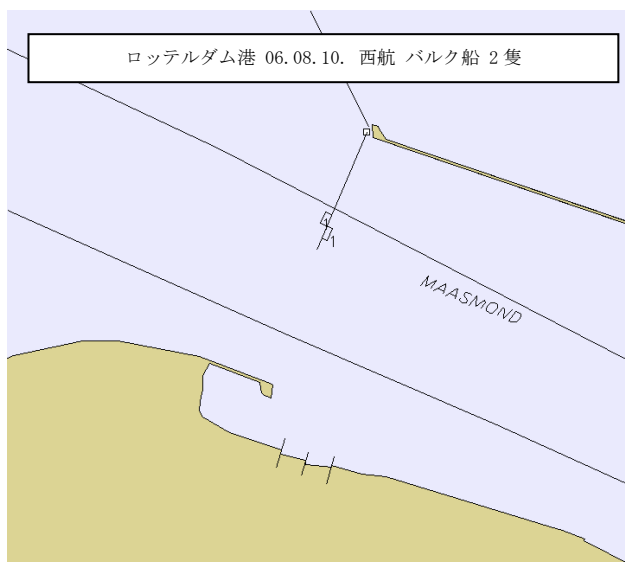
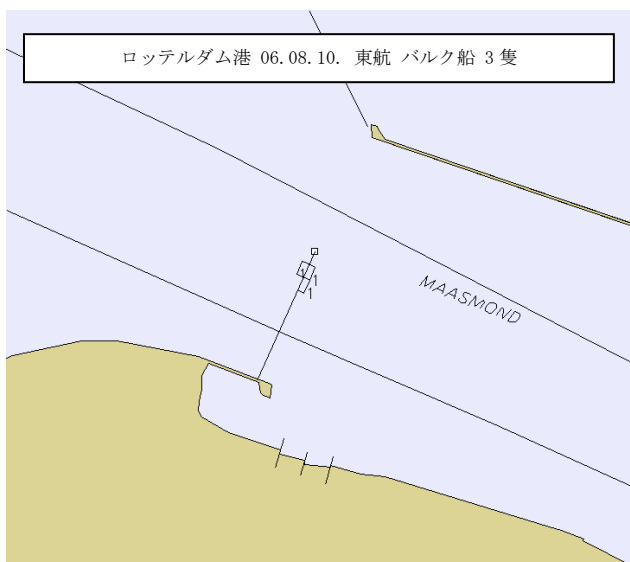


図-5.10.10 ロッテルダム港の船舶通過実態 8

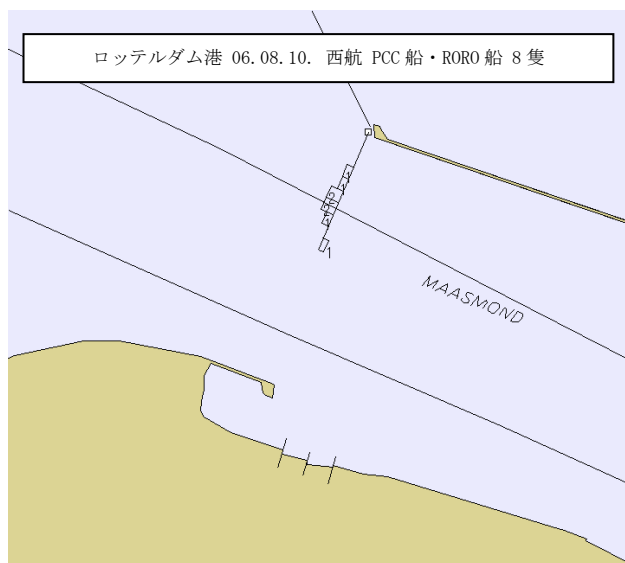
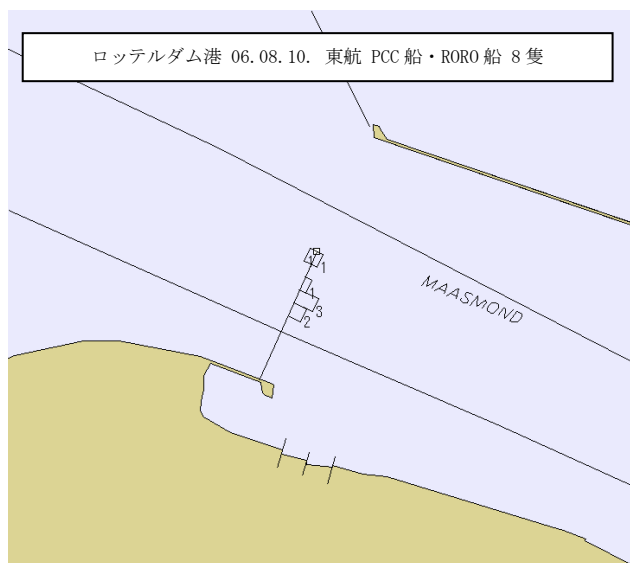


図-5.10.11 ロッテルダム港の船舶通過実態 9

### 5.11 ロサンゼルス港・ロングビーチ港

ロサンゼルス港・ロングビーチ港（以下 LA 港・LB 港）については、図-5.11.1 の白線で示した部分を対象にして、図-5.11.2 で示すように両方向 690m 及び 540m の幅員部分について、2006 年 8 月 10 日の 24 時間について解析を実施した。図-5.11.2 では、この 24 時間の航跡と合わせてそれぞれの航路帯での進航方向を示す。

ここでは、各航路帯を 10 分割して、それぞれの分割帯（LA 港・LB 港 1 は 69m 単位、LA 港・LB 港 2 は 54m 単位）ごとの通過隻数を解析した。図-5.11.3 では全船種、図-5.11.4 では全長 200m 以上、図-5.11.5 では全長 200m 未満、図-5.11.6 ではコンテナ船、図-5.11.7 ではコンテナ船（Over Panamax）、図-5.11.8 ではコンテナ船（Panamax）、図-5.11.9 では一般貨物船、図-5.11.10 ではバルク船、図-5.11.11 では PCC 船および RORO 船についての解析結果を示す。

なお、各図の分割帯では棒グラフの長さにより、また合わせて示す数字によりその分割帯を通過した隻数を、さらにその方向により進航方向を示している。

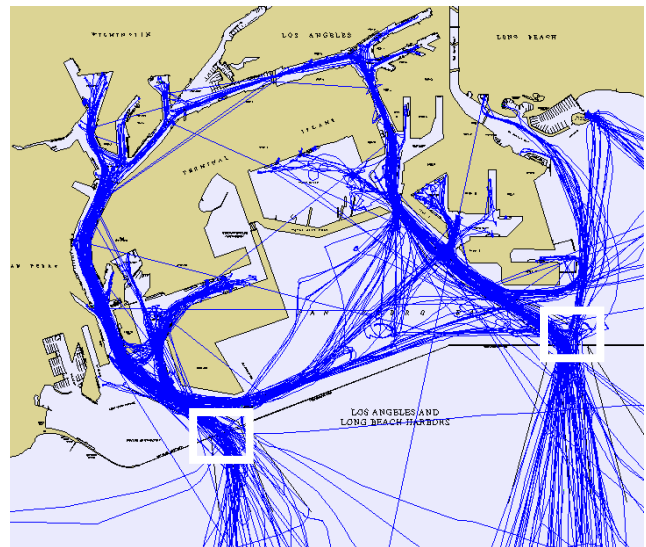
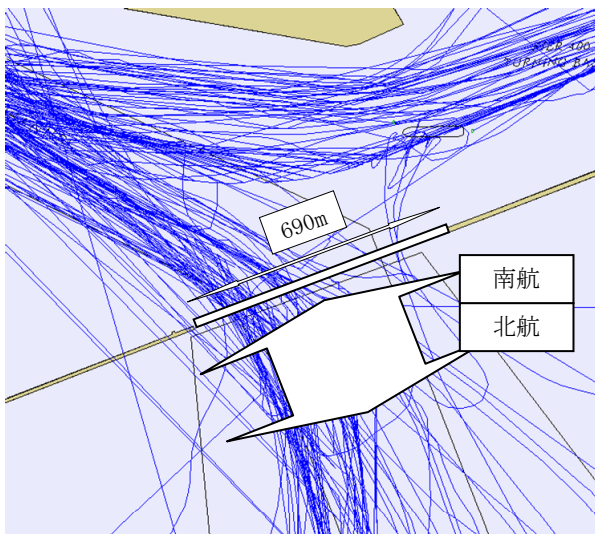
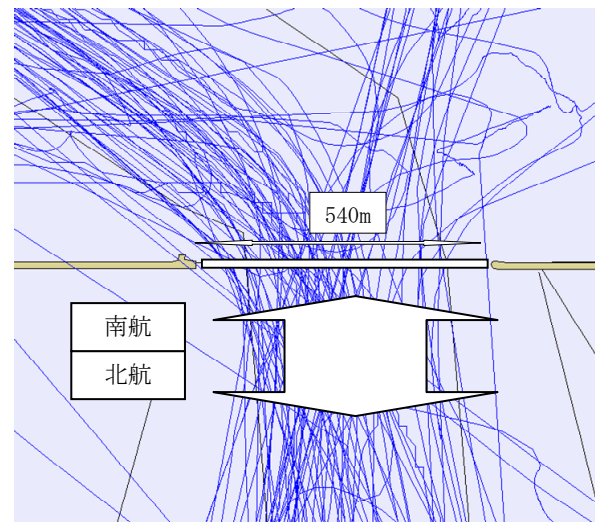


図-5.11.1 ロサンゼルス港・ロングビーチ港位置図



LA 港・LB 港 1



LA 港・LB 港 2

図-5.11.2 ロサンゼルス港・ロングビーチ港の設定断面と通過船舶の航跡図

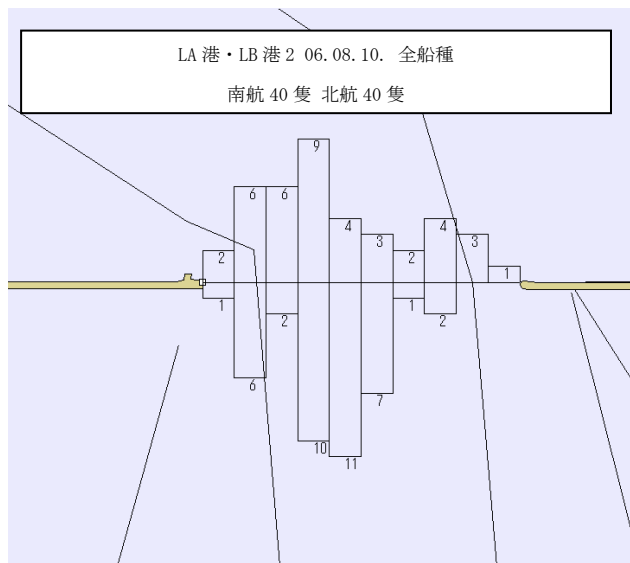
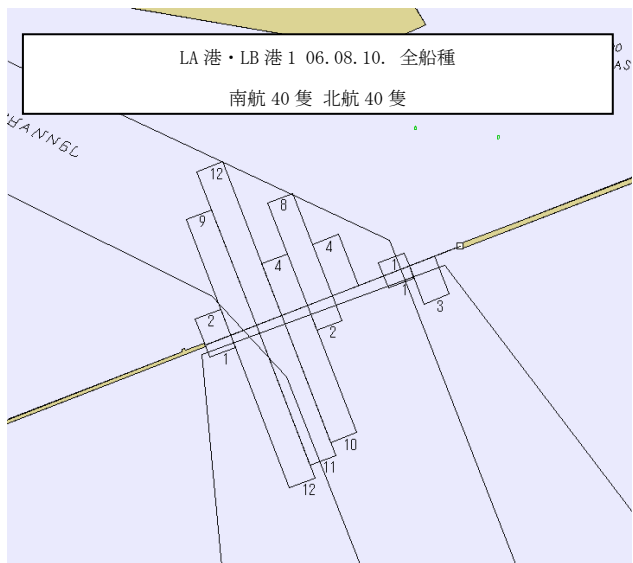


図-5.11.3 ロサンゼルス港・ロングビーチ港の船舶通過実態 1

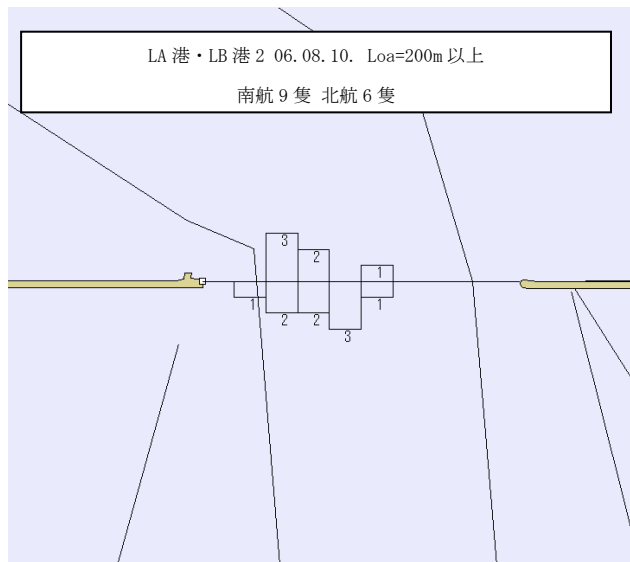
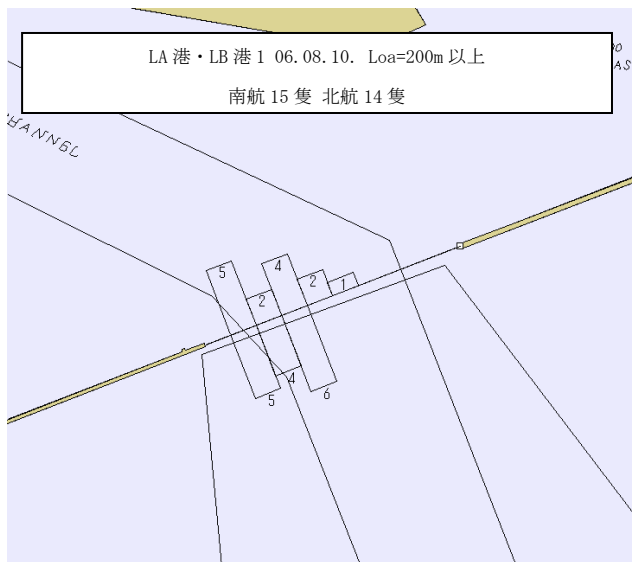


図-5.11.4 ロサンゼルス港・ロングビーチ港の船舶通過実態 2

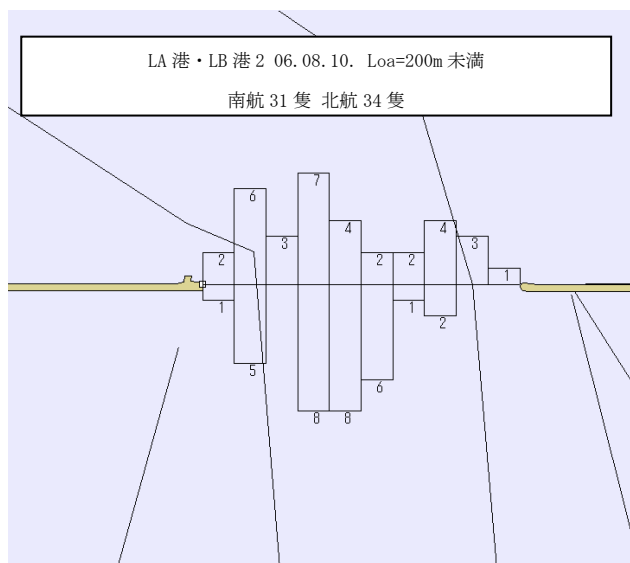
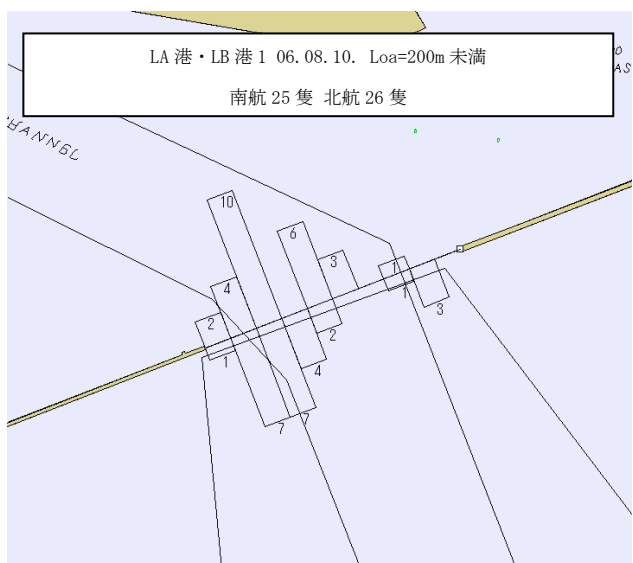


図-5.11.5 ロサンゼルス港・ロングビーチ港の船舶通過実態 3



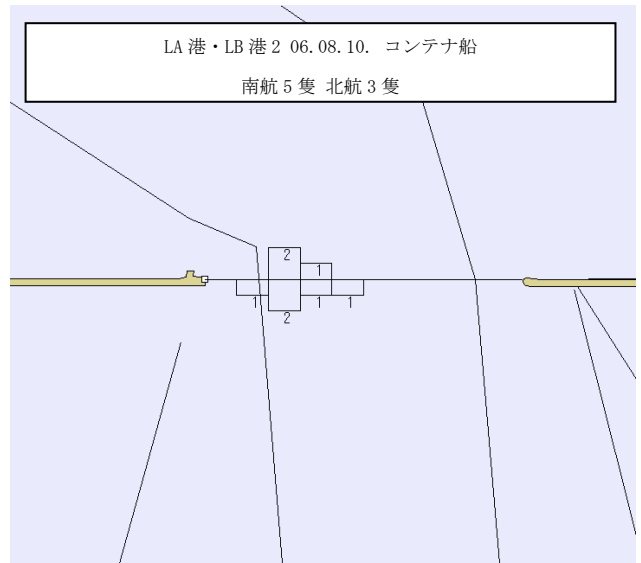
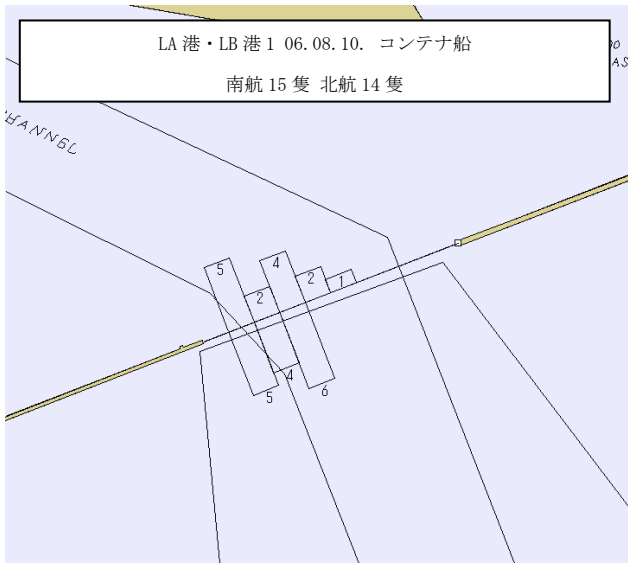


図-5.11.6 ロサンゼルス港・ロングビーチ港の船舶通過実態 4

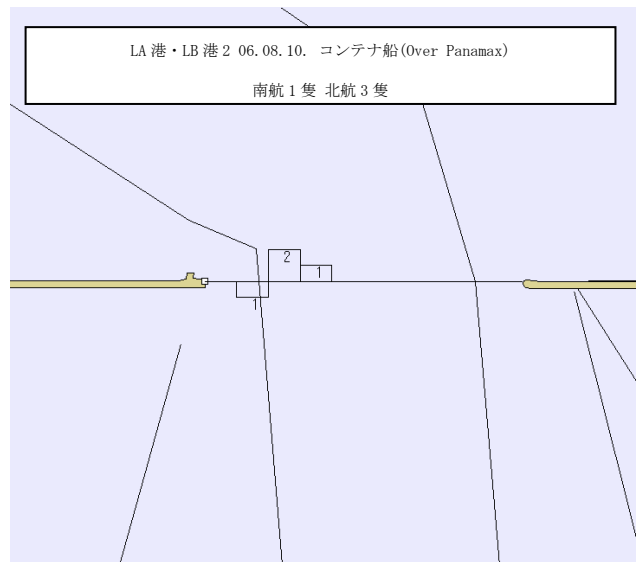
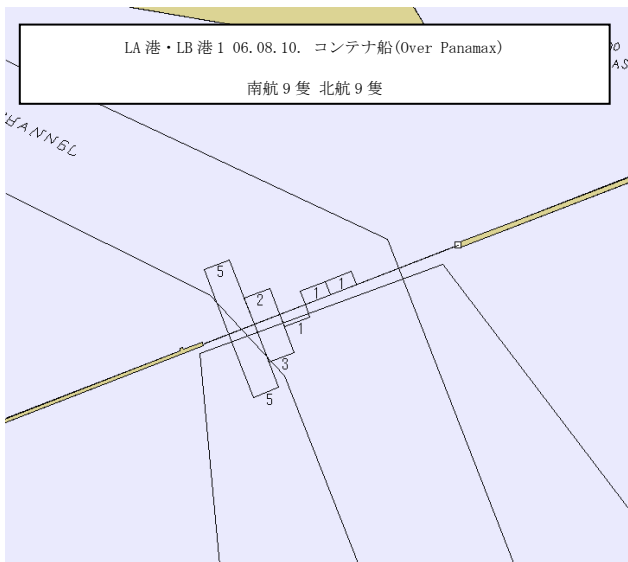


図-5.11.7 ロサンゼルス港・ロングビーチ港の船舶通過実態 5

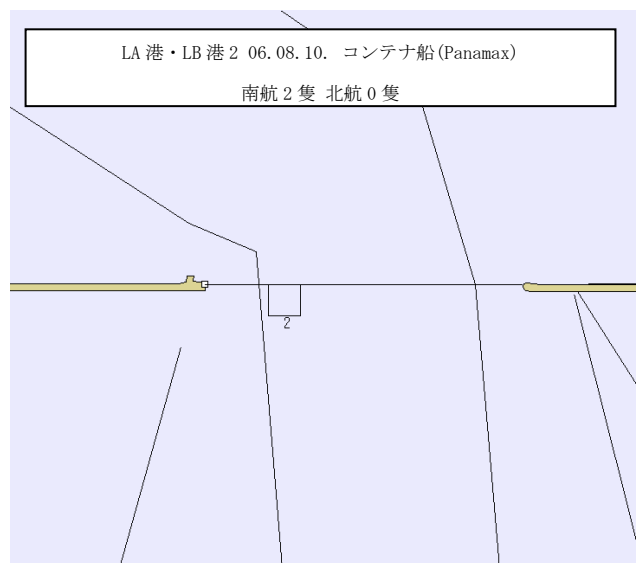
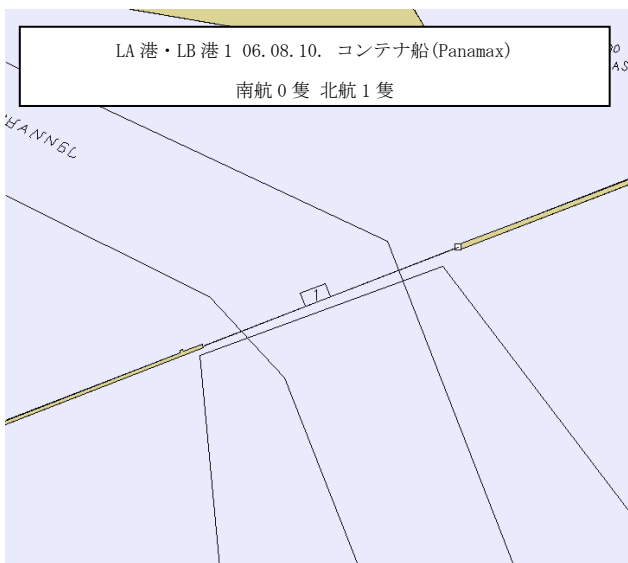


図-5.11.8 ロサンゼルス港・ロングビーチ港の船舶通過実態 6

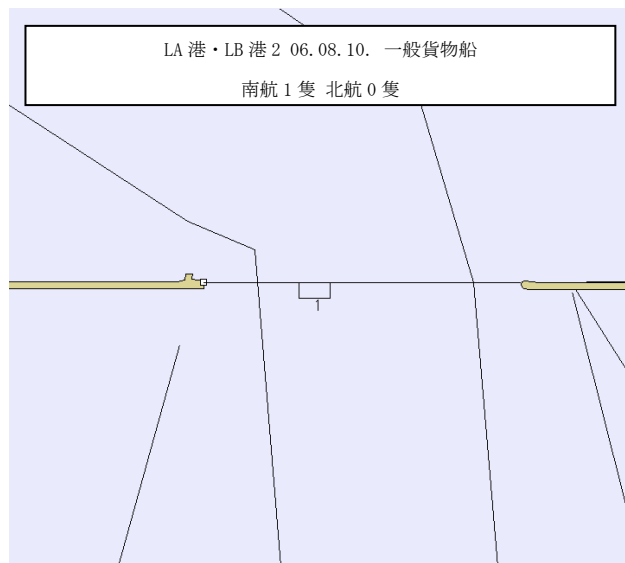
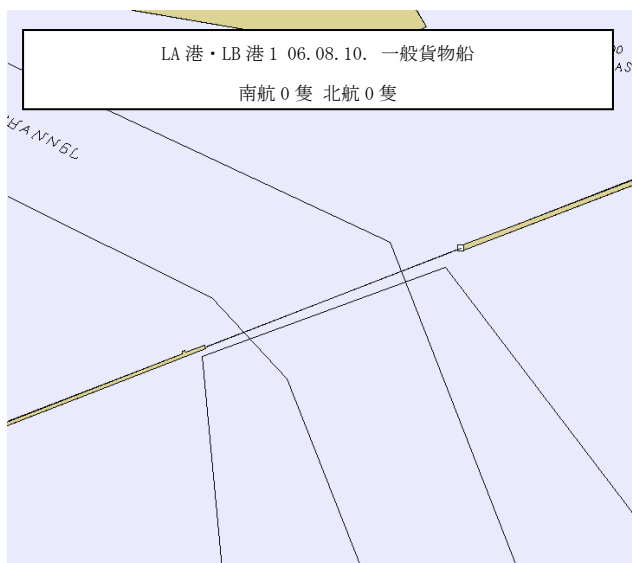


図-5.11.9 ロサンゼルス港・ロングビーチ港の船舶通過実態 7

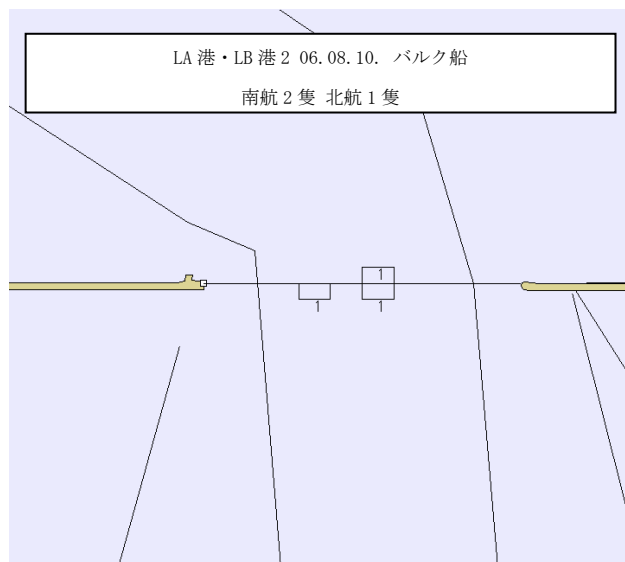
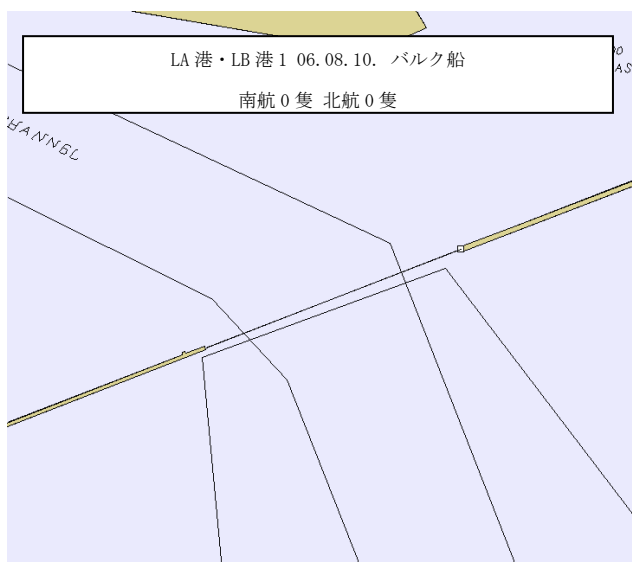


図-5.11.10 ロサンゼルス港・ロングビーチ港の船舶通過実態 8

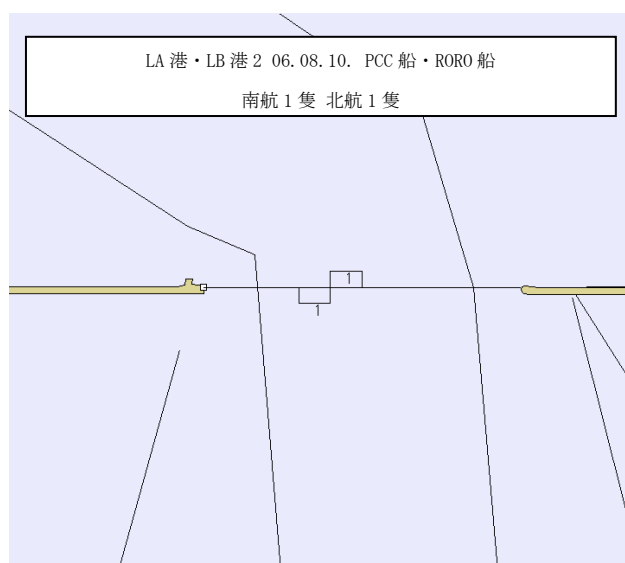
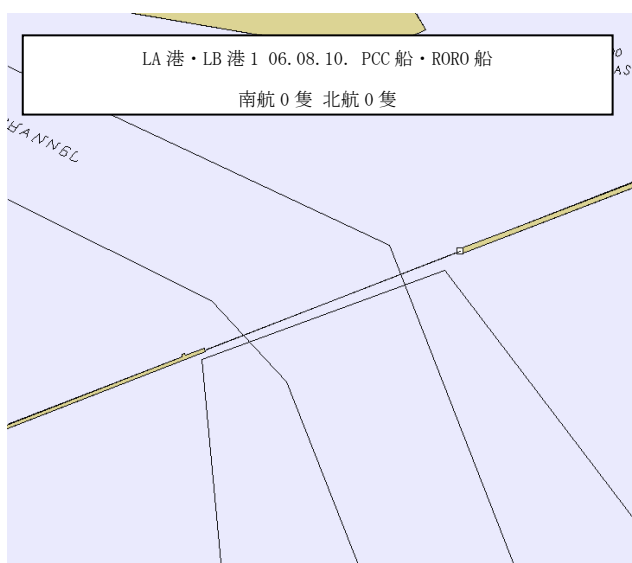


図-5.11.11 ロサンゼルス港・ロングビーチ港の船舶通過実態 9

### 5.12 サンフランシスコ湾

サンフランシスコ湾については、図-5.12.1の白線で示した部分を対象にして、図-5.12.2で示すように片側700mの両方向1400mの幅員部分について、2006年8月10日の24時間について解析を実施した。図-5.12.2では、この24時間の航跡と合わせてそれぞれの航路帯での進航方向を示す。

ここでは、各航路帯を10分割して、それぞれの分割帯(サンフランシスコ湾では71m単位)ごとの通過隻数を解析した。図-5.12.3では全船種、図-5.12.4では全長200m以上、図-5.12.5では全長200m未満、図-5.12.6ではコンテナ船、図-5.12.7ではコンテナ船(Over Panamax)、図-5.12.8ではコンテナ船(Panamax)、図-5.12.9では一般貨物船、図-5.12.10ではバルク船、図-5.12.11ではPCC船およびRORO船についての解析結果を示す。

なお、各図の分割帯では棒グラフの長さにより、また合わせて示す数字によりその分割帯を通過した隻数を、さらにその方向により進航方向を示している。

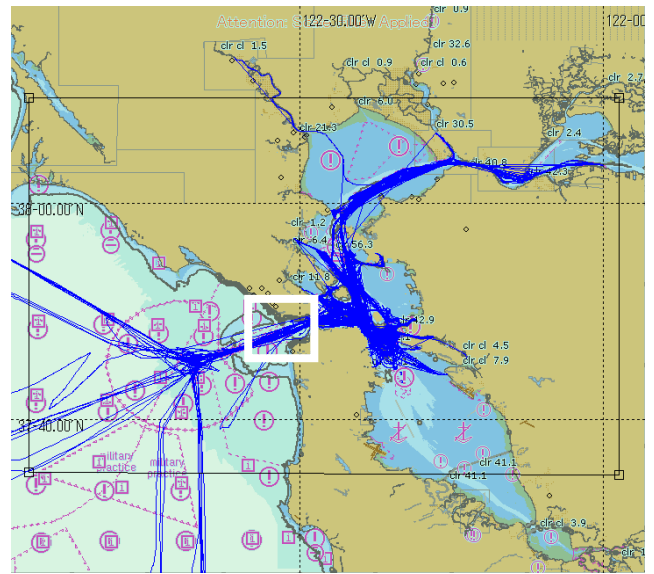


図-5.12.1 サンフランシスコ湾位置図

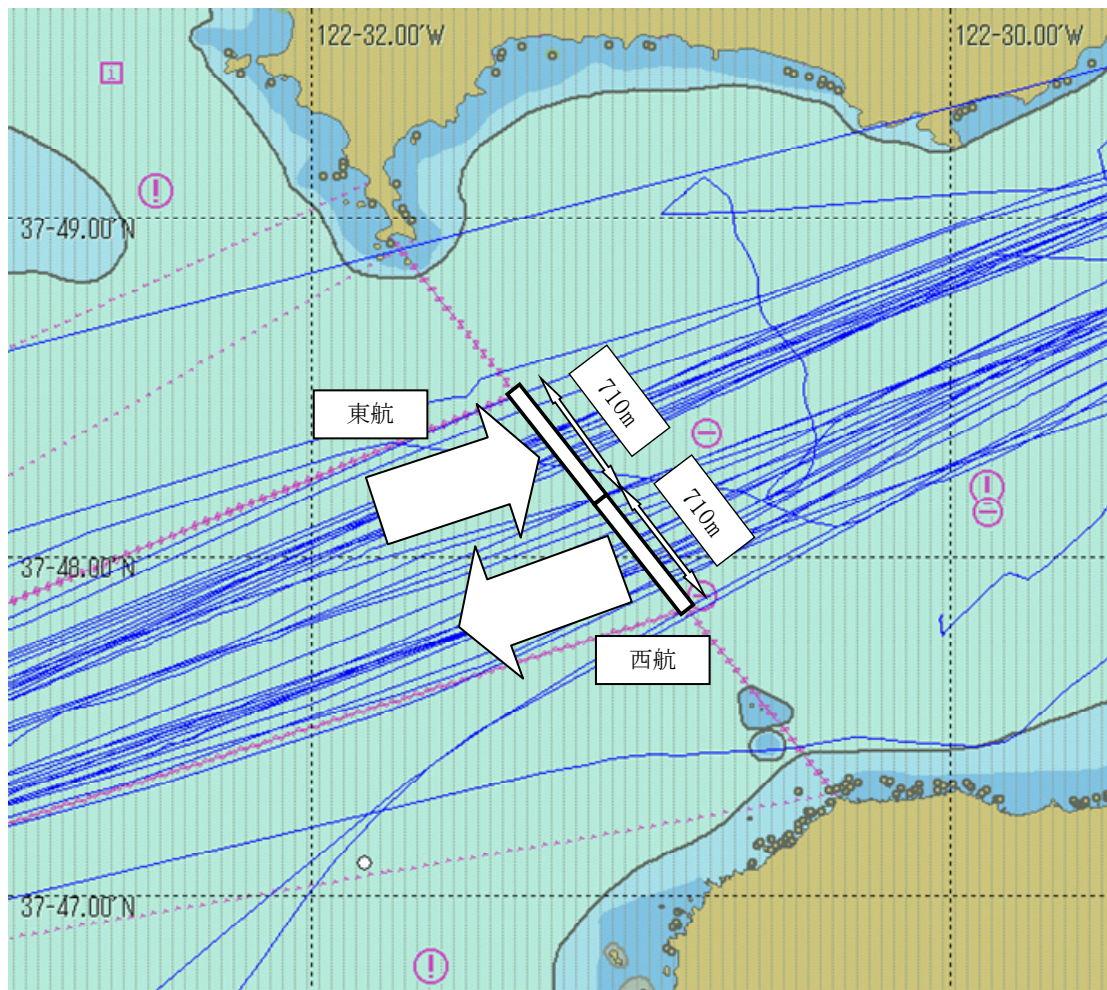


図-5.12.2 サンフランシスコ湾の設定断面と通過船舶の航跡図

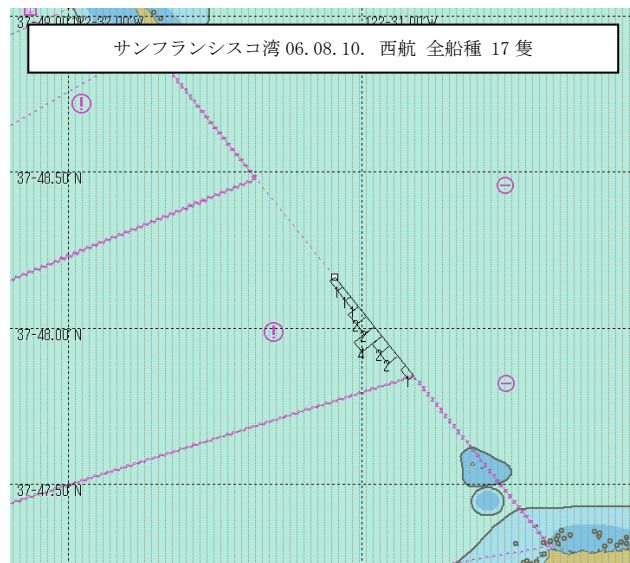
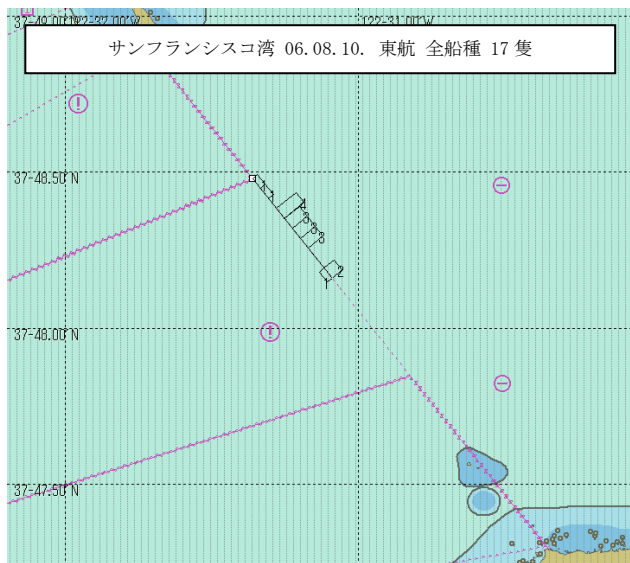


図-5.12.3 サンフランシスコ湾の船舶通過実態 1

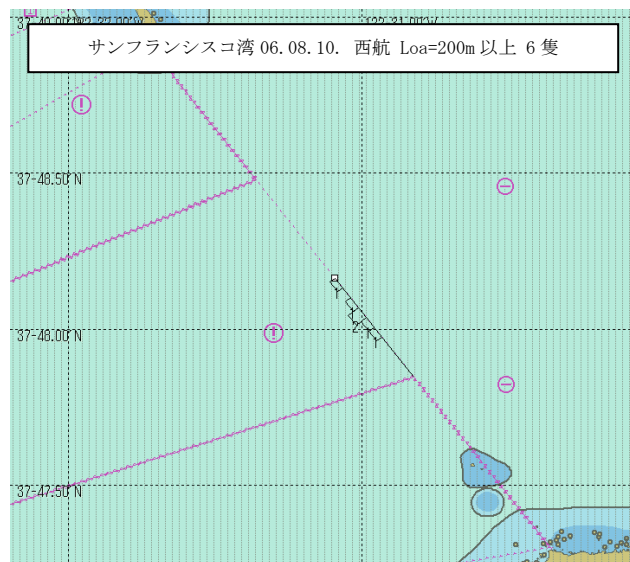
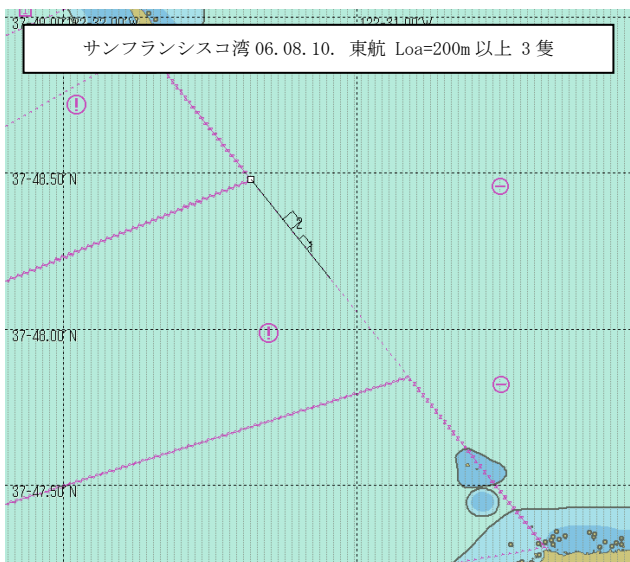


図-5.12.4 サンフランシスコ湾の船舶通過実態 2

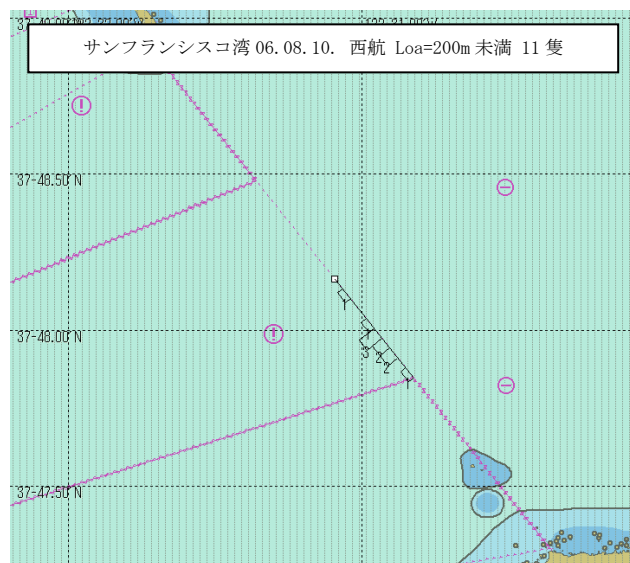
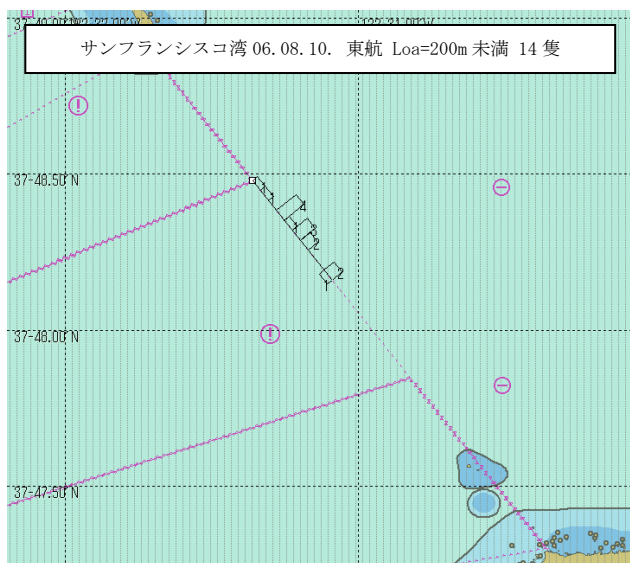


図-5.12.5 サンフランシスコ湾の船舶通過実態 3



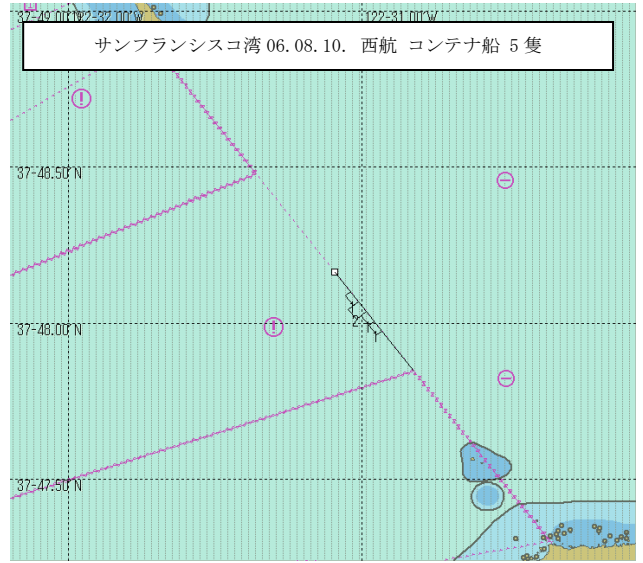
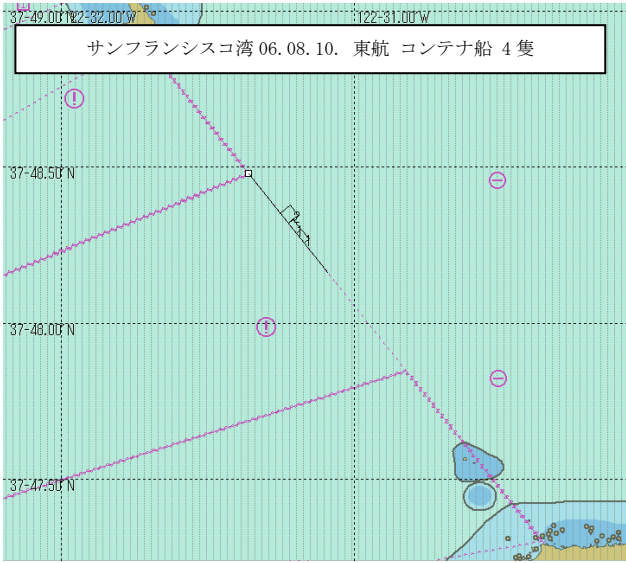


図-5.12.6 サンフランシスコ湾の船舶通過実態 4

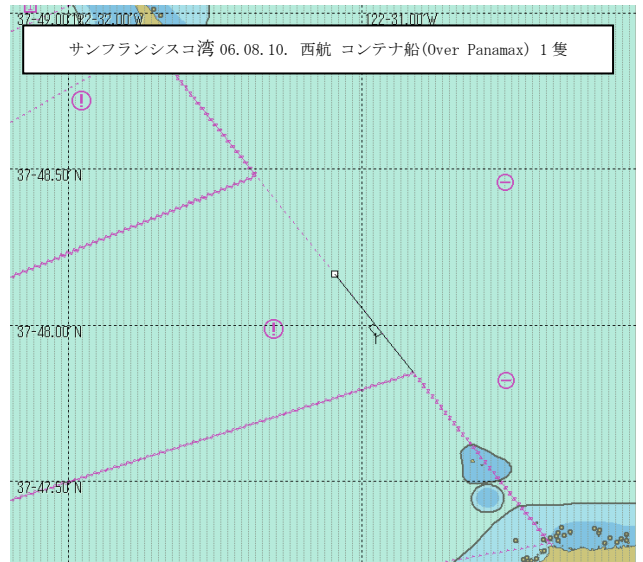
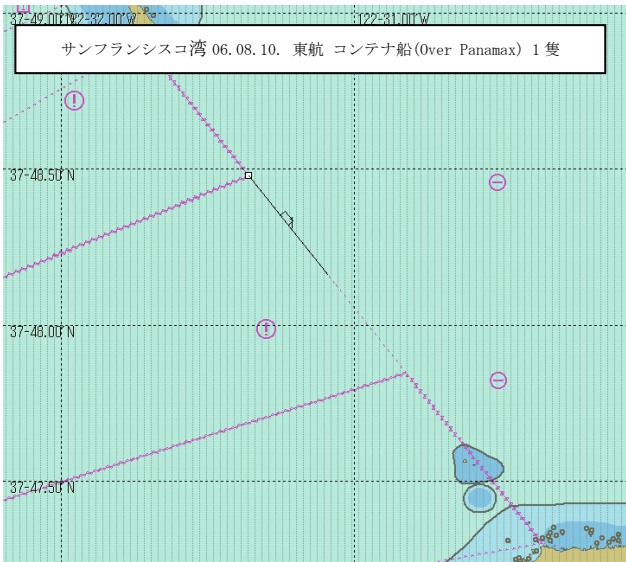


図-5.12.7 サンフランシスコ湾の船舶通過実態 5

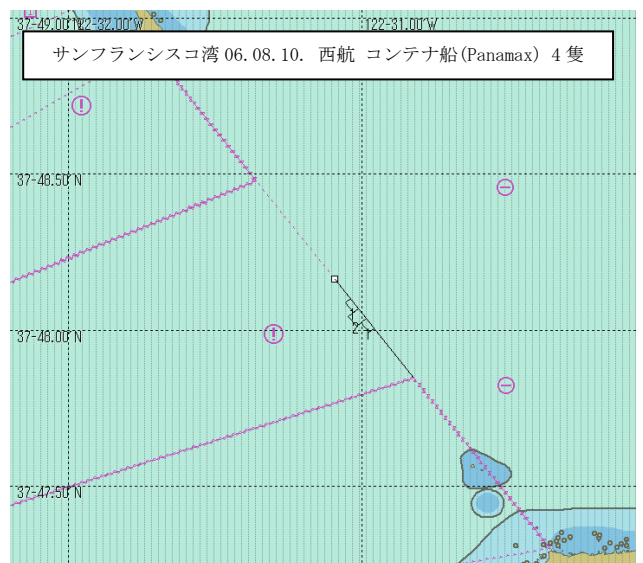
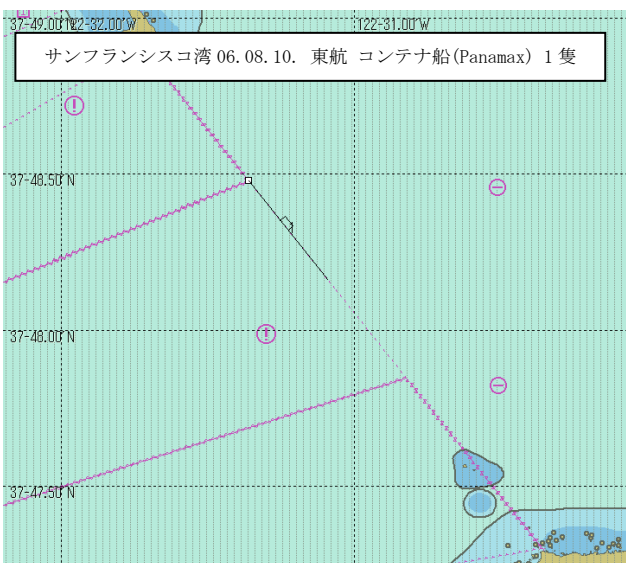


図-5.12.8 サンフランシスコ湾の船舶通過実態 6

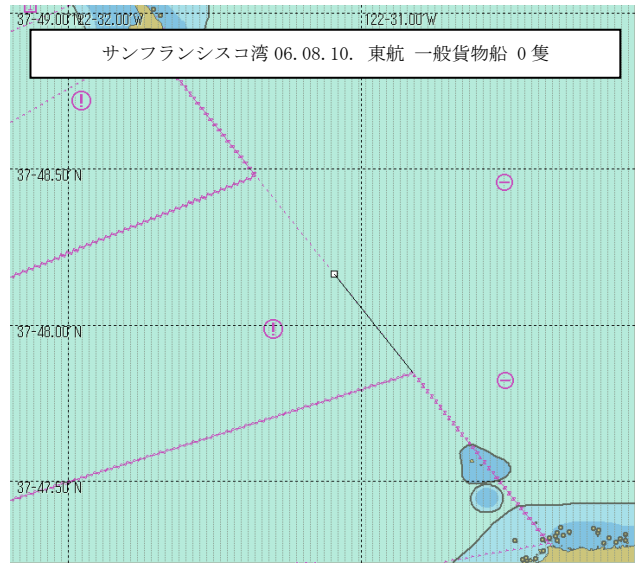
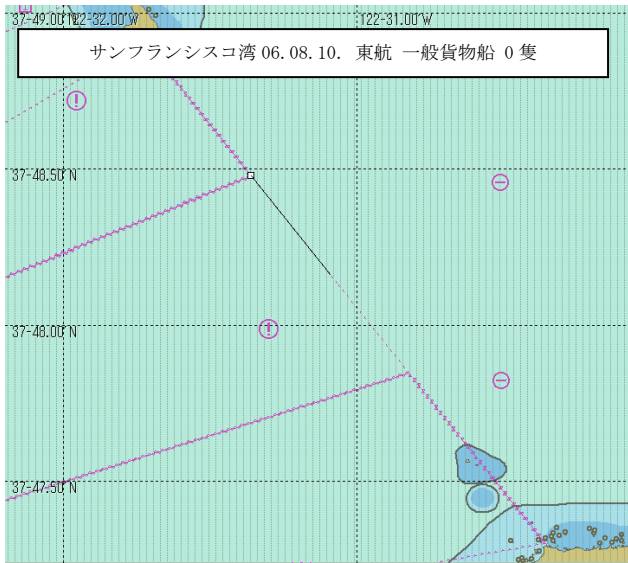


図-5.12.9 サンフランシスコ湾の船舶通過実態 7

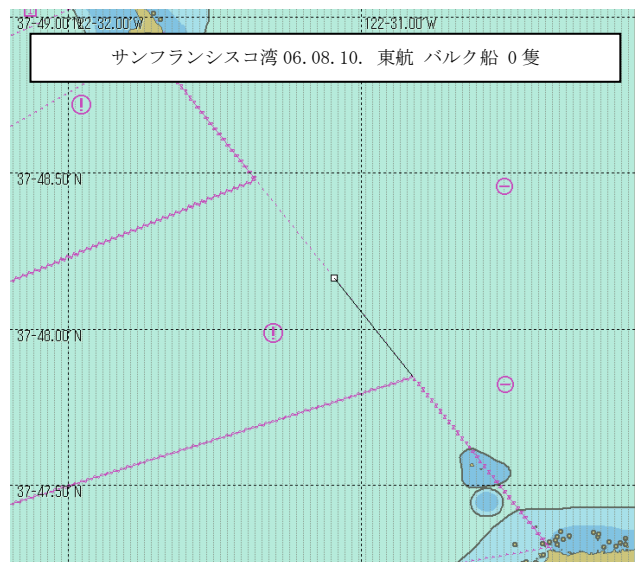
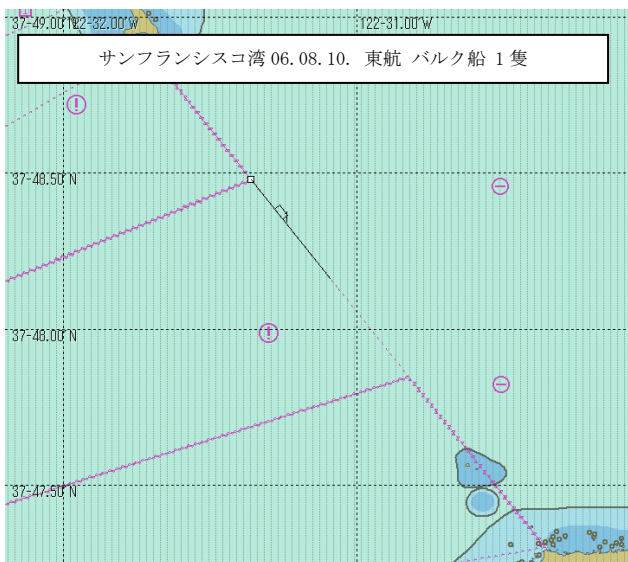


図-5.12.10 サンフランシスコ湾の船舶通過実態 8

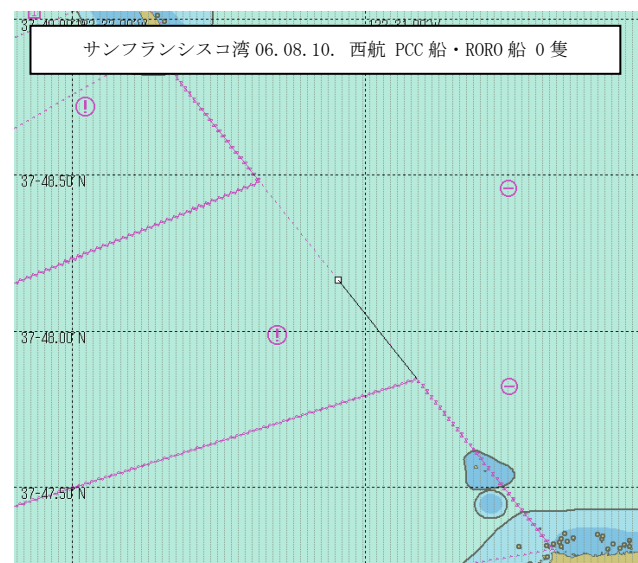
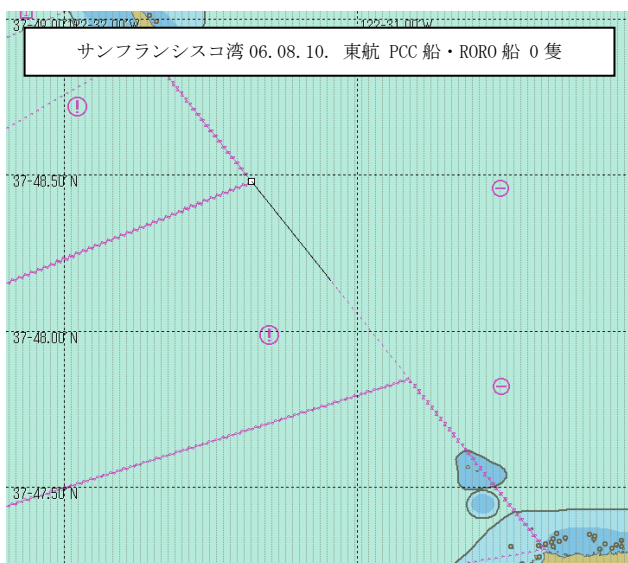


図-5.12.11 サンフランシスコ湾の船舶通過実態 9



### 5.13 ドーバー海峡

ドーバー海峡については、図-5.13.1の白線で示した部分を対象として、図-5.13.2で示すように片側16000mの両方向32000mの幅員部分について、2006年8月10日の24時間について解析を実施した。図-5.13.2では、この24時間の航跡と合わせてそれぞれの航路帯での進航方向を示す。

ここでは、各航路帯を10分割して、それぞれの分割帯(ドーバー海峡では1600m単位)ごとの通過隻数を解析した。図-5.13.3では全船種、図-5.13.4では全長200m以上、図-5.13.5では全長200m未満、図-5.13.6ではコンテナ船、図-5.13.7ではコンテナ船(Over Panamax)、図-5.13.8ではコンテナ船(Panamax)、図-5.13.9では一般貨物船、図-5.13.10ではバルク船、図-5.13.11ではPCC船およびRORO船についての解析結果を示す。

なお、各図の分割帯では棒グラフの長さにより、また合わせて示す数字によりその分割帯を通過した隻数を、さらにその方向により進航方向を示している。

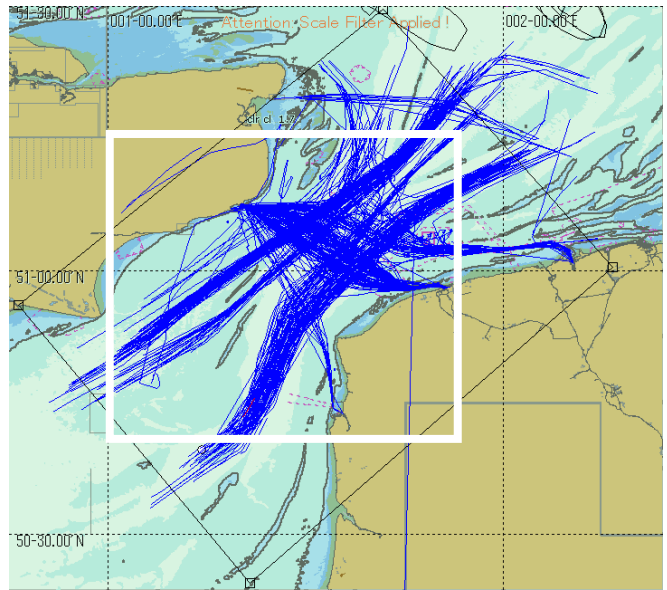


図-5.13.1 ドーバー海峡位置図

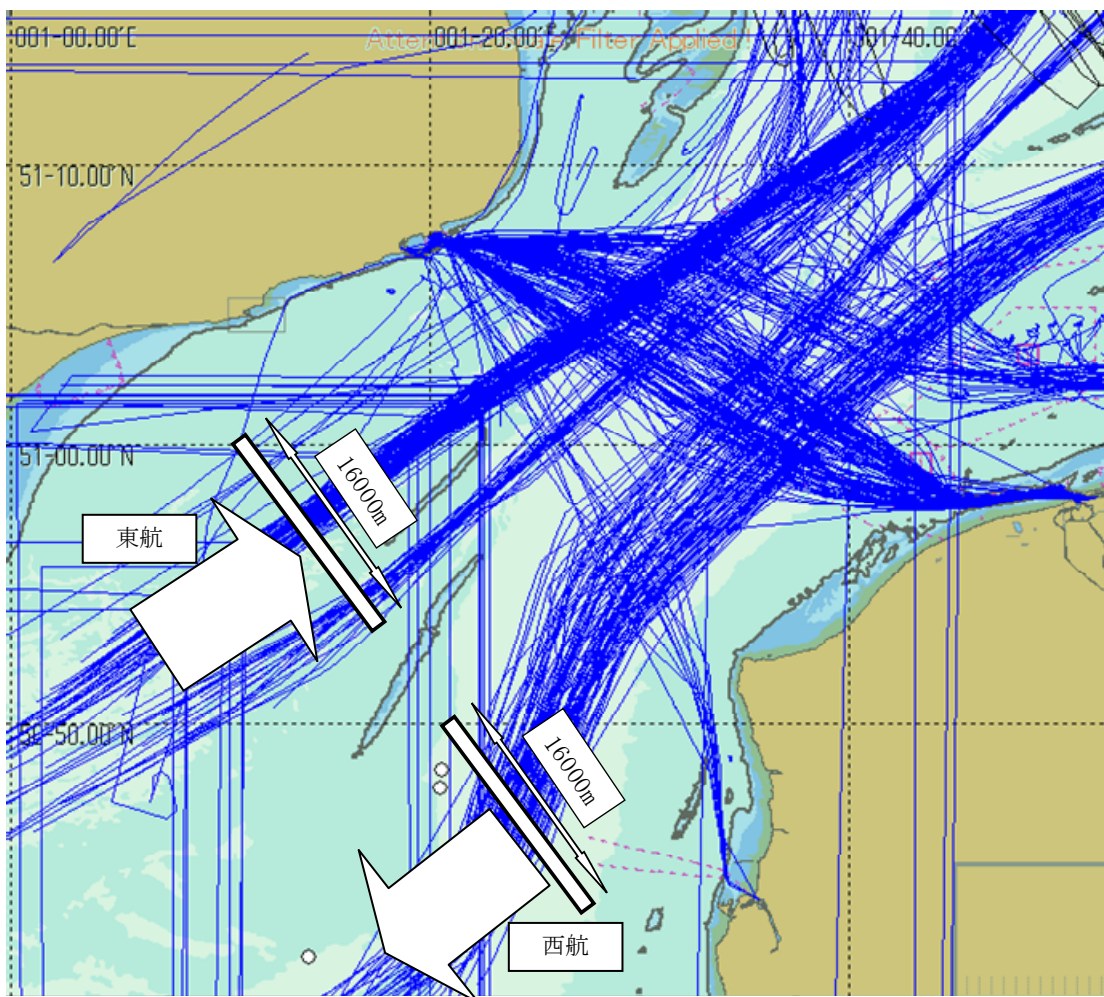


図-5.13.2 ドーバー海峡の設定断面と通過船舶の航跡図

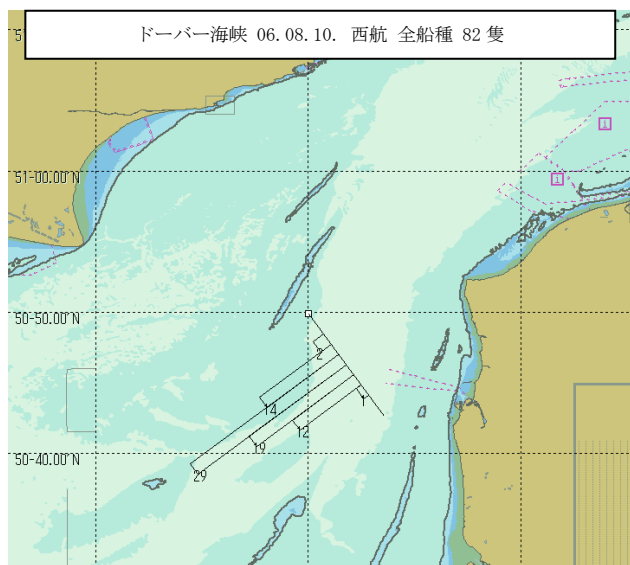
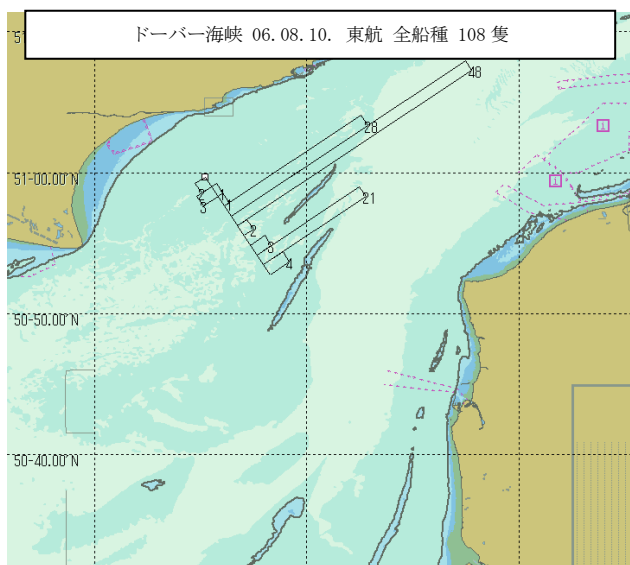


図-5.13.3 ドーバー海峡の船舶通過実態 1

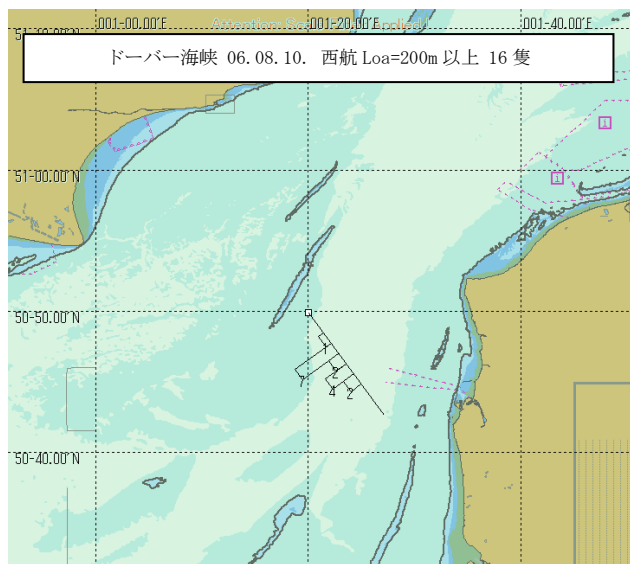
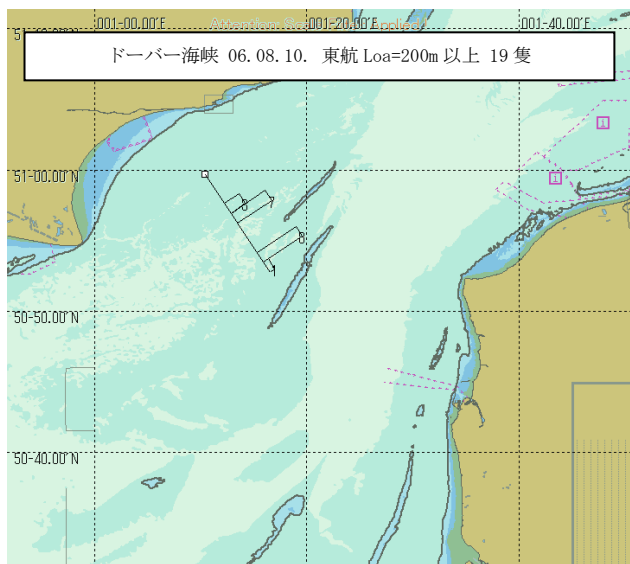


図-5.13.4 ドーバー海峡の船舶通過実態 2

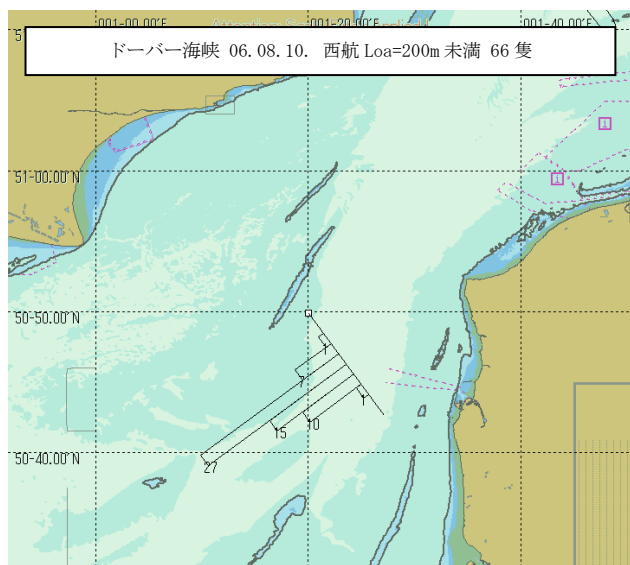
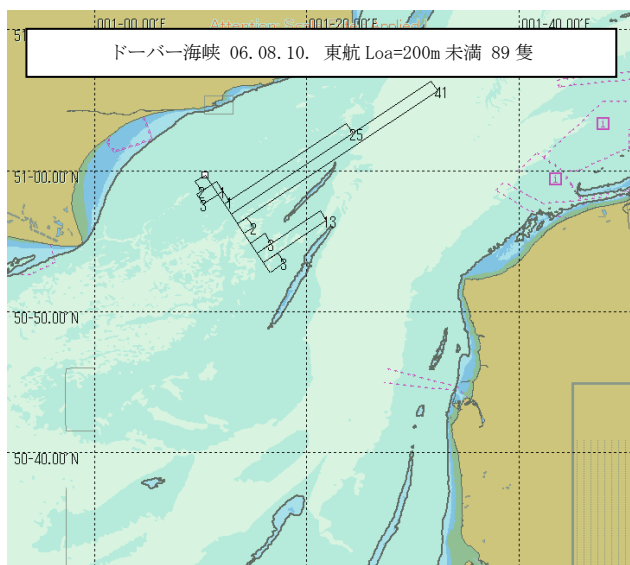


図-5.13.5 ドーバー海峡の船舶通過実態 3

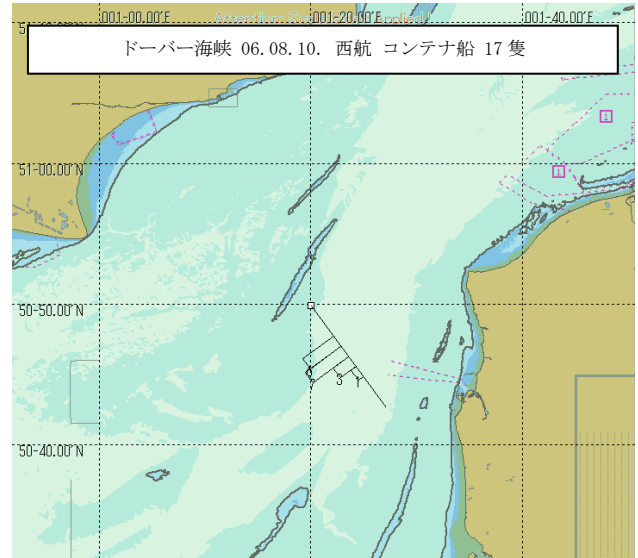
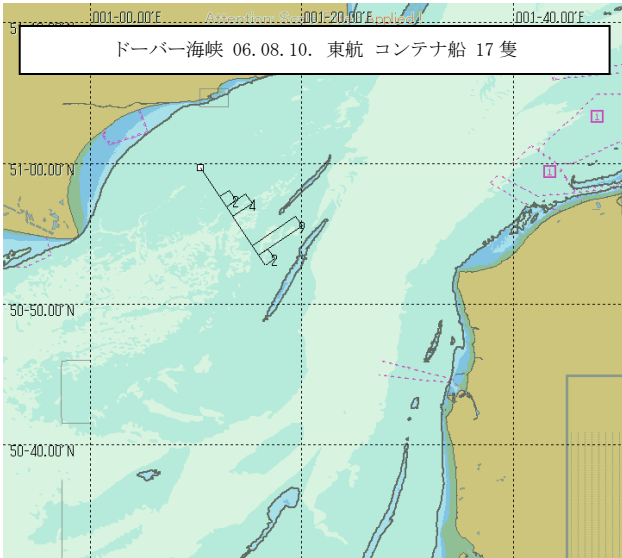


図-5.13.6 ドーバー海峡の船舶通過実態 4

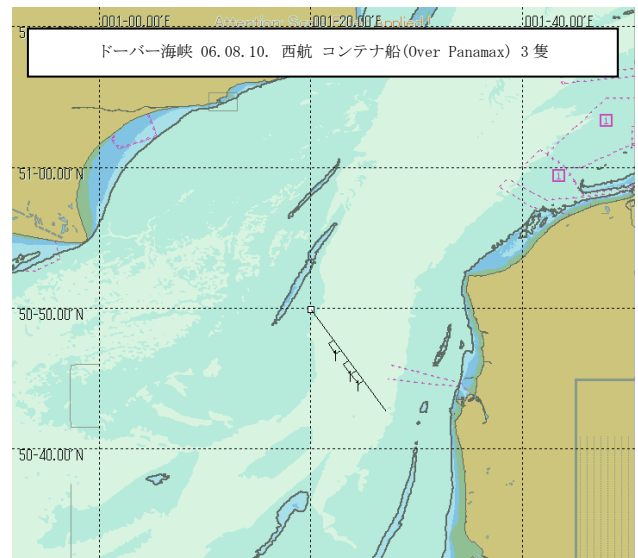
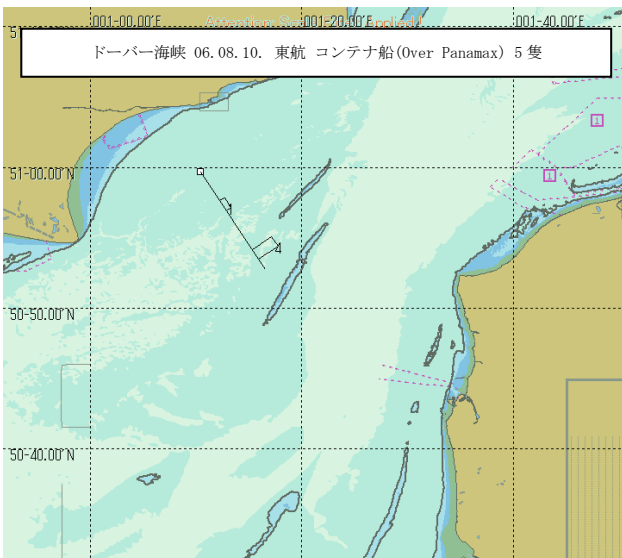


図-5.13.7 ドーバー海峡の船舶通過実態 5

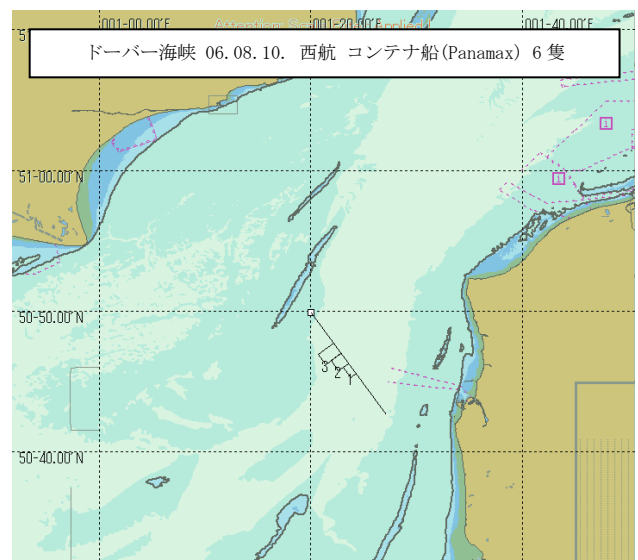
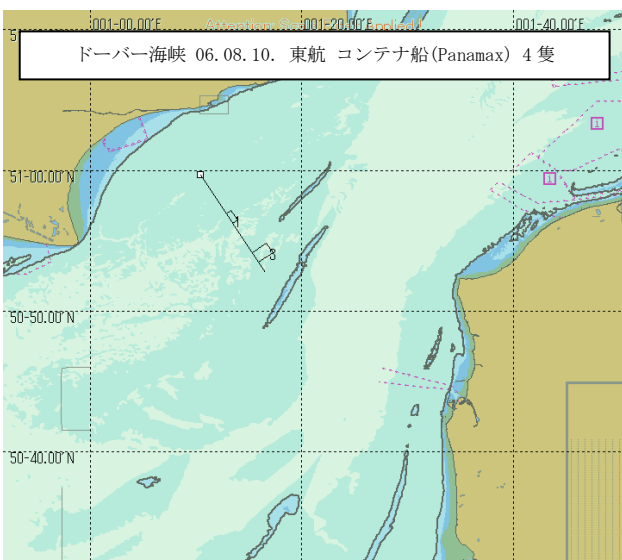


図-5.13.8 ドーバー海峡の船舶通過実態 6

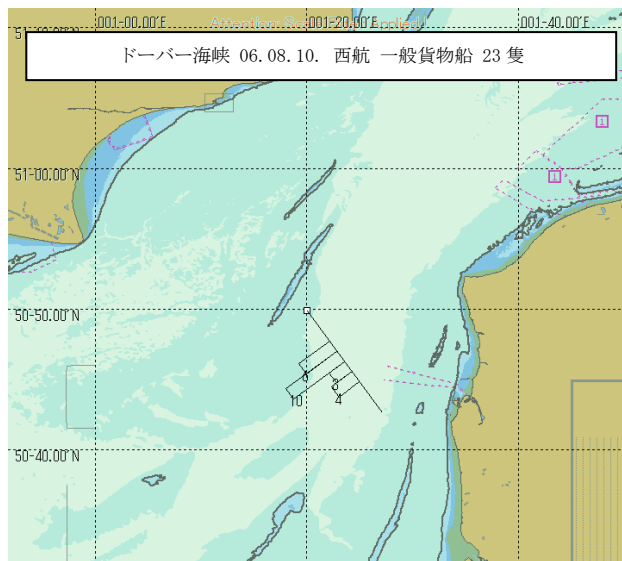
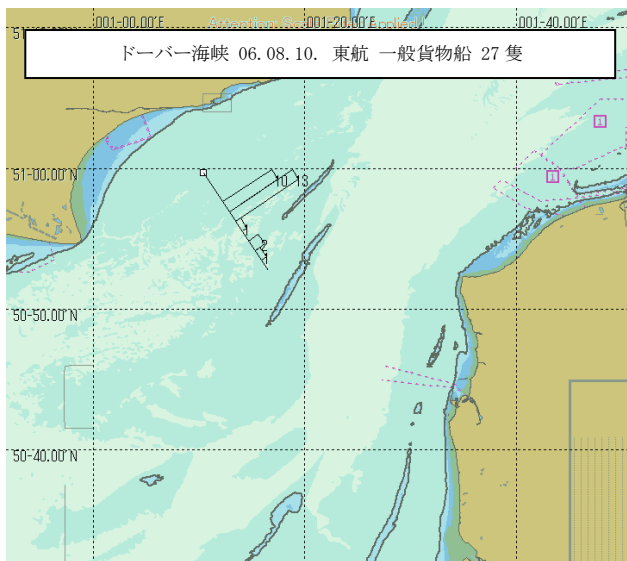


図-5.13.9 ドーバー海峡の船舶通過実態 7

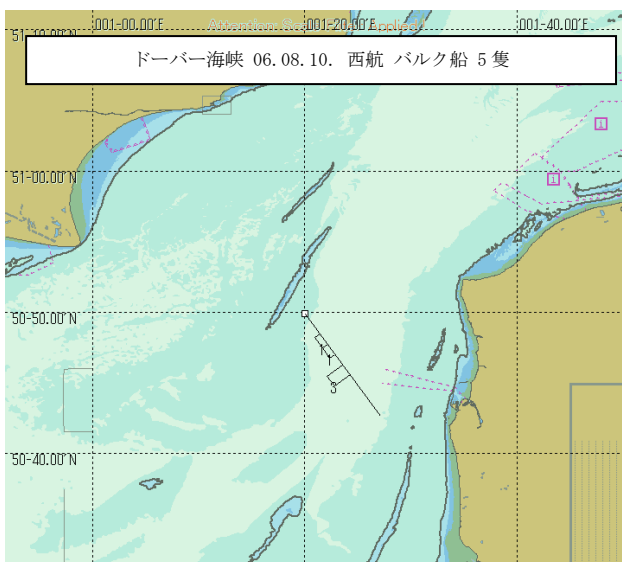
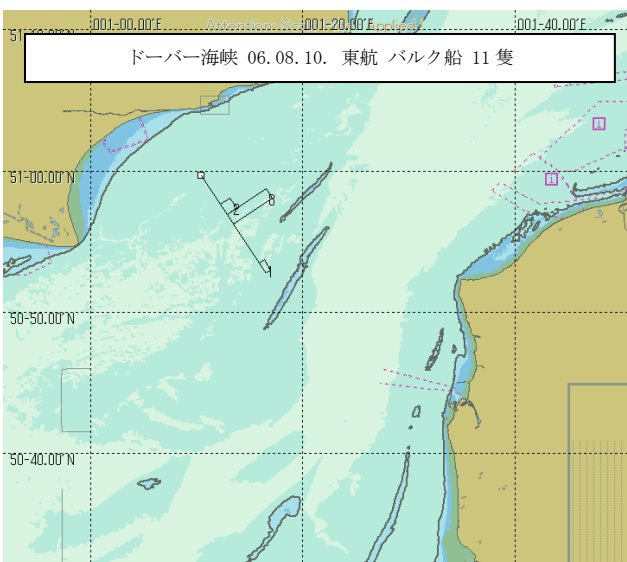


図-5.13.10 ドーバー海峡の船舶通過実態 8

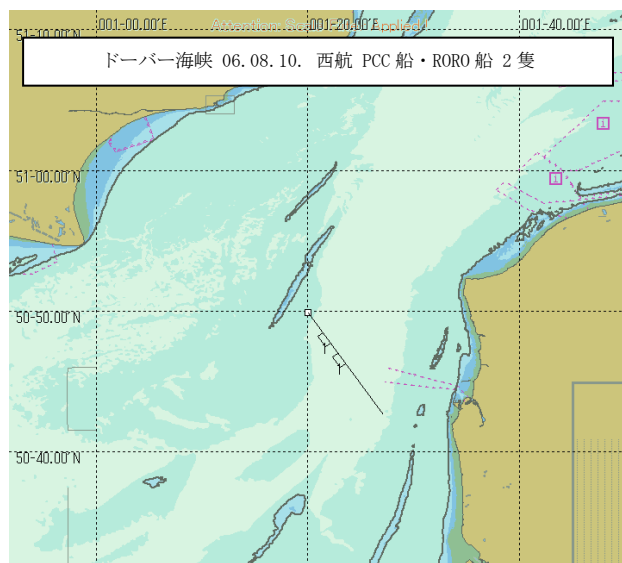
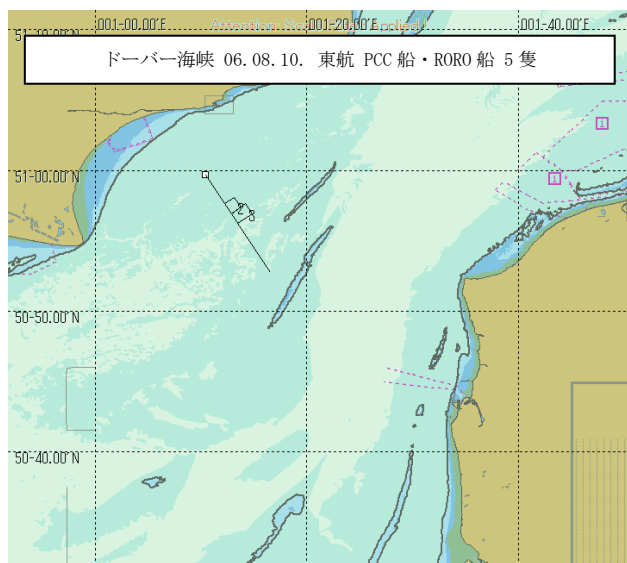


図-5.13.11 ドーバー海峡の船舶通過実態 9



### 5.14 ジブラルタル海峡

ジブラルタル海峡については、図-5.14.1の白線で示した部分を対象にして、図-5.14.2で示すように片側3400mの両方向6800mの幅員部分について、2006年8月10日の24時間について解析を実施した。図-5.14.2では、この24時間の航跡と合わせてそれぞれの航路帯での進航方向を示す。

ここでは、各航路帯を10分割して、それぞれの分割帯(ジブラルタル海峡では340m単位)ごとの通過隻数を解析した。図-5.14.3では全船種、図-5.14.4では全長200m以上、図-5.14.5では全長200m未満、図-5.14.6ではコンテナ船、図-5.14.7ではコンテナ船(Over Panamax)、図-5.14.8ではコンテナ船(Panamax)、図-5.14.9では一般貨物船、図-5.14.10ではバルク船、図-5.14.11ではPCC船およびRORO船についての解析結果を示す。

なお、各図の分割帯では棒グラフの長さにより、また合わせて示す数字によりその分割帯を通過した隻数を、さらにその方向により進航方向を示している。

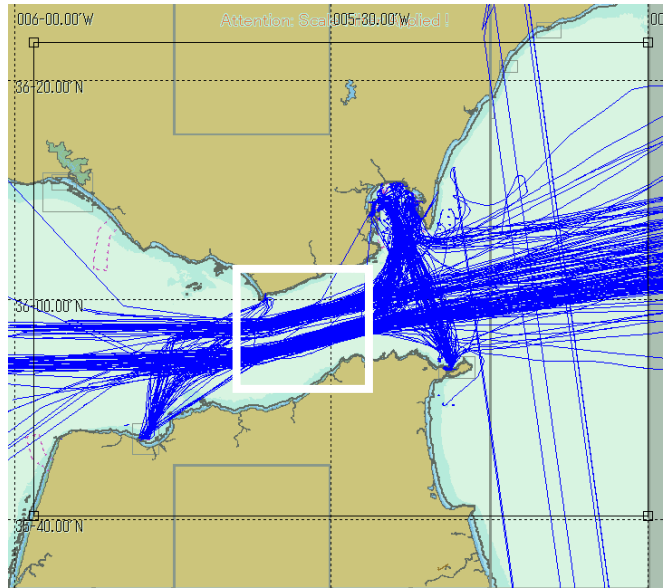


図-5.14.1 ジブラルタル海峡位置図

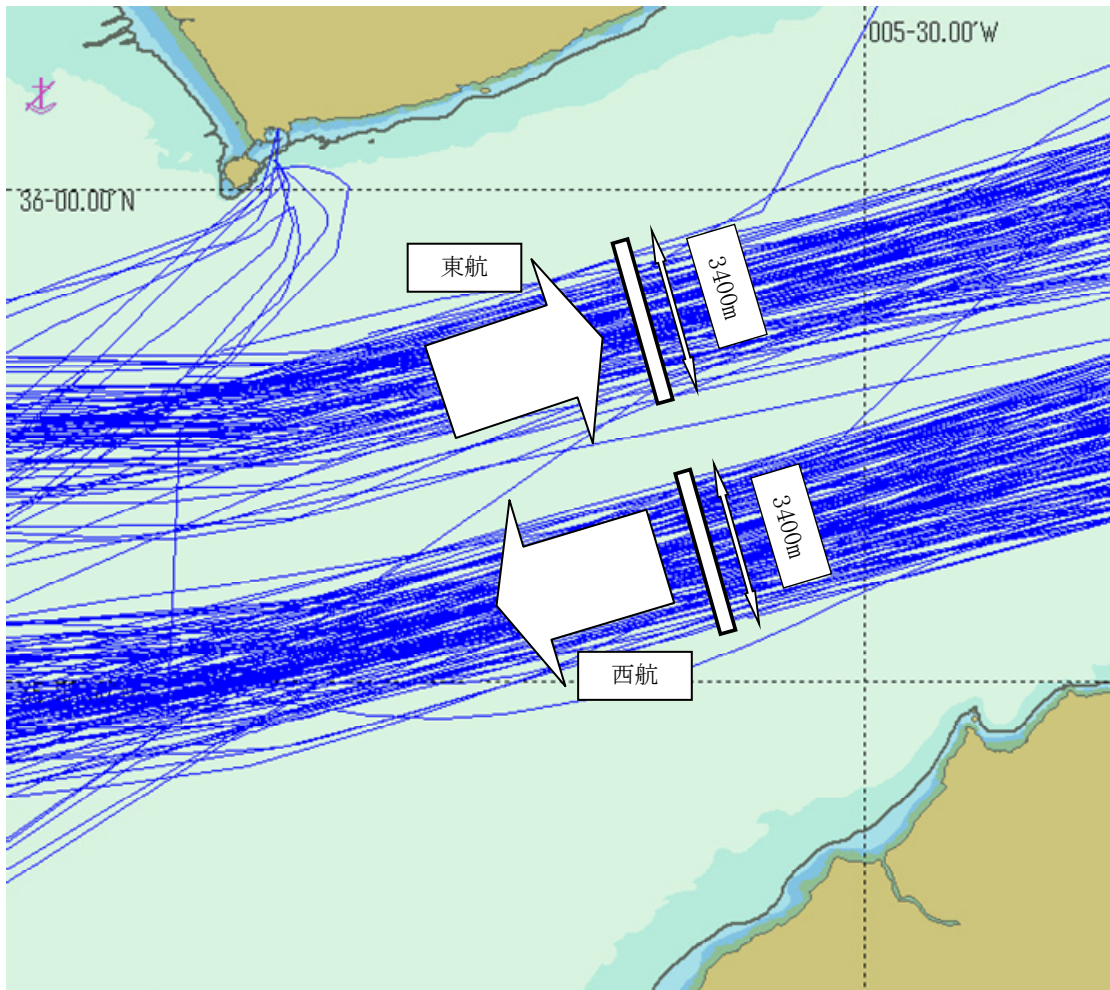


図-5.14.2 ジブラルタル海峡の設定断面と通過船舶の航跡図

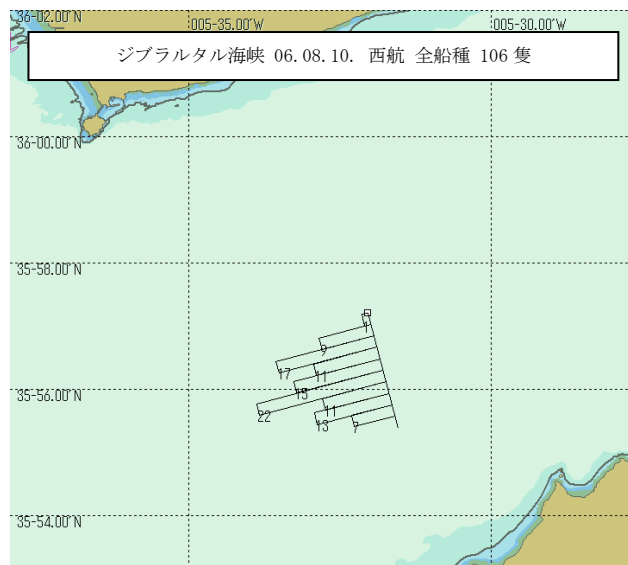
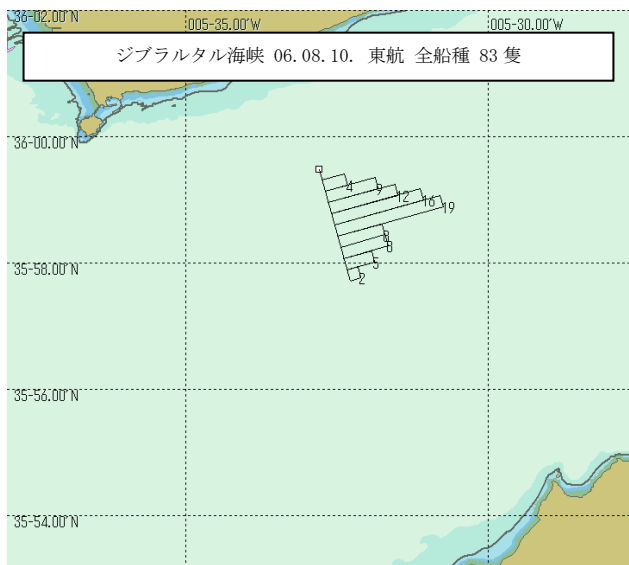


図-5.14.3 ジブラルタル海峡の船舶通過実態 1

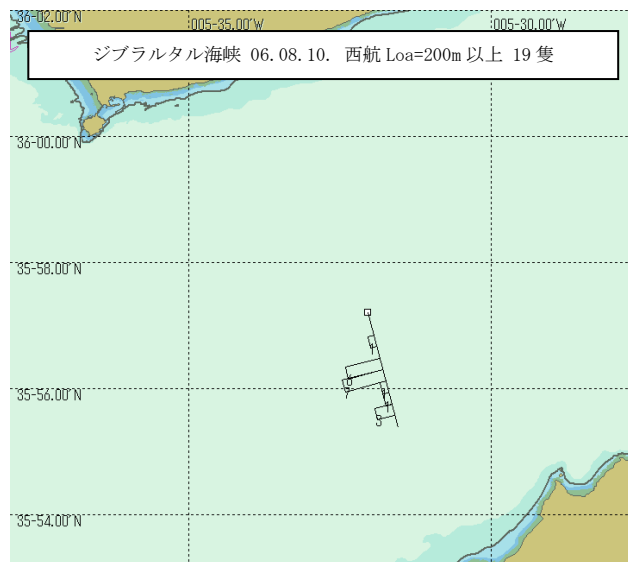
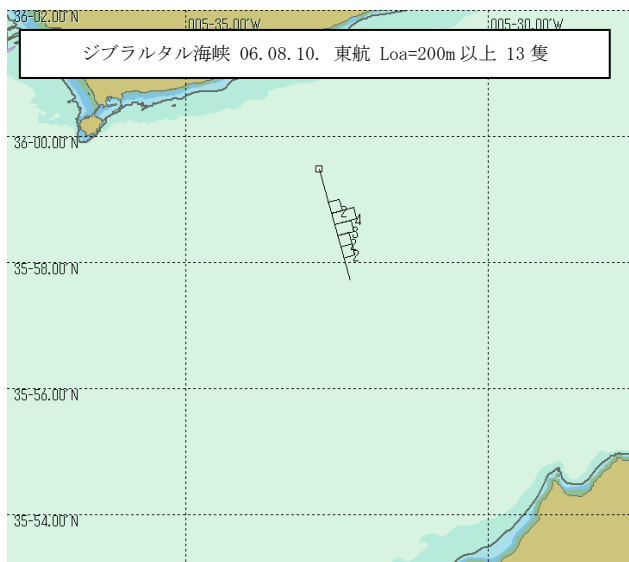


図-5.14.4 ジブラルタル海峡の船舶通過実態 2

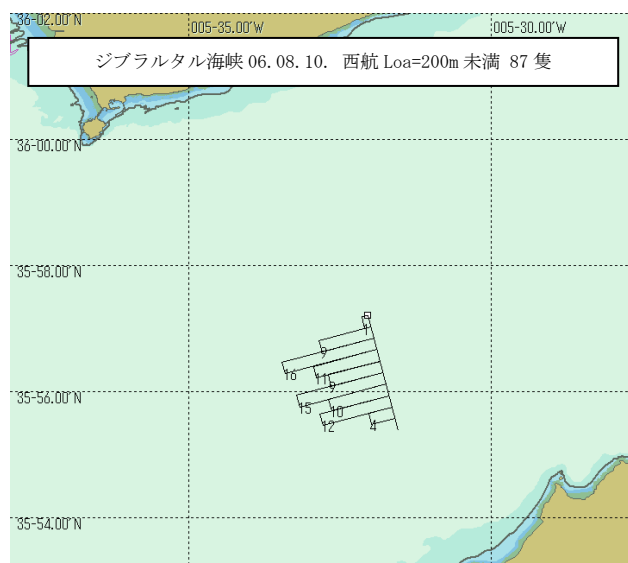
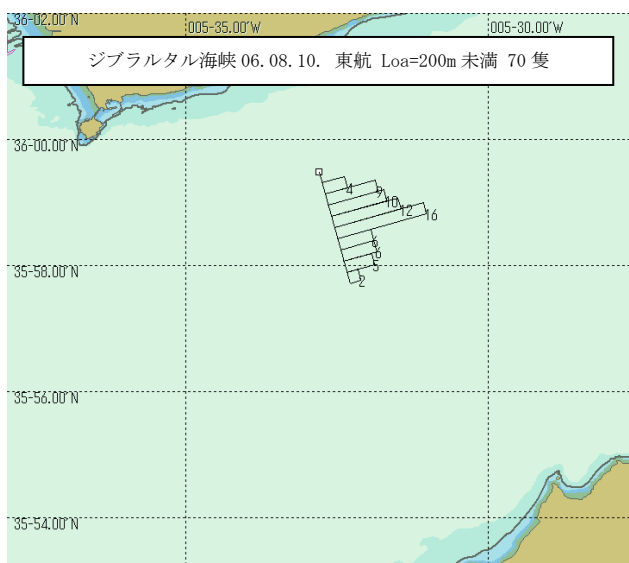


図-5.14.5 ジブラルタル海峡の船舶通過実態 3



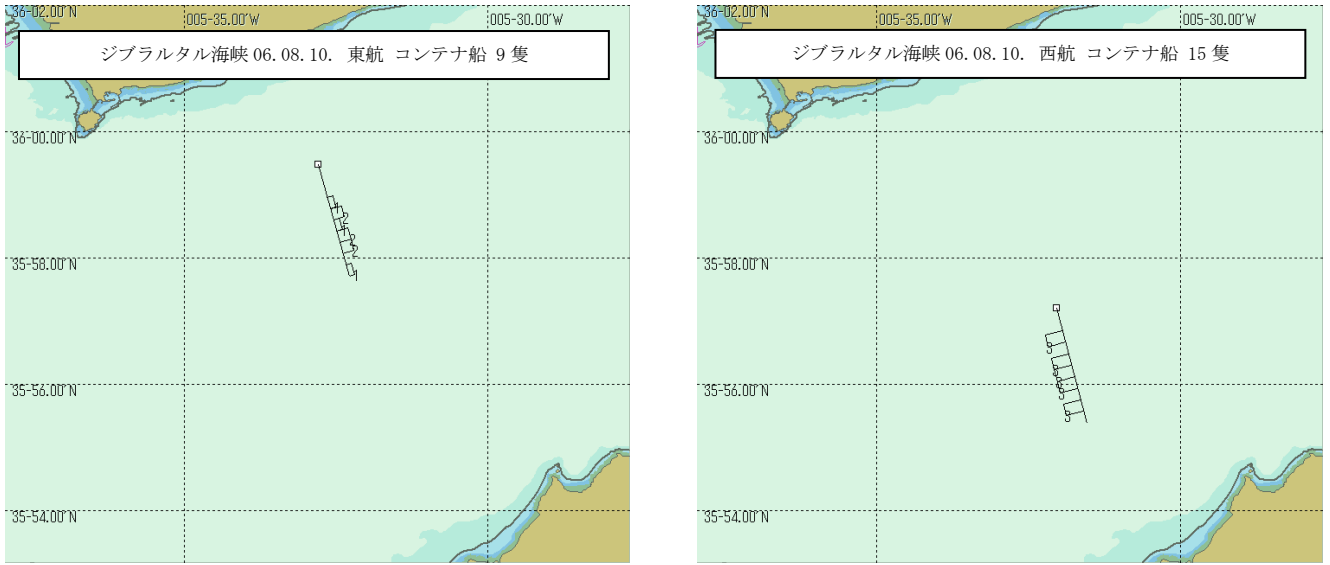


図-5.14.6 ジブラルタル海峡の船舶通過実態 4

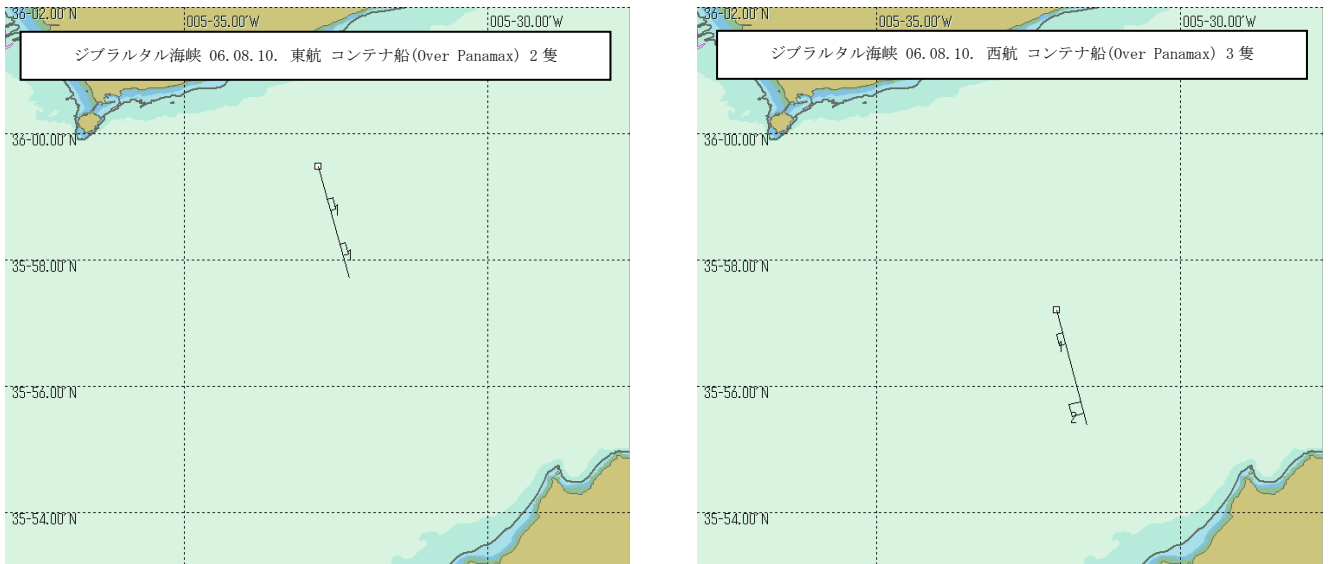


図-5.14.7 ジブラルタル海峡の船舶通過実態 5

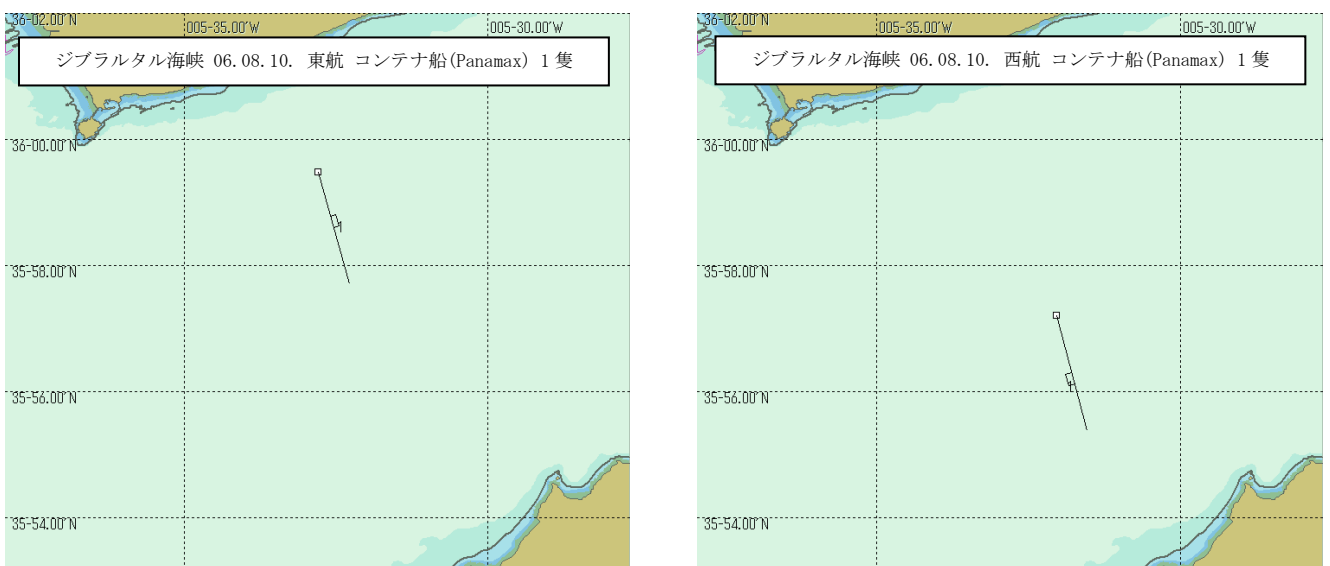


図-5.14.8 ジブラルタル海峡の船舶通過実態 6

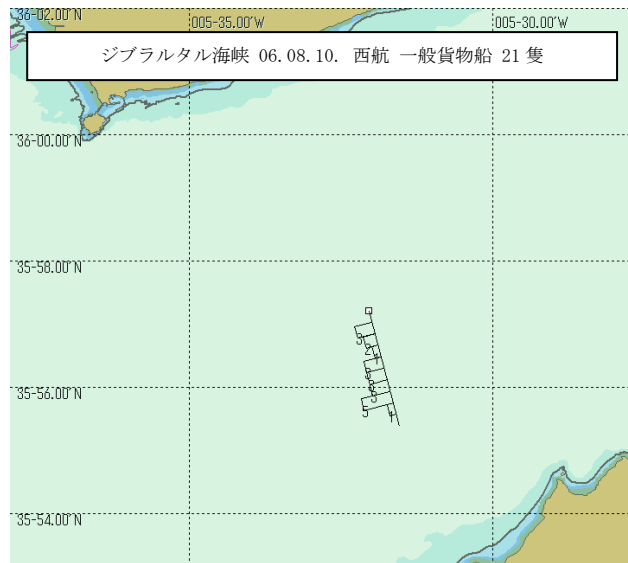
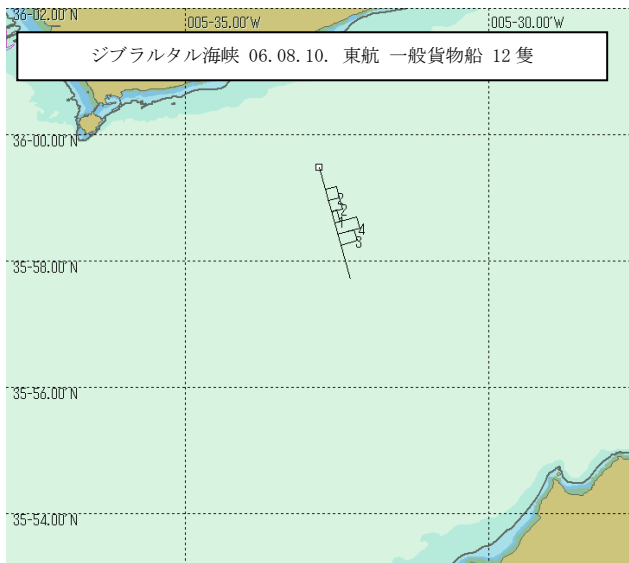


図-5.14.9 ジブラルタル海峡の船舶通過実態 7

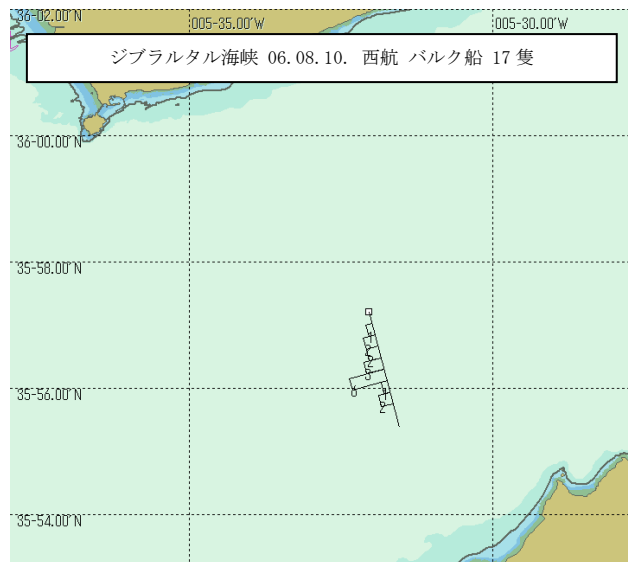
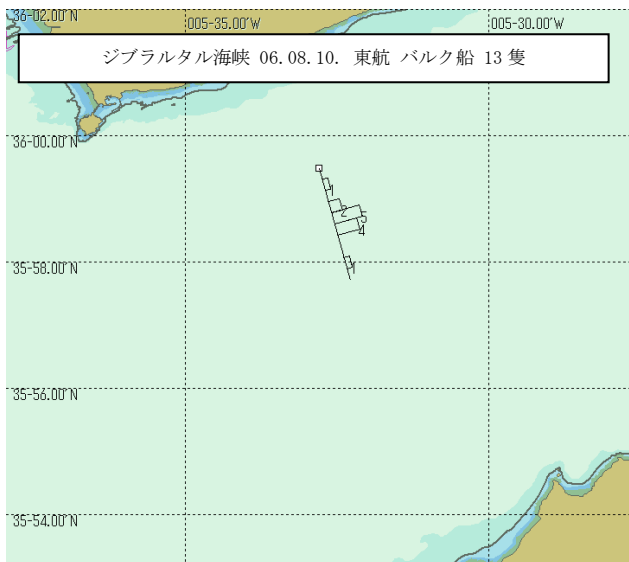


図-5.14.10 ジブラルタル海峡の船舶通過実態 8

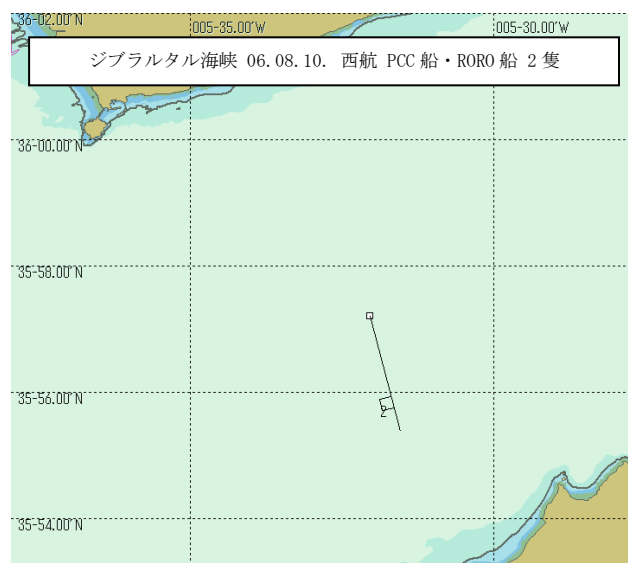
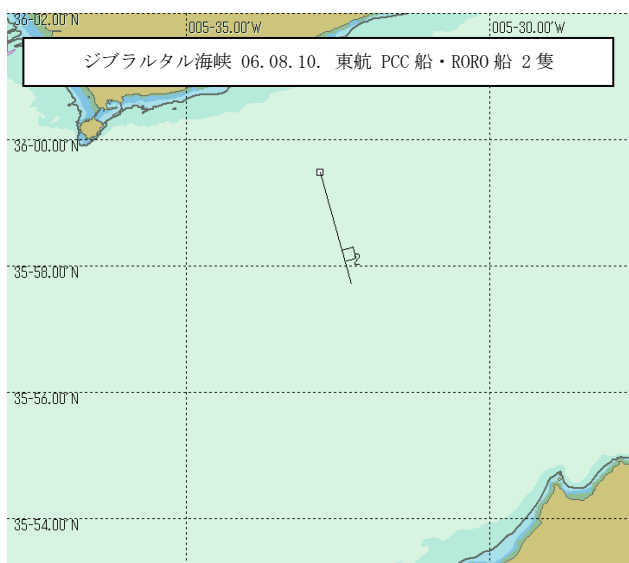


図-5.14.11 ジブラルタル海峡の船舶通過実態 9